

令和6年度に実施する実態調査について（概要）

(1) 調査の目的

- ① 現行計画の実績（効果）を測ること。
- ② 市民や事業所の現状や求めているものを把握し、次期計画の策定、施策の展開に活かすこと。

(2) 調査概要

	調査区分	対象	配布方法	回答方法	前回（R2年）の回収結果
調査票①	市民意識調査※ ¹ （男女・多文化）	日本国籍の 18歳以上の 男女2,000人	郵送	郵送または オンライン フォーム	670件※ ² (44.7%)
調査票②	事業所調査※ ¹ （男女・多文化）	湖西市内の 事業所500社	同上	同上	—
	外国人市民意識 調査（多文化）	外国籍の 18歳以上の 男女1,500人	同上	同上	302件 (30.2%)

※ 1 市民意識調査、事業所調査は、多文化共生に関する調査と同時に行う。

※ 2 前回の日本人市民意識調査の対象人数は1,500人。回答方法は郵送のみだった。

(3) 調査時期

令和6年11月～12月頃予定

(4) 調査票案に対する意見募集について（依頼）

① 依頼内容

各調査票（案）について、ご意見・ご質問等をご提出ください。

② 提出方法

「男女共同参画実態調査票（案）に対する意見書」をMailまたはFAXで提出

③ 提出期限

7月26日（金）まで

あなたの声をお聞かせください

男女共同参画・多文化共生に関する市民アンケート 調査票

～調査ご協力のお願～

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、皆様に男女共同参画及び多文化共生に関するお考えやご意見をお聞きし、今後の計画の策定・推進の参考とするため、意識調査を実施することになりました。

なお、調査にあたりましては、市内在住の18歳以上の方々2,000人を無作為に選ばせていただき調査票をお送りしています。この調査の結果は、計画推進の目的のみに使用するものであり、他の目的に使用することや内容についてご迷惑をおかけすることは決してありません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年●月 湖西市長 影山 剛士

【ご回答にあたって】

対象	市内在住の満18歳以上の方から無作為に抽出した2,000人の市民
調査基準日	令和●年●月●日
回答者	<ul style="list-style-type: none"> ・この調査は、宛名のご本人が、ご自身のお考えをお答えください。 ・宛名のご本人がご病気などで、自分で答えるのが難しい場合は、ご家族またはお世話をなさっている方が記入のお手伝いをしていただいても構いません。 ・回答はすべて無記名です。<u>個人が特定されることはありません。</u>
回答方法	<p>下記のいずれかの方法でご回答ください。</p> <p>ア) この調査票（紙）の郵送による回答 この調査票に直接記入し、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、郵便ポストに投函してください。</p> <p>イ) オンライン回答フォームによる回答</p> <p>①オンライン回答フォームへアクセス URL: _____</p> <p>②調査票ID入力（この調査票の右上の●桁の番号） ※IDは重複回答を避けるために調査票に割り振られたものであり、個人情報に紐づくものではありません。安心してご入力ください。</p> <p>③回答フォームに入力</p>
回答期限	令和●年●月●日（●）までにご回答ください。
集計・公表	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果は、市ウェブサイトにおいて公表いたします。 ・回答内容はすべて統計的に処理し、<u>個人情報公表されることはありません。</u>

二次元
コード

問合せ先：湖西市市民安全部市民課 〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
(TEL) 053-576-1213 (FAX) 053-576-4880 (MAIL) kyodo@city.kosai.lg.jp

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。

(それぞれ1つを選択)

		男性が非常に 優遇されている	どちらかといえ ば男性が優遇さ れている	平 等	どちらかといえ ば女性が優遇さ れている	女性が非常に 優遇されている
① 家庭生活	指標	1	2	3	4	5
② 職場		1	2	3	4	5
③ 就職		1	2	3	4	5
④ 学校教育の場		1	2	3	4	5
⑤ 地域(自治会・PTA等)		1	2	3	4	5
⑥ 政治の場		1	2	3	4	5
⑦ 法律や制度の上		1	2	3	4	5
⑧ 社会通念や慣習・しきたり		1	2	3	4	5
⑨ ドラマ・漫画・文化		1	2	3	4	5
⑩ 社会全体		1	2	3	4	5

問15 男女が不平等を感じないようにするために、重要なことは何だと思いますか。(複数選択可)

1. 性差別につながる法律や制度の見直し
2. 性別に関する偏見や社会通念、慣習がなくなること
3. 女性が社会進出すること
4. 一定の割合で女性を重要な役職に登用する制度を充実すること
5. 育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得しやすい社会づくりを進めること
6. 子育てや介護、地域活動に男性が参画すること
7. 学校や生涯教育の場で男女平等教育を推進すること
8. 男女平等に関する普及啓発を充実すること
9. その他(具体的に: _____)
10. 特にない

問16 男女の平等を達成するために、今後、行政はどのようなことに力を入れるとよいと思いますか。

(1つを選択)

1. 情報発信を通じた啓発活動の充実
2. 相談窓口の充実
3. 小中学校などの学校教員や行政職員への研修
4. 政策決定や審議会への女性の積極的な登用
5. 働きやすい職場環境づくりへの働きかけ
6. 男女のニーズの違いに配慮した防災に関する啓発
7. 男性の家事や育児への参画を促進するための啓発・支援
8. 女性の就職(再就職)支援
9. 保育所、放課後児童クラブ(学童保育)などの施設・サービスを整備すること
10. その他(具体的に: _____)

Ⅳ 家庭生活における役割分担についてお伺いします

問17 次のことがらについて、家庭の中で誰が行うのが望ましいと思いますか。

新規

検討

配偶者・パートナー・子ども・要介護者がいない方は、現在の考え方でお答えください。

(それぞれ1つを選択)

	主に男性 が行う	男性と女性が 同程度行う	主に女性が行う	そのときできる方 が行う（性別で役 割を決めない）	サービス・ 便利な家電 などを利用する
①生活費を稼ぐこと	1	2	3	4	5
②日常の家計管理	1	2	3	4	5
③食事作り	1	2	3	4	5
④家の力仕事	1	2	3	4	5
⑤洗濯	1	2	3	4	5
⑥掃除	1	2	3	4	5
⑦ゴミ出し	1	2	3	4	5
⑧子どものお世話	1	2	3	4	5
⑨子どもの進路相談	1	2	3	4	5
⑩日用品の買い物	1	2	3	4	5
⑪高価な契約 (住宅・車など)	1	2	3	4	5
⑫家族の介護	1	2	3	4	5
⑬地域行事の役員	1	2	3	4	5
⑭地域行事への参加	1	2	3	4	5

Ⅴ 職業や労働についてお伺いします

問18 あなたは、「女性と職業」についてどのようにお考えですか。(1つを選択)

検討

1. 女性は職業をもたないほうがよい
2. 結婚するまで職業をもつほうがよい
3. 子どもができるまで職業をもつほうがよい
4. 出産・育児期間は仕事をやめ、成長したら再び職業をもつほうがよい
5. 定年（生涯）職業をもち続けるほうがよい
6. その他（具体的に： _____）
7. わからない

問19 男性と比較した場合、現在の女性の働きやすさの状況について、どのように思いますか。
(1つを選択)

新規

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. たいへん働きやすいと思う | 2. ある程度働きやすいと思う |
| 3. あまり働きやすいと思わない | 4. 働きやすいと思わない |
| 5. わからない | |

〈問19で「3.～4.」とお答えの方に伺います。〉

検討

問20 女性が働きやすくない状況の原因は何だと思いますか。(複数選択可)

1. 結婚や出産を機に退職する慣習や圧力があること
2. 夫（パートナー）や家族の理解や協力が十分でないこと
3. 賃金、昇進などの面で男性と同等の待遇になっていないこと
4. 男性よりも家事・育児・介護の負担が大きい中で働くこと
5. 家事や育児は主に女性が担うものという社会の風潮があること
6. 日本には、そもそも長時間労働や休日出勤のある仕事が多いこと
7. 育児休業・休暇が取得しにくいこと
8. 育児施設の不足
9. 介護休業・休暇が取得しにくいこと
10. 介護施設の不足
11. 女性の上司に対して身構えたり、抵抗感のある部下や同僚がいること
12. その他（具体的に：_____）

問21 育児や介護を行うために、育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得できる制度があります。この制度を活用して男性が育児休業・休暇や介護休業・休暇を取ることに、あなたはどのようにお考えになりますか。(それぞれ1つを選択)

	積極的に取った方が良い	どちらかといえば取った方が良い	どちらかといえば取らない方が良い	取らない方が良い
①育児休業・休暇	1	2	3	4
②介護休業・休暇	1	2	3	4

問22 現在お勤めの方だけに伺います。あなたの職場では、男性の育児休業・休暇や介護休業・休暇が取得しやすい環境。(それぞれ1つを選択)

指標

	取得しやすい	やや取得しやすい	やや取得しにくい	取得しにくい	わからない
①育児休業・休暇	1	2	3	4	5
②介護休業・休暇	1	2	3	4	5

問23 現在お勤めの方だけに伺います。あなたの職場の男性は、育児休業・休暇や介護休業・休暇をどのくらいの期間取得していますか。おおよその期間でお答えください。(それぞれ1つを選択)

新規

検討

	1日以上 5日未満	6日以上 1か月未満	1か月以上 3か月未満	3か月以上 6か月未満	6か月以上	周りで取得した 男性はいない	わからない
①育児休業・休暇	1	2	3	4	5	6	7
②介護休業・休暇	1	2	3	4	5	6	7

Ⅵ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）についてお伺いします

問24 あなたの生活の中で、「仕事」「家庭生活」「個人の生活」について、優先させたいものの理想と現実を教えてください。

※「個人の生活」とは、趣味・学習・社会活動・付き合いなどを指しています。

（A、Bについてそれぞれ1つを選択）

	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」をともに優先	「仕事」と「個人の生活」をともに優先	「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先	「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をすべて優先
A 理想の生活	1	2	3	4	5	6	7
B 現実の生活	1	2	3	4	5	6	7

Ⅶ ドメスティック・バイオレンス（DV）についてお伺いします

☆立ち入った質問になりますが、この調査は無記名で行っておりますので、回答された方に御迷惑がかかることは一切ありません。調査へのご協力をお願いします。

問25 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナーなどから行われた場合、暴力だと思いますか。

（それぞれ1つを選択）

新規

検討

	どのような場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたらぬと思う
①平手で打つ	1	2	3
②足で蹴る	1	2	3
③からだを傷つける可能性のある物などで殴る・物を投げる	1	2	3
④殴るふりをして、おどす	1	2	3
⑤大声で怒鳴る	1	2	3
⑥家族や友人との関わりを制限する	1	2	3
⑦電話・メール・SNSを細かく監視する	1	2	3
⑧ほかの異性との会話を許さない （同性パートナーの場合は同性）	1	2	3
⑨何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
⑩「誰のおかげで生活できているんだ」などと言う	1	2	3
⑪生活費を渡さない	1	2	3

⑫相手の金品を勝手に使ったり、借金を強要する	1	2	3
⑬嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
⑭避妊に協力しない	1	2	3

問26 これまでに、夫・妻や恋人など親しい間柄にある（あった）人からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）について、経験したり見聞きしたりしたことがありますか。（複数選択可）

1. 暴力を受けたことがある 2. 身近に暴力を受けた人がいる 3. 暴力を受けた人から相談されたことがある 4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある 5. テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている 6. 経験したり見聞きしたことはない 7. その他（具体的に： _____）	指標
--	----

▶<問26で「1. 暴力を受けたことがある」と答えた方に伺います。>

問27 夫・妻や恋人から暴力を受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。

（複数選択可）

1. 暴力を振るった相手に抗議した 2. 家族や身近な人、友人に相談した 3. 公的な相談機関に相談した 4. 警察等に訴えた 5. 仕方がないと思い、何もできなかった 6. 怖くて何もできなかった 7. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった 8. 暴力をふるった相手から離れた 8. その他（具体的に： _____）

Ⅶ セクシュアル・ハラスメントについてお伺いします

問28 あなたは、これまでに、セクシュアル・ハラスメント（以下「セクハラ」）について経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。（複数選択可）

検討

1. セクハラを受けたことがある 2. 身近にセクハラを受けた人がいる 3. セクハラを受けた人から相談されたことがある 4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある 5. テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている 6. 経験したり見聞きしたことはない 7. その他（具体的に： _____）	指標
--	----

→<問28で「1. セクハラを受けたことがある」と答えた方におたずねします。>

問29 あなたは、セクハラを受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。

(複数選択可)

1. セクハラを行った相手に抗議した
2. 家族や身近な人、友人に相談した
3. 公的な相談機関に相談した
4. 警察等に相談した
5. 仕方がないと思い、何もできなかった
6. 怖くて何もできなかった
7. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった
8. セクハラを行った相手から離れた
9. その他 (具体的に: _____)

IX 防災・復興についてお伺いします

問30 あなたの地域の防災活動における、女性の参画について教えてください。

新規

検討

(複数選択可)

1. 自主防災組織の役員・リーダーを男女双方が担っている
2. 自主防災組織の業務分担を決めるとき、男女の役割を固定的に考えないようにしている
3. 災害時に、性別や年齢、妊産婦、障害の有無などに応じた配慮ができるよう、あらかじめマニュアルなどで対応を決めている
4. 日ごろの近所づきあいで顔を見知っておき、いざという時に助け合える関係をつくっている
5. 女性や乳幼児などが必要とする物資を、地域でも備蓄している
6. 特にない
7. その他 (具体的に: _____)
8. わからない

X 性的マイノリティについてお伺いします

問31 あなたの周りに性的マイノリティ (LGBTQ+) の方はいますか。(1つを選択)

新規

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問32 あなたの身近な人 (家族、友人、知人) などから、性的マイノリティ (LGBTQ+) であると打ち明けられた場合、あなたの気持ちや態度に近いものはどれですか。(複数選択可)

新規

1. 今までどおり接する
2. どう接すればよいかわからなくなる
3. 距離を置きたいと思う
4. 理解したいと思う
5. 理解がむずかしいと思う
6. 打ち明けてくれてうれしいと思う
7. その他 (具体的に: _____)

問33 性的マイノリティ（LGBTQ+）の方々が生活しやすくなるためにどのような施策が必要だと思いますか。（複数選択可）

1. 情報発信を通じた啓発活動の充実
2. 相談窓口の充実
3. 小中学校などの学校教員や行政職員への研修の実施
4. 当事者や支援団体、行政等を交えた連絡、意見交換の実施
5. 働きやすい職場環境づくりへの働きかけ
6. 交流の場の充実
7. 理解を深める研修やイベントの開催
8. その他（具体的に： _____）
9. わからない

XI その他についてお伺いします

問34 あなたは市政に女性の意見が反映されていると思いますか。（1つを選択）

指標

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 十分に反映されている | 2. まあまあ反映されている |
| 3. あまり反映されていない | 4. まったく反映されていない |
| 5. その他（ _____ ） | 6. わからない |

問35 あなたの日々の悩みや困っていることは何ですか。男女共同参画との関わりが薄いと思うものでも構いません。（1つを選択）

新規

検討

1. こどもの育児や教育のこと
2. 夫婦間の問題
3. 夫婦以外の親族の問題
4. 家族の健康問題
5. 老親の介護のこと
6. 自分の健康問題
7. 経済的なこと
8. 仕事のこと
9. 忙しすぎて自分の時間がないこと
10. 老後の生活のこと
11. 悩みごとや困っていることはない
12. その他（具体的に： _____）

男女共同参画についてご意見等ありましたらご自由にお書きください。

次のページに続きます→

Ⅱ 多文化共生にかかわることについてお伺いします

問36 あなたは外国に住んだことがありますか。外国での居住経験のある人は、外国に通算何年住んでいましたか。(1つを選択)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 外国に住んだことはない | 2. 通算1年未満 |
| 3. 通算1年以上5年未満 | 4. 通算5年以上 |

問37 あなたは外国人と以下のような付き合いがありますか。(複数選択可※過去の経験を含む)

- | |
|--|
| 1. 一緒に働いている(働いていた) |
| 2. 学校で一緒に勉強している、または教えている(勉強していた、教えていた) |
| 3. 友人としてつき合っている(つき合っていた) |
| 4. 自分または親せきが外国人と結婚して日本に住んでいる(住んでいた) |
| 5. 国際交流グループで一緒に活動している(していた) |
| 6. こどもの通う学校でのPTA活動などを通じて、一緒に活動している(していた) |
| 7. 宗教活動(教会など)を通じて、一緒に活動している(していた) |
| 8. その他のグループや地域活動と一緒に参加している(していた) |
| 9. 外国人とあいさつ程度の付き合いはある(あった) |
| 10. 外国に住んだことがある |
| 11. 外国人の知り合いはいないし、付き合いを持ったこともない |

▶問37で「11.外国人の知り合いはいないし、付き合いを持ったこともない」と答えた方は、お答えください。>

問38 付き合いがない理由は何だと思えますか。(1つを選択)

- | |
|--------------------|
| 1. 付き合いきっかけがない |
| 2. 付き合い雰囲気ではないと感じる |
| 3. 付き合い必要がない |

問39 あなたは、近所や職場で会えば挨拶をする日本人はいますか。(1つを選択)

- | | |
|-----------|----------|
| 1. たくさんいる | 2. 少しいる |
| 3. あまりいない | 4. 全くいない |

問40 地域で暮らす外国人についてどの程度親しみを感じますか。(1つを選択)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 親しみを感ずる | 2. どちらかといえば感じる |
| 3. どちらかといえば感じない | 4. 親しみを感ずらない |

▶問41 問40のように考えるようになった理由を教えてください。(自由記述)

<理由>

問42 あなたは地域や職場において外国人からどのような影響を受けたと感じていますか。

(複数選択可)

1. 外国の文化に興味を持つようになった 2. 地域や職場のルールを見直すきっかけになった 3. 外国人と交流したり支援したりする機会が増えた 4. 騒音により困ったことがある 5. ゴミ出しルールが守られないことにより困ったことがある 6. その他 (具体的に: _____) 7. 影響はない
--

問43 多文化共生に関する次の意見についてあなたはどのように思いますか。(それぞれ1つを選択)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①外国人は、日本の言語や文化を身につけるべきだ	1	2	3	4
②外国人は、日本の習慣やルールを学ぶべきだ	1	2	3	4
③外国人は、地域の活動に積極的に参加すべきだ	1	2	3	4
④行政は、外国人が日本の言語や文化を学べるよう援助すべきだ	1	2	3	4
⑤行政は、外国人がかれら自身の言語や文化を守れるよう援助すべきだ	1	2	3	4
⑥日本人は、地域に住む外国人の言語や文化を学ぶべきだ	1	2	3	4
⑦日本人は、地域に住む外国人の習慣やルールを学ぶべきだ	1	2	3	4
⑧日本人は、地域の活動に外国人を積極的に受け入れるべきだ	1	2	3	4

問44 地域で暮らす外国人と接するときに、困ったことはありますか。(1つを選択)

1. ある 2. ない

▶<問44で「1. ある」と答えた方に伺います。>

問45 どのような場面でどのようなことに困りましたか。ご自由にお書きください。

問46 地域を外国人とともに暮らしやすい社会にするため、日本人は何をすべきと思いますか。

(複数選択可)

1. 外国人に対する差別意識をもたないようにする
2. 日本語や日本文化の多様性を日本人が自ら知る努力をする
3. 日本語や日本文化を外国人に学んでもらうようにする
4. 日本で生活するルールを外国人が守るように呼びかける
5. 地域住民との交流や地域の活動に外国人の参加を呼びかける
6. 外国語の言葉や文化を学ぶ
7. やさしい日本語を使って、外国人にわかるようにコミュニケーションをとる
8. その他 (具体的に： _____)

問47 日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていくために、行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。(複数選択可)

1. 行政サービス情報を多言語で表記する
2. 緊急時に防災情報を多言語で放送する
3. 労働相談や生活相談をしやすいように多言語の通訳をつける
4. 医療通訳を充実する
5. 無料の日本語教室を開く
6. 日本人と外国人の交流の場を設ける
7. 生活相談などに対して丁寧に対応する窓口を設ける
8. 公営住宅を充実させる
9. 企業に対して労働規約の遵守などを指導する
10. 職業訓練を受けやすいようにカリキュラムを工夫する
11. 日本人が外国文化などを理解する機会を設ける

多文化共生についてご意見等ありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました市民意識調査票は同封の返信用封筒(切手は不要)に入れ、

●月●日(●)までにご投函くださいますようお願い申し上げます。

男女共同参画・多文化共生に関する事業所調査票

*** ご協力をお願い ***

日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

湖西市では、男女共同参画及び多文化共生に関する計画に基づき、施策・事業の実施に努めています。

本調査は、男女共同参画や多文化共生に関する事業所の取組や状況等をお伺いし、市が取り組む施策・事業を見直すための基礎資料として活用することを目的に実施するものです。

つきましては、お忙しいなか誠にお手数ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年●月 湖西市長 影山 剛士

【ご回答にあたって】

対象	市内の事業所より無作為に抽出した事業所500社
調査基準日	令和●年●月●日
回答方法	<p>下記のいずれかの方法でご回答ください。</p> <p>ア) この調査票（紙）の郵送による回答 この調査票に直接記入し、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、郵便ポストに投函してください。</p> <p>イ) オンライン回答フォームによる回答</p> <p>①オンライン回答フォームへアクセス URL: _____</p> <p>②調査票ID入力（この調査票の右上の●桁の番号） ※IDは重複回答を避けるために調査票に割り振られたものであり、個人情報に紐づくものではありません。安心してご入力ください。</p> <p>③回答フォームに入力</p>
回答期限	令和●年●月●日（●）までにご回答ください。
集計・公表	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果は、市ウェブサイトにおいて公表いたします。 ・回答内容はすべて統計的に処理し、事業所名は公表いたしません。 ・事業所情報のご記入をお願いする欄がございますが、優良取組事例等についてヒアリングさせていただくためのものであり、そのほかの用途で使用することはありません。
回答時のお願い	<ul style="list-style-type: none"> ・この調査は、経営者（代表者、責任者）または人事・労務担当の方にご記入をお願いします。 ・貴事業所の形態が「支社・支店・営業所・工場」である場合、従業員数など人数を問う設問においては、<u>事業所全体ではなく、貴事業所内の状況でお答えください。</u>

二次元
コード

問合せ先：湖西市市民安全部市民課 〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
(TEL) 053-576-1213 (FAX) 053-576-4880 (MAIL) kyodo@city.kosai.lg.jp

I 貴事業所の組織形態や事業所の概要についてお答えください。

(問1) 組織形態 (1つを選択)	1. 株式会社 3. 持分会社(合同会社、合資会社、合同会社) 5. その他()	2. 有限会社 4. 個人	
(問2) 主たる業種 (1つを選択)	1. 農林漁業 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 7. 卸売・小売業 10. 飲食店・宿泊業 13. サービス業	2. 建設業 5. 情報通信業 8. 金融・保険業 11. 医療・福祉 14. その他()	3. 製造業 6. 運輸業 9. 不動産業 12. 教育・学習支援業
(問3) 事業所の形態 (1つを選択)	1. 単独事業所 2. 本社・本店(ほかに支社・支店・営業所・工場などがある) 3. 支社・支店・営業所・工場(ほかに本社・本店がある) 4. 子会社(ほかに親会社・系列会社がある)		
(問4) 就業規則の有無 (1つを選択)	1. ある 2. ない		
(問5) 労働組合の有無 (1つを選択)	1. ある 2. ない		
以下の問いは、数字を記入し、 該当がない場合は「0」と記入し てください。 (問6) 従業員数	① 全従業員数 _____人 ② 男性正規従業員数 _____人 ③女性正規従業員数 _____人 ④ 男性非正規従業員数 _____人 ⑤女性非正規従業員数 _____人		
(問7) 係長級以上の管理 職数・割合 ※係長等の職名を使用してい ない場合は、貴事業所の実態に合 わせて記入してください。	① 全管理職数 _____人 ② 男性管理職数 _____人 ③女性管理職数 _____人 ④女性の管理職割合 _____% (小数点以下切捨て)		
(問8) 平均勤続年数	①男性平均勤続年数 _____年 ②女性平均勤続年数 _____年		
(問9) 令和6年度の採用 人数	① 男性従業員 _____人 ② 女性従業員 _____人		

Ⅱ 女性の活躍について

※1 ページ問7の④で「係長級以上の女性の管理職割合が20%以上」の事業者の方に伺います。

問10 女性を管理職へ登用することについて、メリットと思われるものは何ですか。（複数選択可）

1. 人的資源の有効活用ができる
2. 企業のイメージアップにつながる
3. 多様な視点を企業が持つことで多方面からのニーズに応えられる
4. 職場の意識が変わり、組織が活性化される
5. 少子高齢化社会をふまえて労働力の確保ができる
6. その他（具体的に：_____）

※1 ページ問7の④で「係長級以上の女性の管理職割合が20%未満」の事業者の方に伺います。

問11 貴事業所で女性を管理職登用するうえで、どのような課題がありますか（複数選択可）

1. 女性管理職になるための人材育成を行っていない
2. 働きやすい職場環境（制度や設備）を整備する負担が重い
3. 上司や同僚、部下になる従業員の理解が不十分
4. 家事や育児を考慮する必要があるため、勤務時間、勤務場所など働き方に制限がある
5. そもそも女性授業員が少ない（身体的な負担が大きく、女性が就ける業務が限られているため）
6. そもそも女性従業員が少ない（結婚や出産で退職する女性が多いため）
7. 女性従業員が昇進・管理職を希望しない
8. 課題は特にない
9. その他（具体的に：_____）

問12 貴事業所では、女性の活躍を促進するために取り組んでいることはありますか。（複数選択可）

1. 女性を積極的に正社員として雇用している
2. 女性従業員に対して、スキルアップやキャリア形成に関する研修を行っている
3. 管理職に対して、女性活躍推進に関する研修を行っている
4. 全従業員に対して、女性活躍推進に関する研修を行っている
5. 幅広い業務を経験させるため、女性の少ない部署や業務にも積極的に女性を配置している
6. 出産や育児による休業がハンディとならないような人事管理・能力評価の仕組みがある
7. 仕事と家庭を両立させるための支援制度を充実させている
8. 業務に関する資格取得を奨励している
9. 特に取り組んでいない
10. 妊娠・出産・育児・介護を理由に退職した女性従業員を再雇用する制度がある
11. その他（具体的に：_____）

Ⅲ 仕事と家庭の両立について

問13 貴事業所では、これまでに育児休業制度を利用した従業員はいましたか。(1つを選択)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 男女ともに取得した従業員がいる 2. 女性で取得した従業員がいる 3. 男性で取得した従業員がいる 4. 制度はあるが、利用者はいない 5. 制度もなく、利用者もいない |
|---|

※問13で「1. 男女ともに取得した従業員がいる」「2. 女性で取得した従業員がいる」「3. 男性で取得した従業員がいる」とお答えした事業者の方に伺います。

問14 令和5年の1年間(1月1日から12月31日)の状況について、該当する人数と日数を記入してください。

	男性		女性	
(1)育児休業	配偶者(パートナー)が 出産した従業員	人	出産した従業員	人
	うち、育児休業を取得した 従業員	人	うち、育児休業を取得した 従業員	人
	育児休業取得者の平均取得日数	日	育児休業取得者の平均取得日数	日

問15 貴事業所では、これまでに介護休業制度(※2)を利用した従業員はいましたか。(1つを選択)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 男女ともに取得した従業員がいる 2. 女性で取得した従業員がいる 3. 男性で取得した従業員がいる 4. 制度はあるが、利用者はいない 5. 制度もなく、利用者もいない |
|---|

※問15で「1. 男女ともに取得した従業員がいる」「2. 女性で取得した従業員がいる」「3. 男性で取得した従業員がいる」とお答えした事業者の方に伺います。

問16 令和5年の1年間(1月1日から12月31日)の状況について、該当する人数と日数を記入してください。

	男性		女性	
(2)介護休業	介護休業を取得した従業員	人	介護休業を取得した従業員	人
	介護休業取得者の平均取得日数	日	介護休業取得者の平均取得日数	日

問17 貴事業所で、育児・介護休業制度を定着させるために取り組んでいることはありますか。
(複数選択可)

1. 従業員への制度に関する情報提供
2. 管理職向けの研修の実施
3. 取得希望者との面談の実施(人事担当部署)
4. 取得希望者との面談の実施(在籍している部署)
5. 制度利用に関する手引き・マニュアル作り
6. 休業中の代替要員の確保
7. 制度利用者の周囲の働き方のマネジメント
8. 休業中の賃金補償
9. 復職時の受け入れ態勢への配慮
10. 特に取り組んでいない
11. その他(具体的に: _____)

問18 貴事業所で、育児・介護休業制度の活用を進めていくうえで、課題となるのはどのようなことですか。(複数選択可)

1. 休業中の代替要員の確保
2. 制度利用者の周囲の従業員の負担増
3. 代替要員の教育訓練の実施
4. 休業中の社会保険料等の補償
5. 復職時の受け入れ体制の整備
6. 復職のための支援
7. 制度利用者に対する周囲の理解を深めるための取り組み
8. 課題は特になし
9. その他(具体的に: _____)

問19 貴事業所では、育児・介護休業制度以外に、仕事と家庭の両立のための配慮や制度はありますか。(複数選択可)

1. 勤務時間の短縮
2. 始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ制度の導入
3. フレックスタイム制の導入
4. 在宅勤務制度の導入
5. 時間外労働の軽減または免除
6. 所定内の労働の免除
7. 育児時間制度や介護時間制度の導入
8. 出産・育児・介護などに対する経費の援助
9. 事業所内に託児施設の設置
10. こどもの看護休暇制度の導入
11. 仕事と家庭の両立に関する相談窓口や担当者の設置
12. 特になし
13. その他(具体的に: _____)

Ⅳ ハラスメントについて

問20 貴事業所では、セクシュアルハラスメント(以下セクハラ)、パワーハラスメント(以下パワハラ)に関する取り組みを行っていますか。(それぞれ1つを選択)

	すでに 行っている	今後行う 予定はある	行う予定は ない
【記入例】次の項目について、当てはまる番号1つに○をつける →	①	2	3
【セクハラについて】			
①就業規則や内規などにセクハラ防止の指針を定める	1	2	3
②事業所内に対策委員会などの機関を設置する	1	2	3
③セクハラ事案が発生した時の対応マニュアルを定める	1	2	3
④セクハラ防止に関する研修会等の開催	1	2	3
⑤事業所内の実態把握のため、アンケートを実施する	1	2	3
⑥事業所内に相談窓口や担当者を設ける	1	2	3
⑦パンフレットなどの資料を配布・掲示し、周知・啓発を図る	1	2	3
⑧その他(具体的に：)	1	2	3
【パワハラについて】			
①就業規則や内規などにパワハラ防止の指針を定める	1	2	3
②事業所内に対策委員会などの機関を設置する	1	2	3
③パワハラ事案が発生した時の対応マニュアルを定める	1	2	3
④パワハラ防止に関する研修会等の開催	1	2	3
⑤事業所内の実態把握のため、アンケートを実施する	1	2	3
⑥事業所内に相談窓口や担当者を設ける	1	2	3
⑦パンフレットなどの資料を配布・掲示し、周知・啓発を図る	1	2	3
⑧その他(具体的に：)	1	2	3

問21 改正労働施策総合推進法(※3)では、職場で性的マイノリティの方々を差別するような言動やハラスメント、SOGI(性的指向および性自認)を暴露するようなアウトティング行為が起こらないよう、対策を講じることとされています。貴事業所では、そのことについてご存知ですか。(1つを選択)

1. 知っている	2. だいたい知っている	3. 知らない
----------	--------------	---------

問22 貴事業所では、LGBTQ+などの性的マイノリティの従業員への配慮について、どのような取り組みを行っていますか。(複数選択可)

<ul style="list-style-type: none"> 1. 採用時における配慮や公正な人事評価の徹底 2. 性的指向・性自認等に関するハラスメントについて社内規定等に記載 3. 採用時の応募書類や社内書類における性別欄の廃止や配慮 4. 性的指向・性自認等に関する相談窓口の設置 5. 理解促進のための従業員向け研修の実施
--

6. パートナーシップ宣誓制度等を活用した福利厚生や休暇制度（各種福利厚生や休暇制度について法律婚をした夫婦と同じように取り扱う）
7. 性別にかかわらず利用できるトイレや更衣室などの環境整備や配慮
8. 特になし
9. その他（具体的に： _____）

V 自由記述

問23 女性活躍推進やワーク・ライフ・バランスの実現について、貴事業所における優良事例や取組がありましたらご記入ください。

問24 事業所における男女共同参画推進についてご意見・ご感想がありましたらご記入ください。

続いて、多文化共生に関するアンケートです→

VI 外国人の就業状況について

問25 回答日時点で、貴社には外国人が働いていますか。(複数選択可)

1. 正社員がいる	5. 技能実習生がいる	問1-2へ
2. パート・アルバイトがいる	6. 以前はいたが、今はいない	
3. 派遣社員がいる	7. これまでに全くいない	問1-3へ
4. 契約社員がいる		

問26 「6. 以前はいたが、今はいない」と答えた事業所にお尋ねします。その理由はなんですか。
(1つを選択)

1. 外国人が離職後、日本人社員で足りている	4. トラブルがあった()
2. すぐ離職するので採用を見送った	5. 特に理由はない
3. コミュニケーションが難しい	6. その他()

問27 「7. これまでに全くいない」と答えた事業所にお尋ねします。その理由はなんですか。
(1つを選択)

1. 日本人社員で足りている	4. コミュニケーションが難しそう
2. すぐ離職するのではと採用を躊躇する	5. 採用方法が分からない
3. 募集したが応募がない	6. その他()

問28 今後の外国人の採用予定について教えてください。(1つを選択)

1. 今後新たに採用したい	2. 現在、その予定はないが検討したい	3. その予定はない
---------------	---------------------	------------

「6. 以前はいたが、今はいない」、
「7. これまでに全くいない」と答えた事業所は問41へ。

問29 「1～5」と答えた方にお尋ねします。おおよその人数、国籍、作業内容等を教えてください。

	人数	国籍	作業内容	採用方法・募集媒体
正社員		ブラジル・ペルー・ベトナム・ インドネシア・その他()		ハローワーク・学校・ その他()
パート・アルバイト		ブラジル・ペルー・ベトナム・ インドネシア・その他()		ハローワーク・学校・ その他()
派遣社員		ブラジル・ペルー・ベトナム・ インドネシア・その他()		
技能実習生		ブラジル・ペルー・ベトナム・ インドネシア・その他()		
その他の職種		ブラジル・ペルー・ベトナム・ インドネシア・その他()		ハローワーク・学校・ その他()

問30 今後の外国人の採用予定について教えてください。(1つを選択)

- | | | |
|-----------------|-----------------|-------|
| 1. 積極的に新たに採用したい | 2. 採用は控える又は縮小する | 3. 未定 |
|-----------------|-----------------|-------|

VII 外国人従業員に求める能力について

問31 外国人従業員(技能実習生を除く)に求める日本語能力は何ですか。(複数回答可)

- | | | |
|-------|-------|-------------|
| 1. 話す | 3. 読む | 5. いずれも必要なし |
| 2. 聞く | 4. 書く | |

問32 どのような資格を求めますか。(複数回答可)

- | | |
|------------|------------------------|
| 1. 特に必要なし | 3. 日本語能力試験() ←「N1以上」等 |
| 2. 普通自動車免許 | 4. その他() |

問33 どのような資質を求めますか。(複数回答可)

- | | | |
|--------------|---------------|-------|
| 1. 長期間働いてくれる | 5. 協調性 | 9.その他 |
| 2. 主体的行動力 | 6. 対人関係能力 | () |
| 3. 向上心 | 7. 職場のルールが守れる | |
| 4. リーダーシップカ | 8. 適応力 | |

問34 外国人従業員に対する日本語教育を実施していますか。(1つを選択)

- | | |
|------------------|---------|
| 1. 実施していない | 理由() |
| 2. 自社で実施している | 実施内容() |
| 3. 外部に委託して実施している | 実施内容() |

問35 外国人従業員への日本語教育についてどう考えていますか。(もっとも当てはまるものを1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 各事業所が責任をもって実施すべき | 3. 行政が実施すべき |
| 2. 各従業員が個人で努力すべき | 4. 複数の事業所等で共同実施したい |

問36 外国人従業員が行う日本語学習等を支援する取り組みがありましたら教えてください。

問37 外国人従業員のことについて、相談する先がありますか。また、その悩みは解決されますか？

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. ある(相談先:) | ・解決することが多い |
| 2. ない | ・解決しないことが多い |

Ⅷ 技能実習生を受け入れている事業所のみお答えください。

問38 外国人技能実習生の受け入れについて、監理団体に依頼をしたことがありますか。(1つを選択)

1. ある	2. ない
-------	-------

問39 「ある」と答えた事業所にお尋ねします。監理団体の対応について教えてください。(それぞれ1つを選択)

	十分	不十分
技能実習生の日本語に関する教育	1	2
技能実習生への相談対応	1	2

Ⅸ 自由記述

問40 その他、外国人従業員のことについて、お考えのことがありましたらお書きください。

X 最後に（貴事業所について）

問41 本調査において優良な取組み事例のある事業所につきましては、後日市役所からヒアリング等のご連絡をさせていただく可能性がございます。

差し支えなければ、貴事業所の事業所情報をご記入ください。(自由記述)

名称	:	
所在地	:	
連絡先	:	

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、

____月 ____日（ ）までにご投函ください。

男女共同参画・多文化共生に関する
市民意識調査結果
【男女共同参画編】

令和2年度
湖西市

1. 調査概要.....	1
I 調査目的.....	1
II 調査設計.....	1
III 回収結果.....	1
IV 報告書をみる際の注意事項.....	1
2. 調査結果.....	3
I 属性.....	3
<1. 性別>.....	3
<2. 年齢>.....	3
<3. 家族構成>.....	4
<4. 就業状況>.....	5
<5. 結婚状況>.....	6
<6. 夫婦の就業状況>.....	7
<7. 高校生以下の子どもの有無>.....	8
<8. 介護・介助の必要な家族の有無>.....	9
II 言葉・考え方について.....	10
<1. 『男女共同参画』の認知>.....	10
<3. 『リプロダクティブ・ヘルス/ライツ』の認知>.....	11
<4. 『選択的夫婦別氏制度』の認知>.....	122
III 社会における男女平等について.....	13
<1. 性別役割分担意識についての考え方>.....	13
<2. 家庭生活の平等感>.....	14
<3. 職場の平等感>.....	15
<4. 就職の平等感>.....	16
<5. 学校教育の場の平等感>.....	17
<6. 地域（自治会・PTA等）の平等感>.....	18
<7. 政治の場の平等感>.....	19
<8. 法律や制度の上の平等感>.....	20
<9. 社会通念や慣習・しきたりの平等感>.....	21
<10. ドラマ・漫画・文化の平等感>.....	222
<11. 社会全体の平等感>.....	23
<12. 男女平等社会実現のために大切なこと>.....	24
<13. 男女平等社会実現のために行政が力を入れるべきこと>.....	26
IV 家庭生活における役割分担について.....	28
<1. 家計についての考え方>.....	28
<2. 家事についての考え方>.....	29
<3. 育児についての考え方>.....	30
<4. 介護についての考え方>.....	31

V	職業や労働について	32
	＜1. 「女性と職業」についての考え方＞	32
	＜2. 女性が働く上での障害＞	33
	＜3. 育児休業・休暇についての考え方＞	36
	＜4. 介護休業・休暇についての考え方＞	37
	＜5. 育児休業・休暇を男性が取得する環境＞	38
	＜6. 介護休業・休暇を男性が取得する環境＞	39
VI	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について	40
	＜1. 『ワーク・ライフ・バランス』の認知＞	40
	＜2. 理想の仕事と家庭生活（プライベート）＞	41
	＜3. 現実の仕事と家庭生活（プライベート）＞	42
VII	セクシュアル・ハラスメントについて	43
	＜1. セクハラ経験の有無＞	43
	＜2. セクハラへの対応＞	45
VIII	ドメスティック・バイオレンス（DV）について	47
	＜1. DV経験の有無＞	47
	＜2. DVへの対応＞	49
IX	防災・復興について	51
	＜1. 災害対応への女性参画のために必要な施策＞	51
X	性的マイノリティについて	54
	＜1. 『性的マイノリティ（LGBT）』の認知＞	54
	＜2. 性的マイノリティにとって生活しやすい社会か＞	55
	＜3. 性的マイノリティが生活しやすくなるために必要な施策＞	56
XI	その他について	58
	＜1. 市政への女性の意見の反映＞	58

3.	調査票	59
----	-----	----

1. 調査概要

1. 調査概要

I 調査目的

このアンケートは、市民の男女平等や男女共同参画社会の実現及び多文化共生に関する考えや意見をお聞きし、今後の計画推進の参考とするために実施しました。

II 調査設計

調査対象：湖西市在住の18歳以上の男女

調査方法：郵送配布・郵送回収

抽出方法：無作為抽出

調査期間：令和2年6月18日（木）～令和2年7月8日（水）

調査機関：株式会社サーベイリサーチセンター静岡事務所

III 回収結果

発送数：1,500件

回収数：670件（無効票0件）

有効回収数：670件

有効回収率：44.7%

※無効票とは、回収されたが無記入あるいは記入が少ない調査票のことです。

IV 報告書を見る際の注意事項

- サンプルサイズはnとして記載し、回答比率はこれを100%として算出しています。
- 比率は百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。
- 複数回答が可能な設問の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合があります。

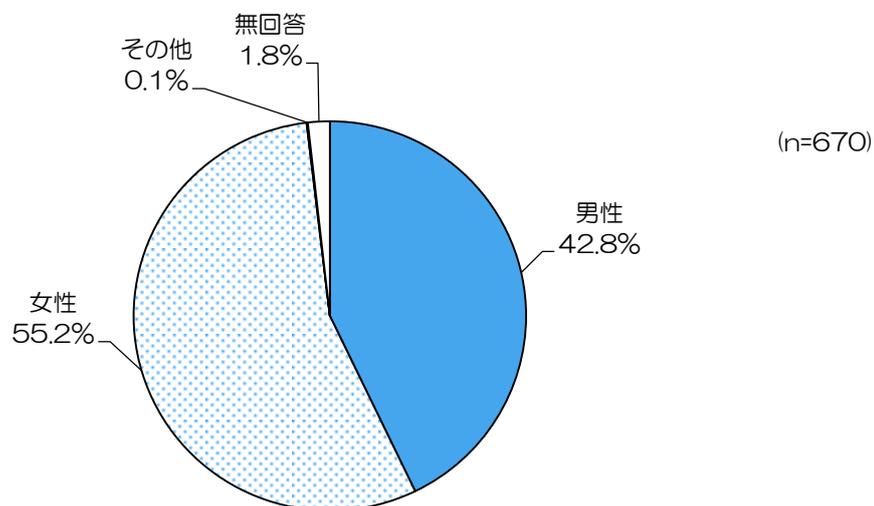
2. 調査結果

2. 調査結果

I 属性

<1. 性別>

問1 あなたの性別をお答えください。(1つを選択)

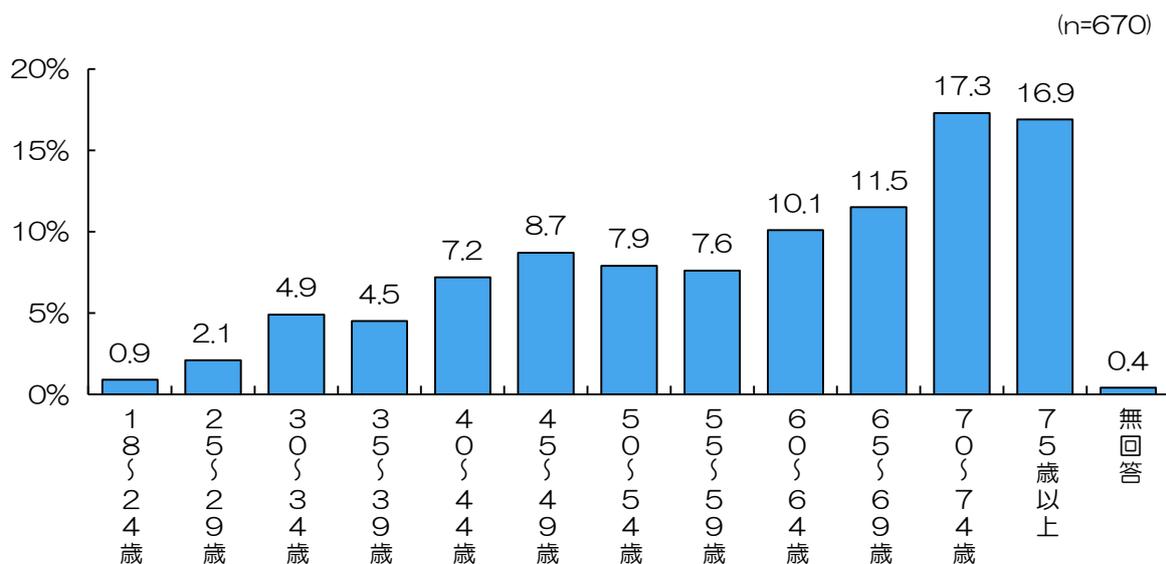


性別は、「男性」が42.8%、「女性」が55.2%、「その他」が0.1%となっています。

<2. 年齢>

問2 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。(1つを選択)

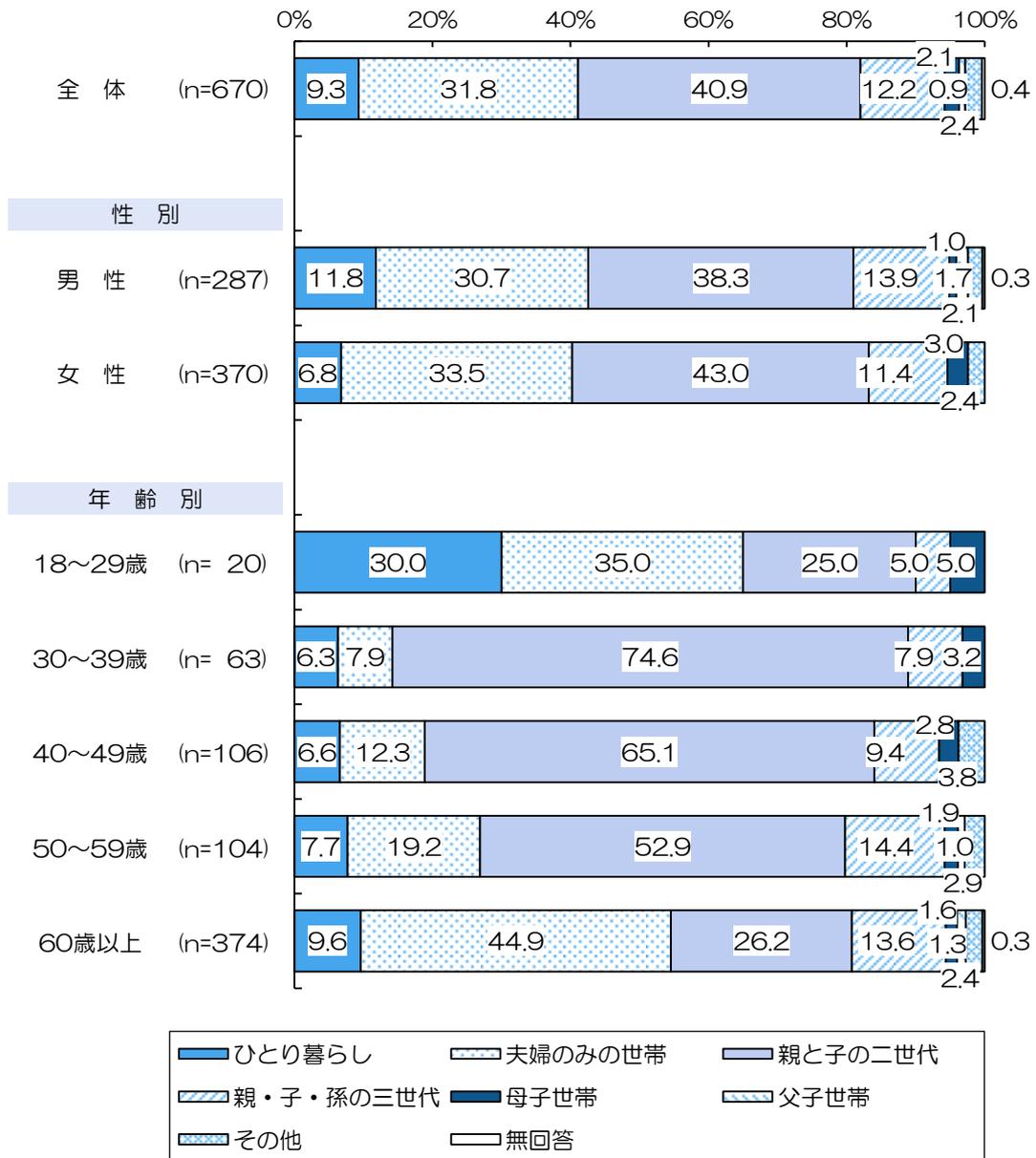
※6月1日現在の年齢をお選びください。



年齢は、「70～74歳」が17.3%と最も多く、次いで「75歳以上」が16.9%、「65～69歳」が11.5%などとなっています。

〈3. 家族構成〉

問3 あなたの家族構成（同居している家族）は次のどれにあてはまりますか。（1つを選択）

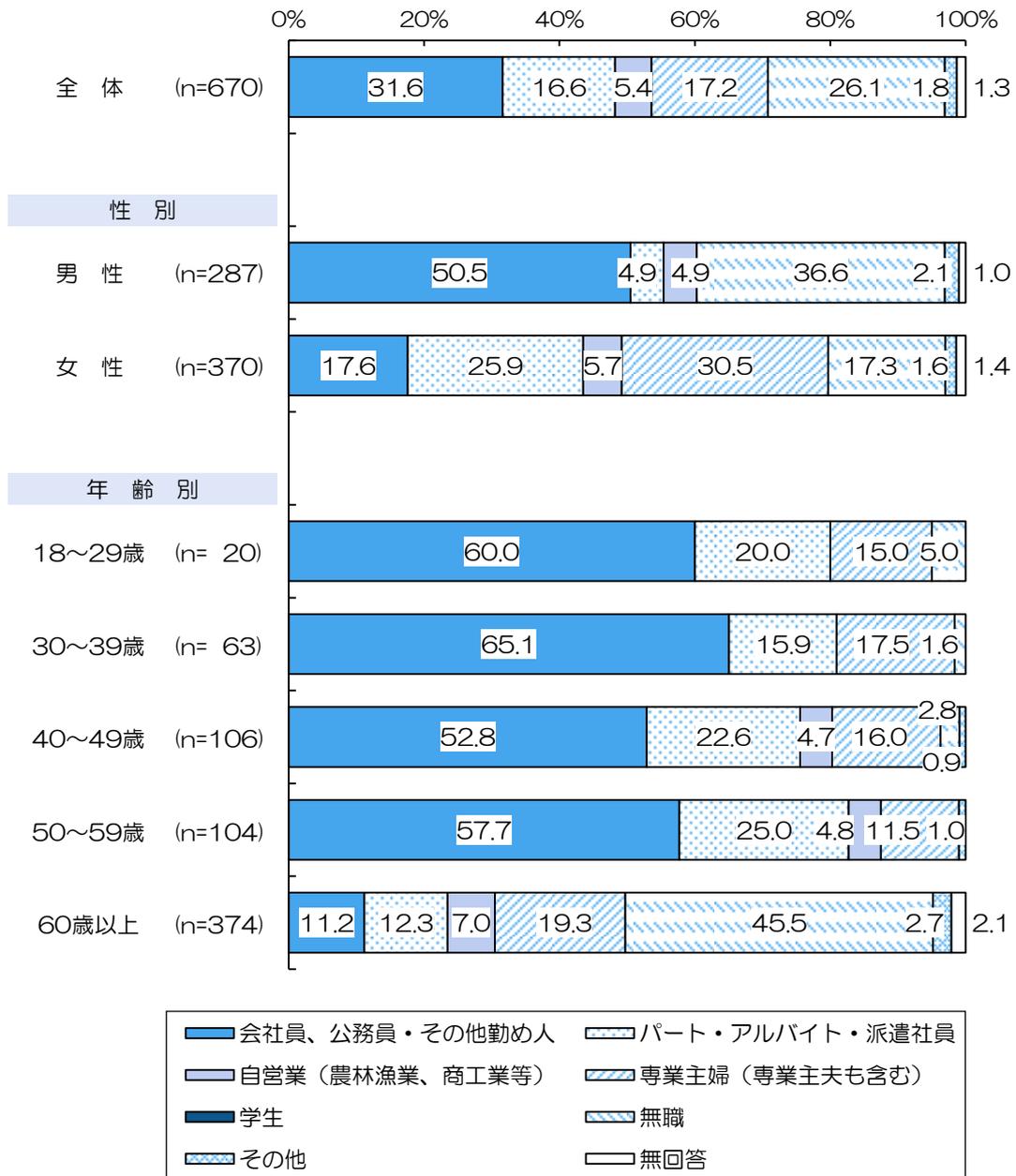


家族構成は、「親と子の二世帯」が40.9%と最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が31.8%、「親・子・孫の三世帯」が12.2%などとなっています。

〈4. 就業状況〉

問4 あなたの職業は次のどれにあてはまりますか。

(兼業の方は主なものをお選びください。)(1つを選択)

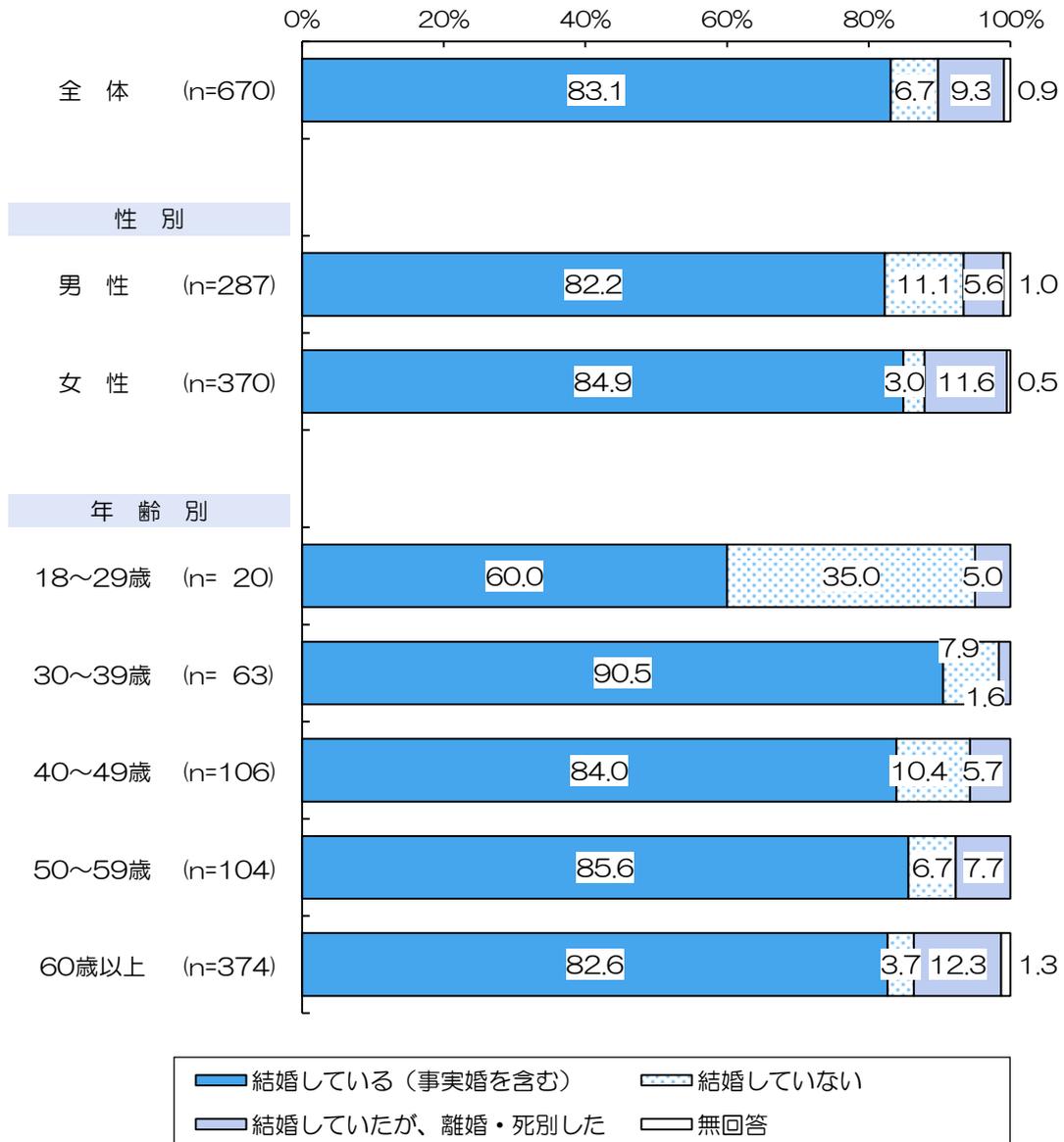


就業状況は、「会社員、公務員・その他勤め人」が31.6%と最も多く、次いで「無職」が26.1%、「専業主婦（専業主夫も含む）」が17.2%などとなっています。

性別にみると、「女性」では「専業主婦（専業主夫も含む）」が30.5%と最も多くなっています。年齢別にみると、「60歳以上」では「無職」が45.5%と最も多くなっています。

<5. 結婚状況>

問5 あなたは結婚していますか。(1つを選択)

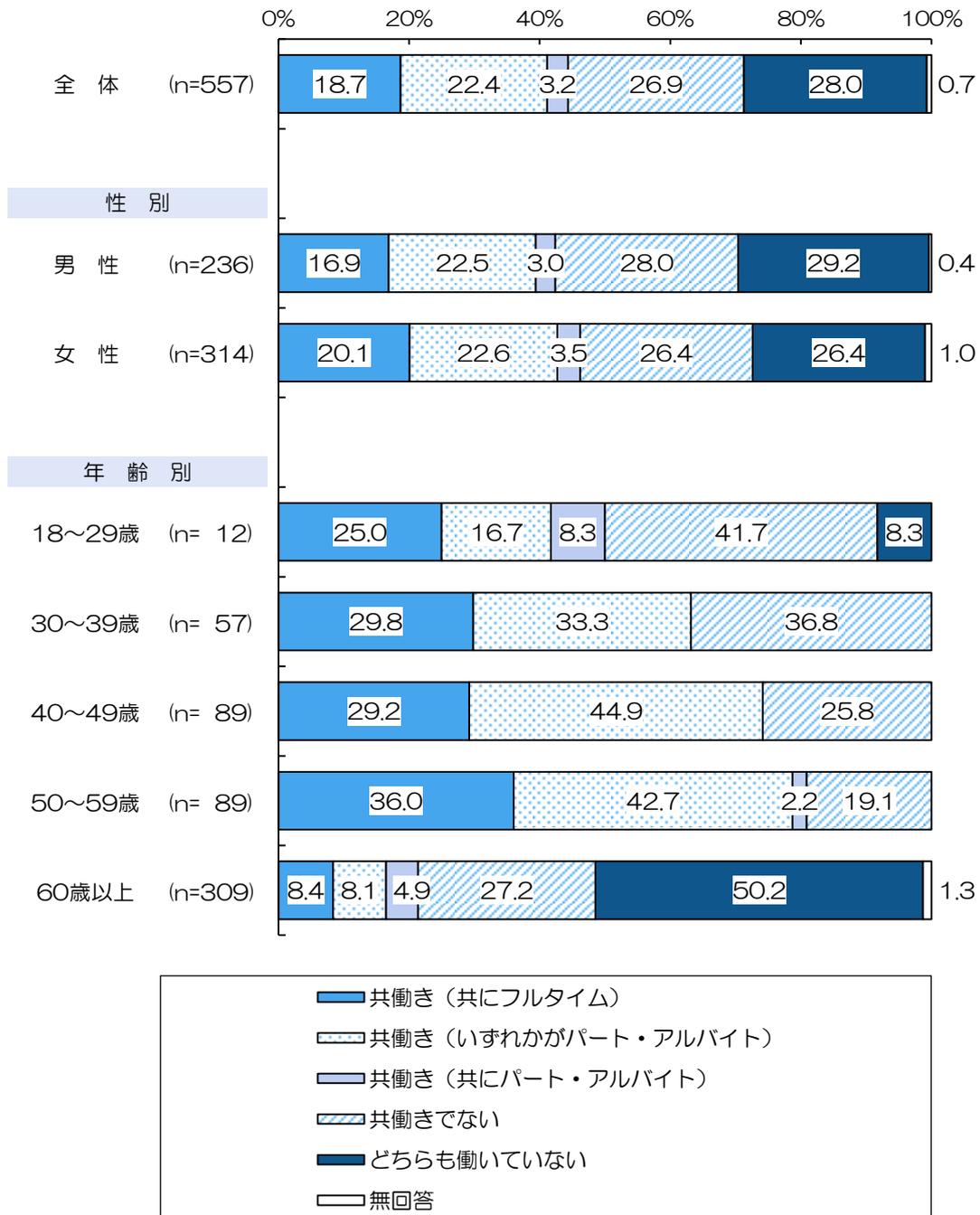


結婚状況は、「結婚している (事実婚を含む)」が83.1%、「結婚していない」が6.7%、「結婚していたが、離婚・死別した」が9.3%となっています。

<6. 夫婦の就業状況>

<問5で「1. 結婚している（事実婚を含む）」とお答えの方>

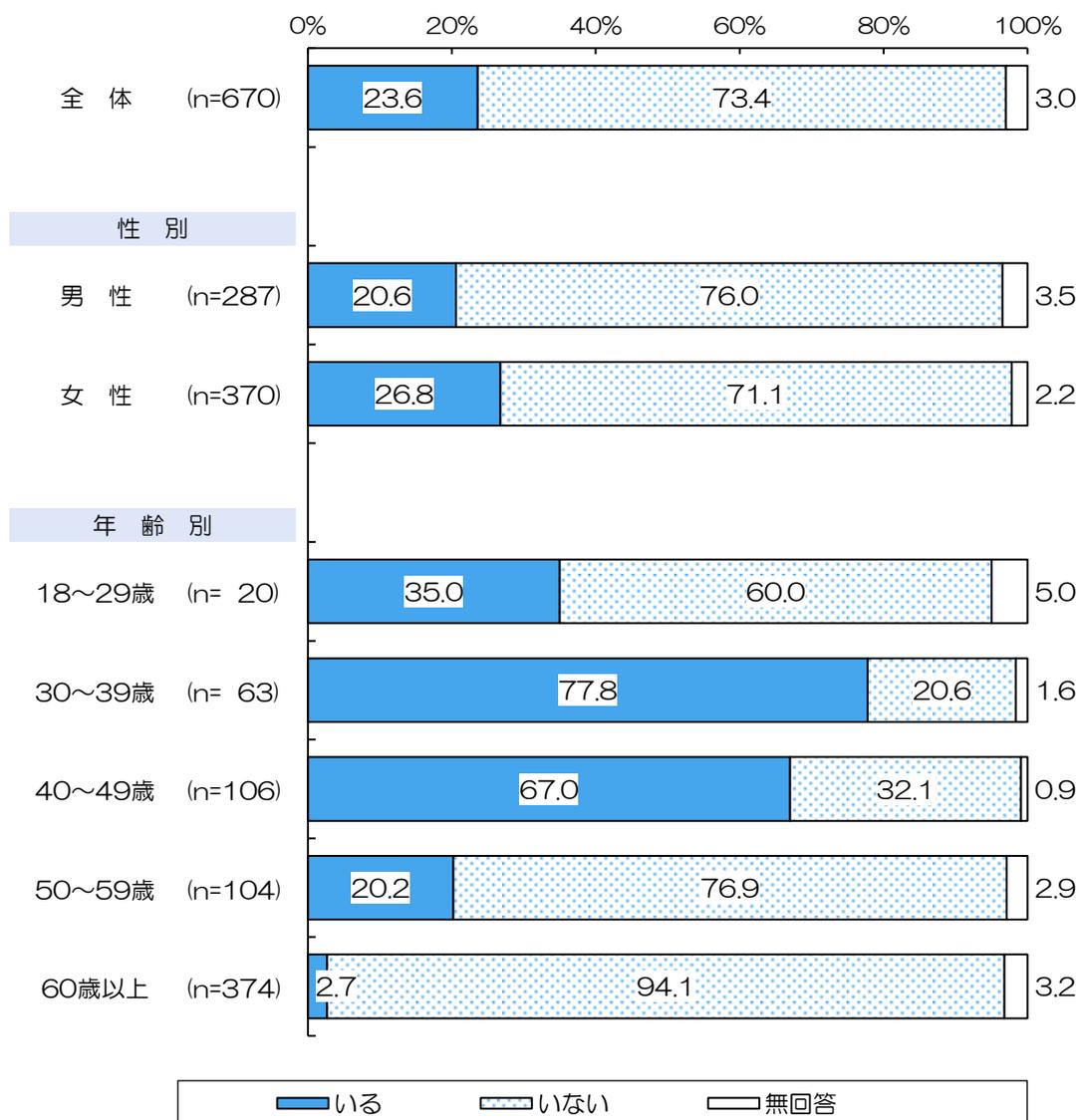
問6 現在、共働きをしていますか。（1つを選択）



夫婦の就業状況は、「どちらも働いていない」が28.0%と最も多く、次いで「共働きでない」が26.9%、「共働き（いずれかがパート・アルバイト）」が22.4%などとなっています。

<7. 高校生以下の子どもの有無>

問7 あなたは高校生以下のお子さんがいらっしゃいますか。(1つを選択)

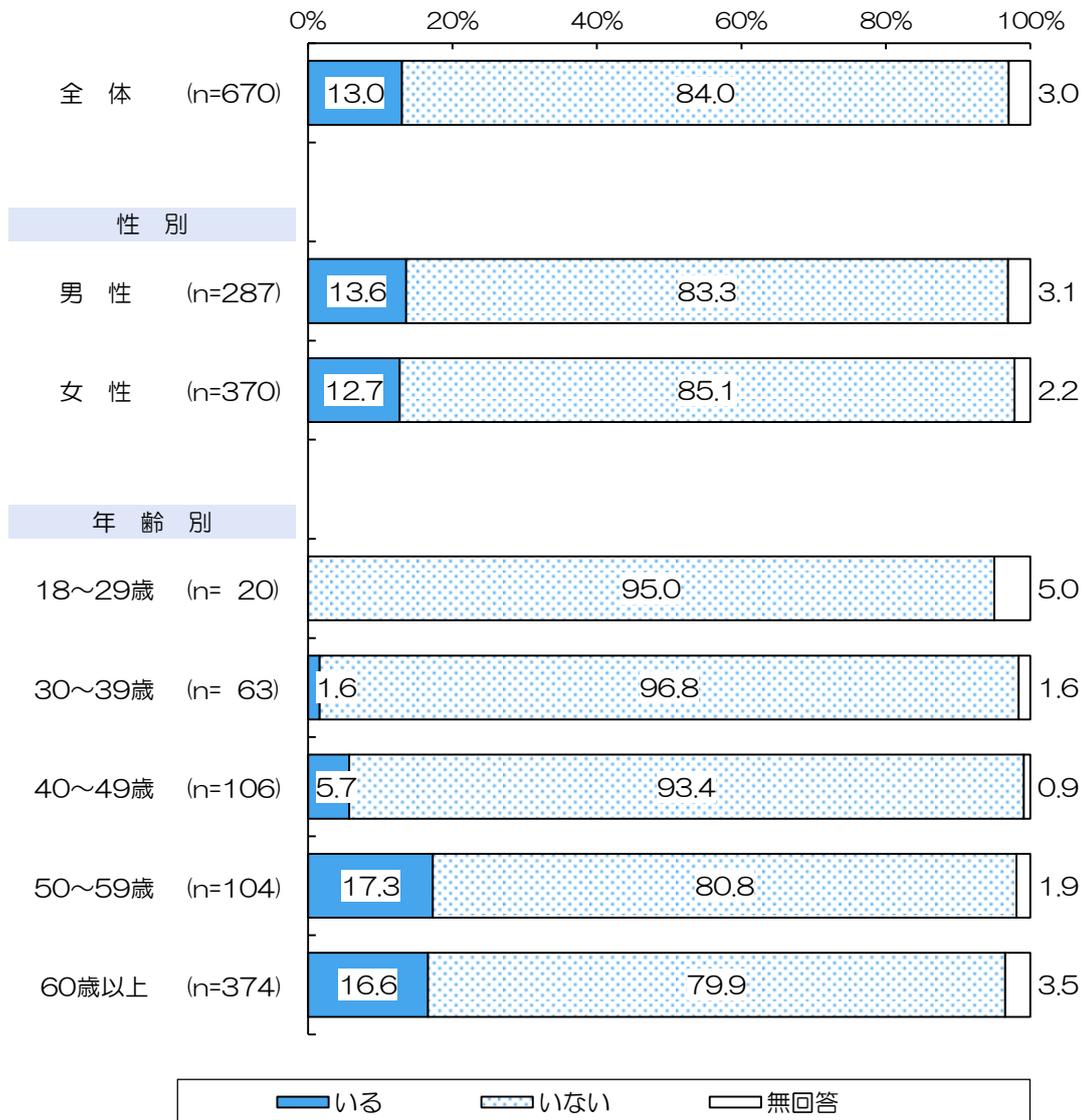


高校生以下の子どもの有無は、「いる」が23.6%、「いない」が73.4%となっています。

<8. 介護・介助の必要な家族の有無>

問8 あなたを含めたご家族の中に介護・介助が必要な方がいらっしゃいますか。

(1つを選択)

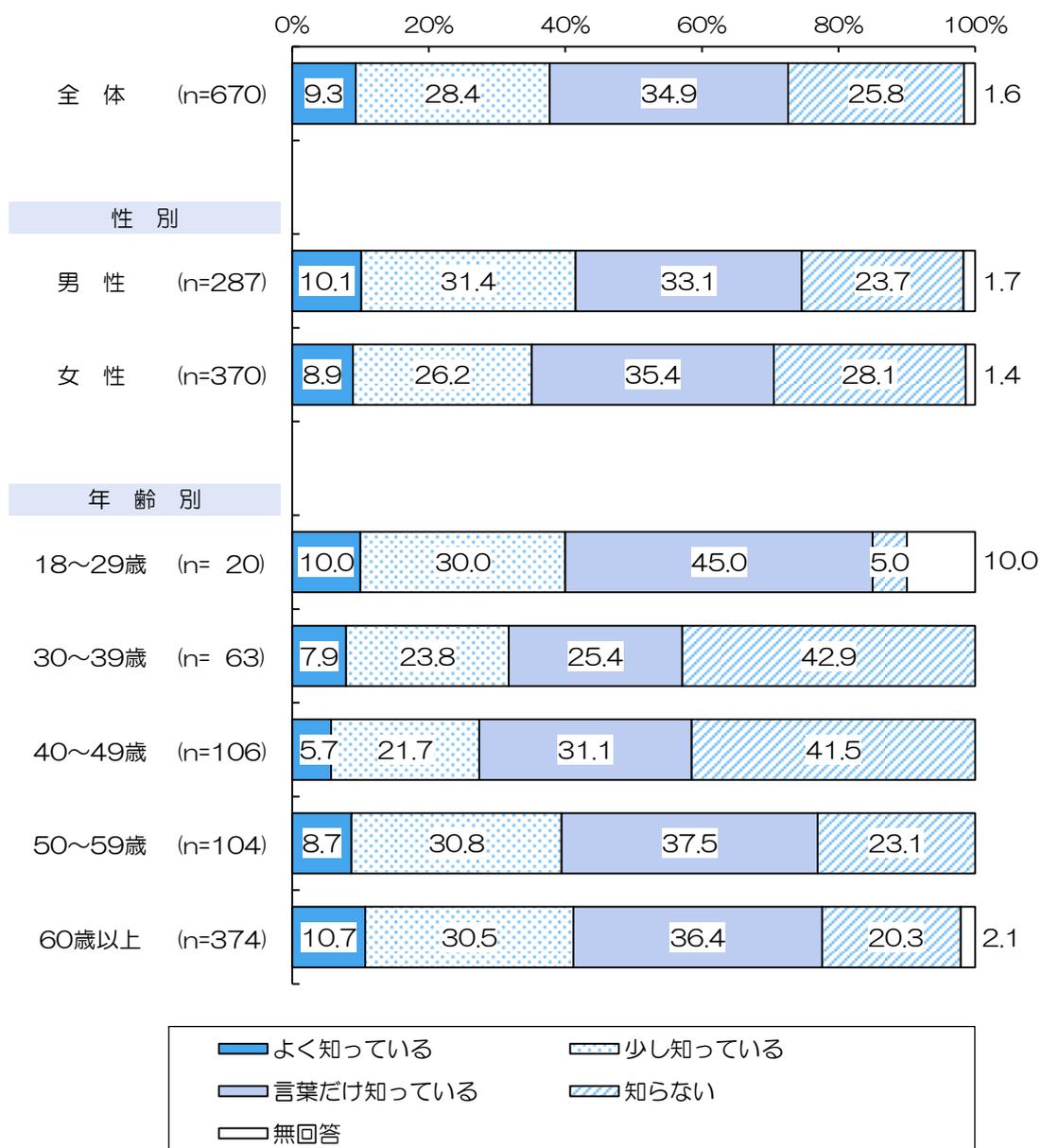


介護・介助の必要な家族の有無は、「いる」が13.0%、「いない」が84.0%となっています。

Ⅱ 言葉・考え方について

＜1. 『男女共同参画』の認知＞

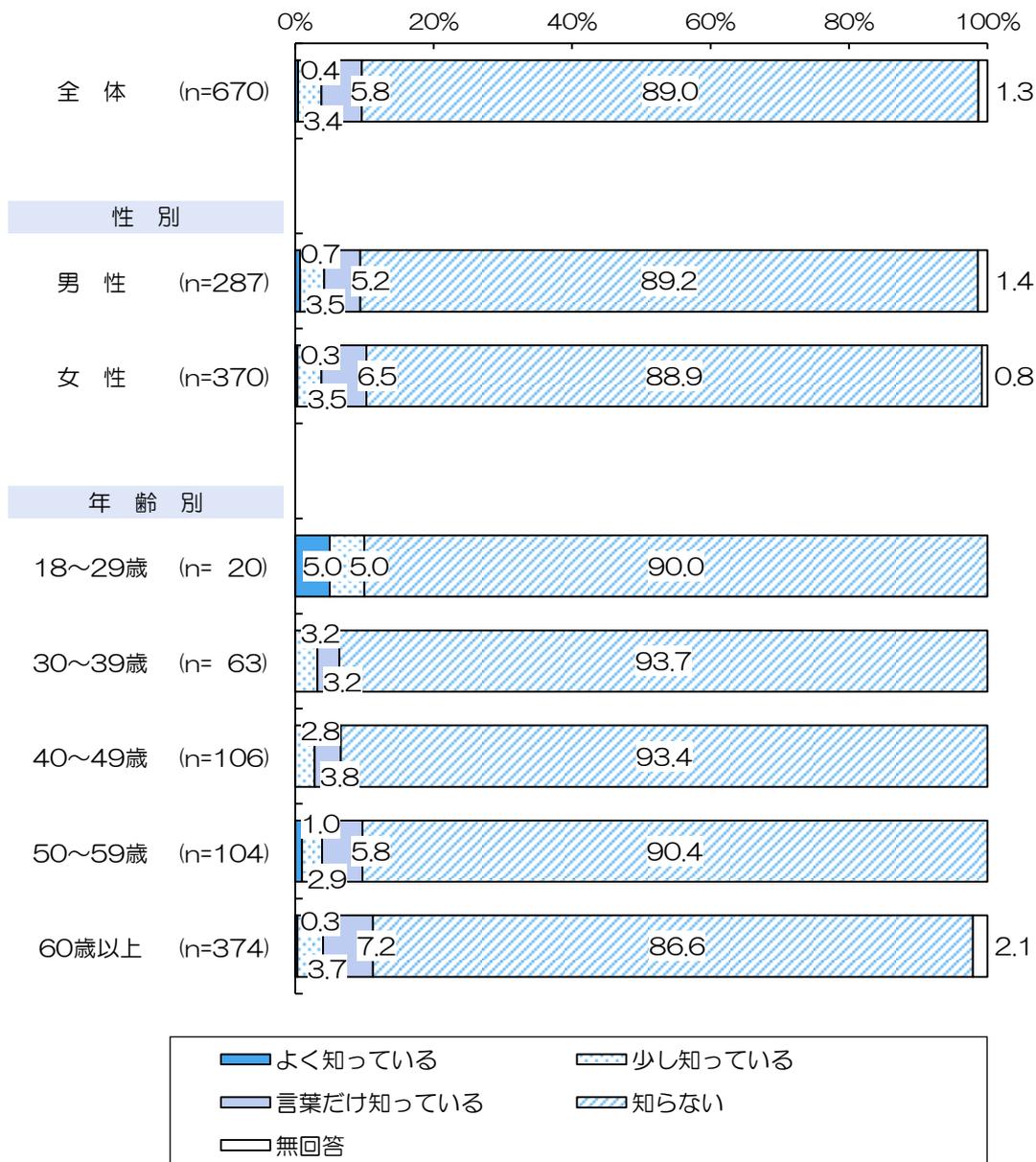
問9 『男女共同参画』という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。(1つを選択)



『男女共同参画』の認知は、「よく知っている」が9.3%、「少し知っている」が28.4%、「言葉だけ知っている」が34.9%、「知らない」が25.8%となっています。

＜3. 『リプロダクティブ・ヘルス/ライツ』の認知＞

問11 『リプロダクティブ・ヘルス/ライツ』という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。(1つを選択)

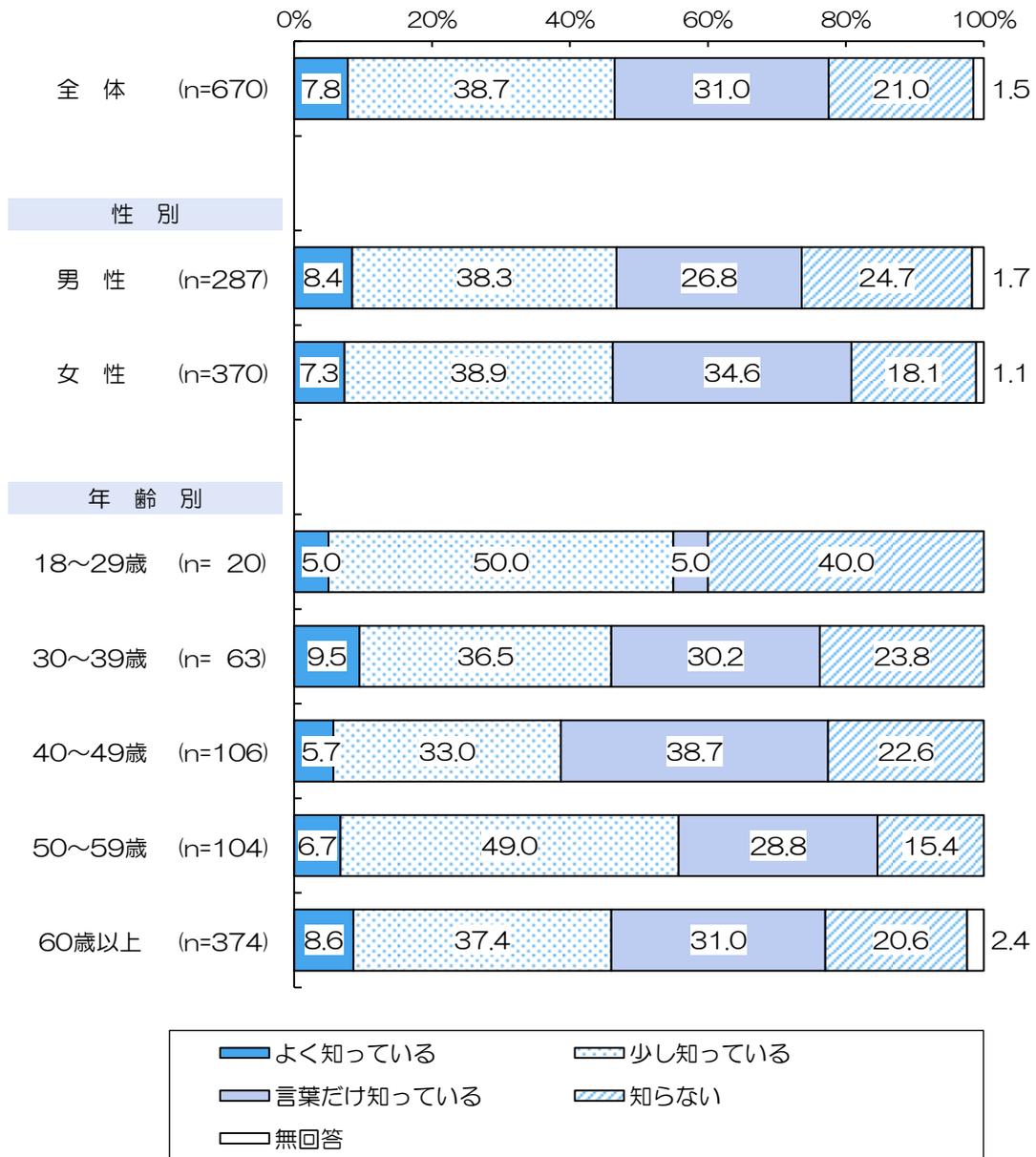


『リプロダクティブ・ヘルス/ライツ』の認知は、「よく知っている」が0.4%、「少し知っている」が3.4%、「言葉だけ知っている」が5.8%、「知らない」が89.0%となっています。

<4. 『選択的夫婦別氏制度』の認知>

問12 選択的夫婦別氏制度という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。

(1つを選択)

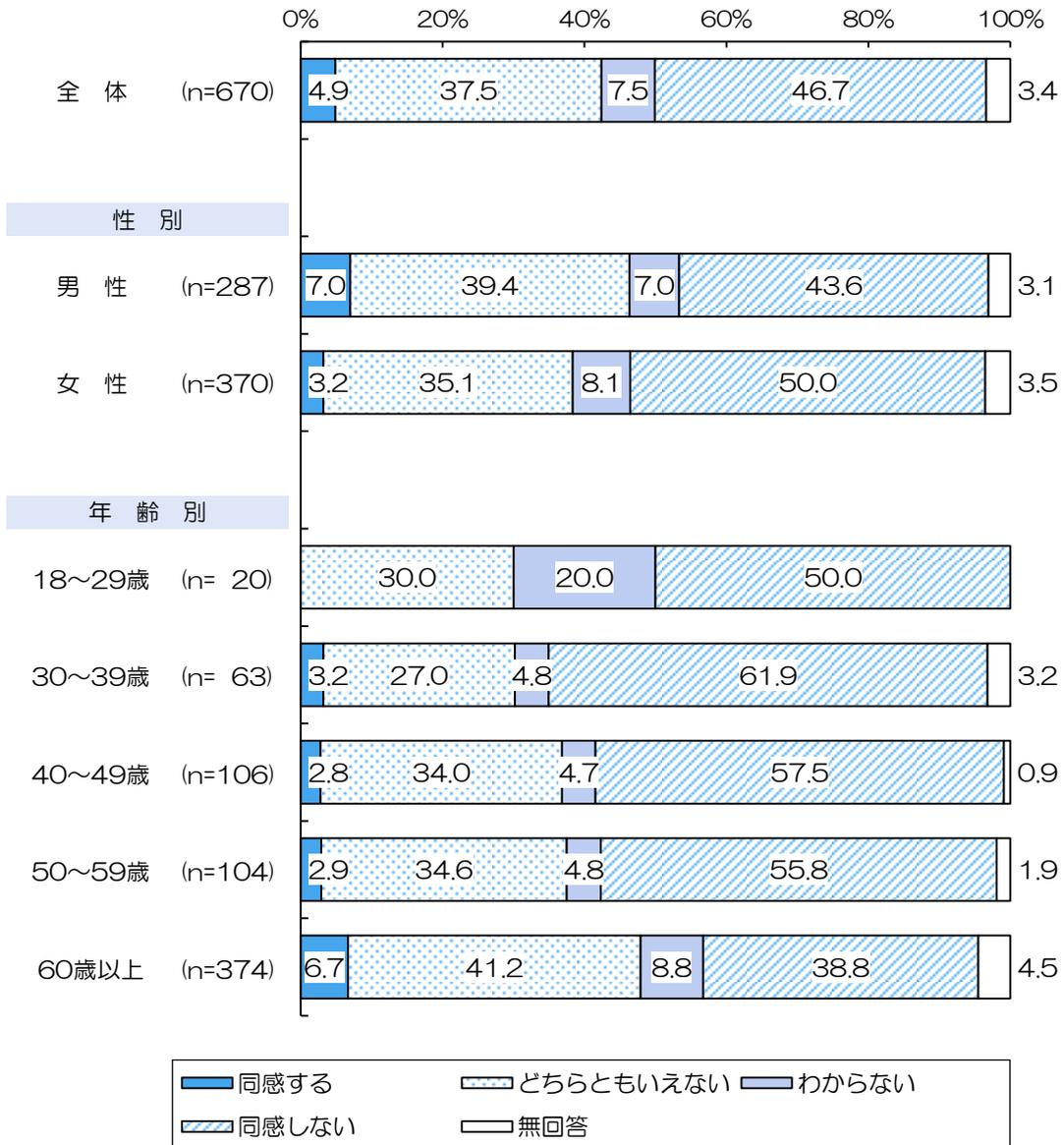


『選択的夫婦別氏制度』の認知は、「よく知っている」が7.8%、「少し知っている」が38.7%、「言葉だけ知っている」が31.0%、「知らない」が21.0%となっています。
年齢別にみると、“40~49歳”では「言葉だけ知っている」が38.7%と最も多くなっています。

Ⅲ 社会における男女平等について

＜1. 性別役割分担意識についての考え方＞

問13 『男は仕事、女は家庭』というような男女の役割を固定的に考えること（性別役割分担意識）について、あなたはどのようにお考えですか。（1つを選択）



性別役割分担意識についての考え方は、「同感する」が4.9%、「どちらともいえない」が37.5%、「わからない」が7.5%、「同感しない」が46.7%となっています。

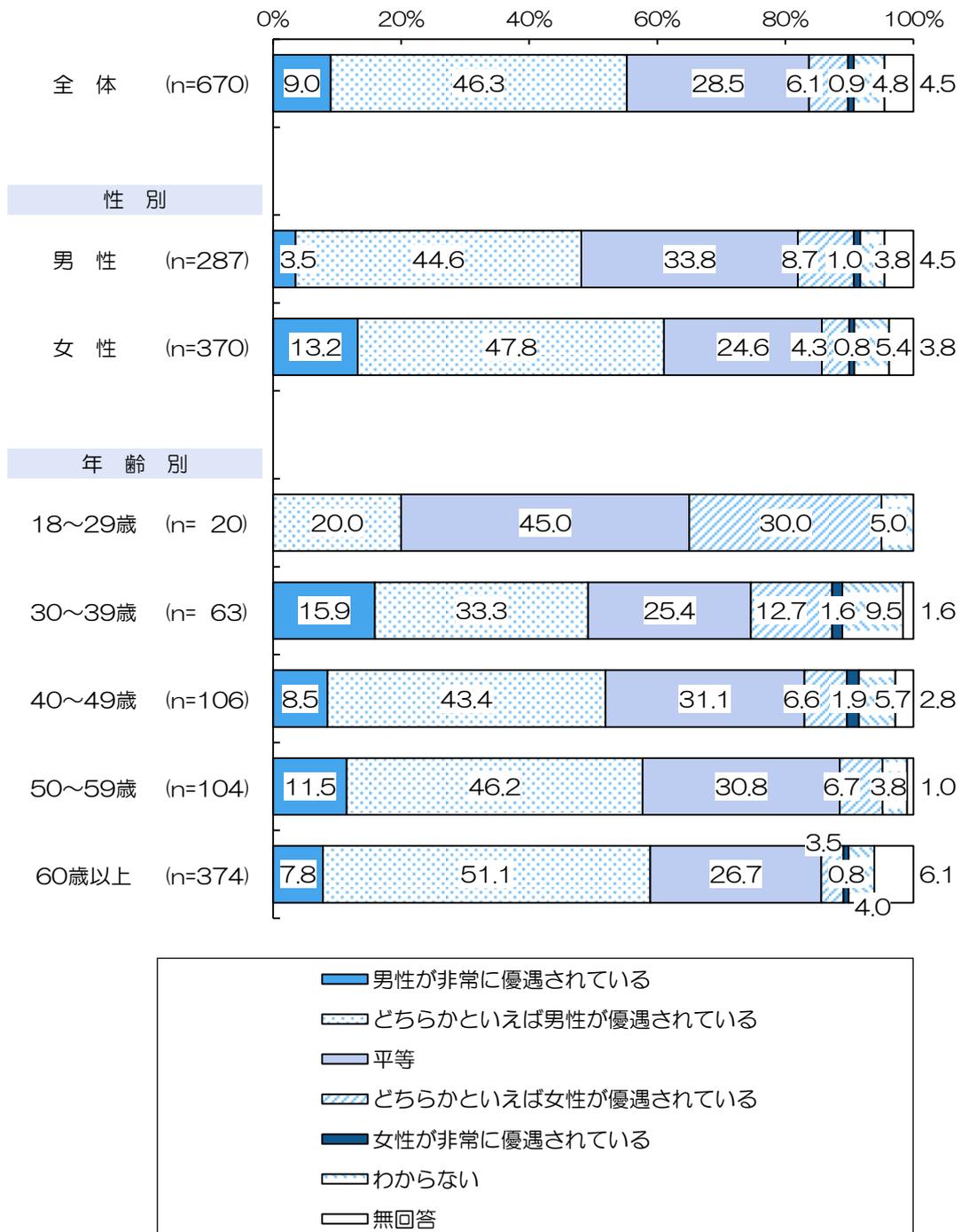
年齢別にみると、“60歳以上”では「どちらともいえない」が41.2%と最も多くなっています。

〈2. 家庭生活の平等感〉

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。

(それぞれ1つを選択)

①家庭生活

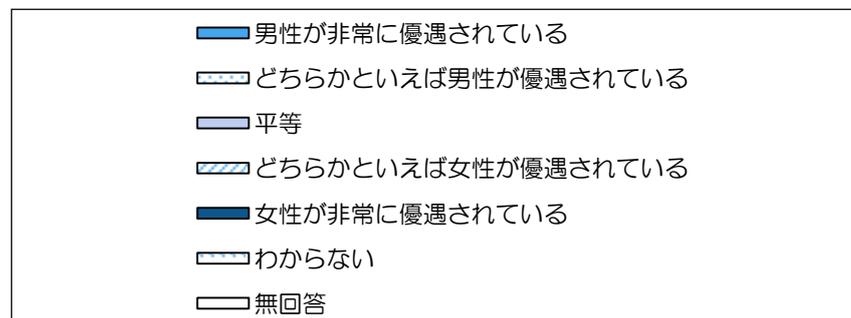
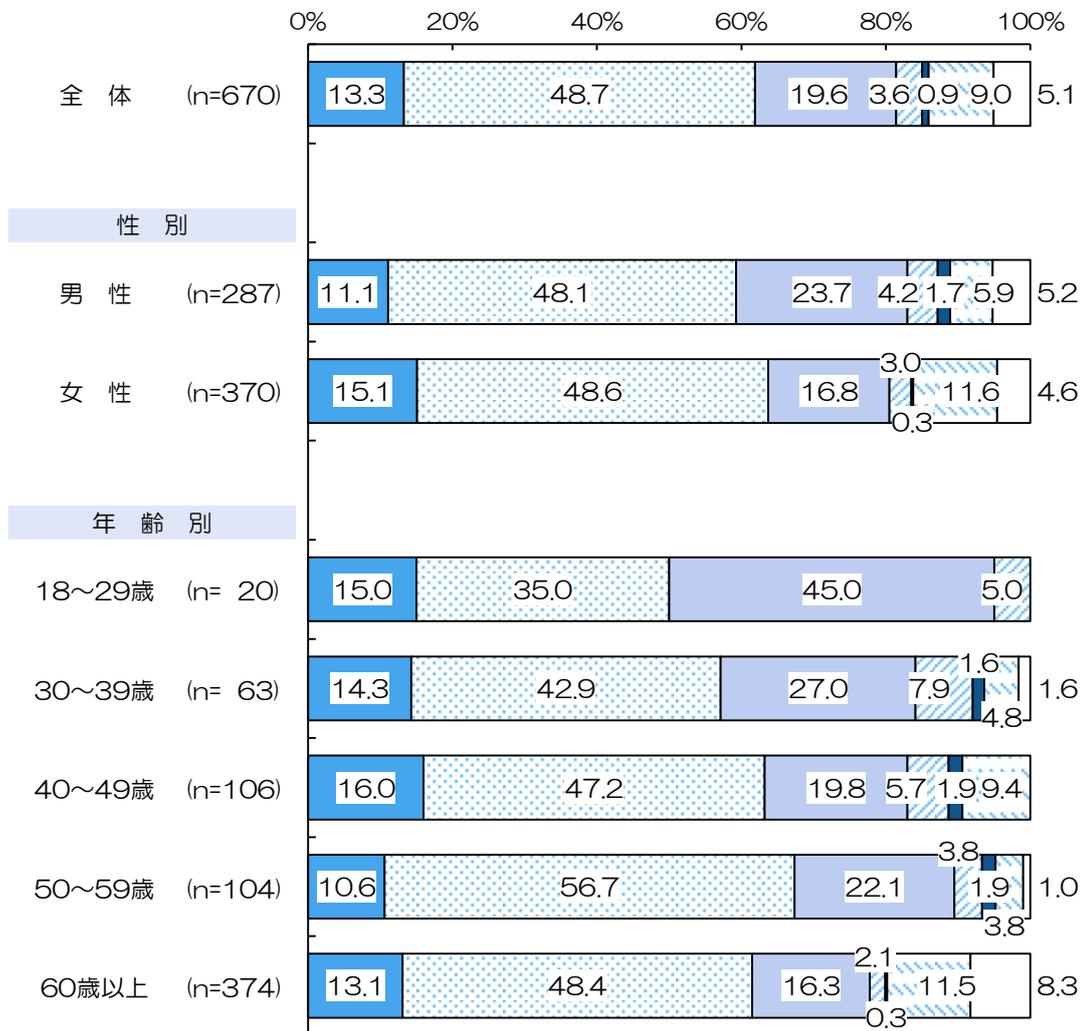


家庭生活の平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が46.3%と最も多く、次いで「平等」が28.5%、「男性が非常に優遇されている」が9.0%などとなっています。
年齢別にみると、“18~29歳”では「平等」が45.0%と最も多くなっています。

〈3. 職場の平等感〉

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

②職場

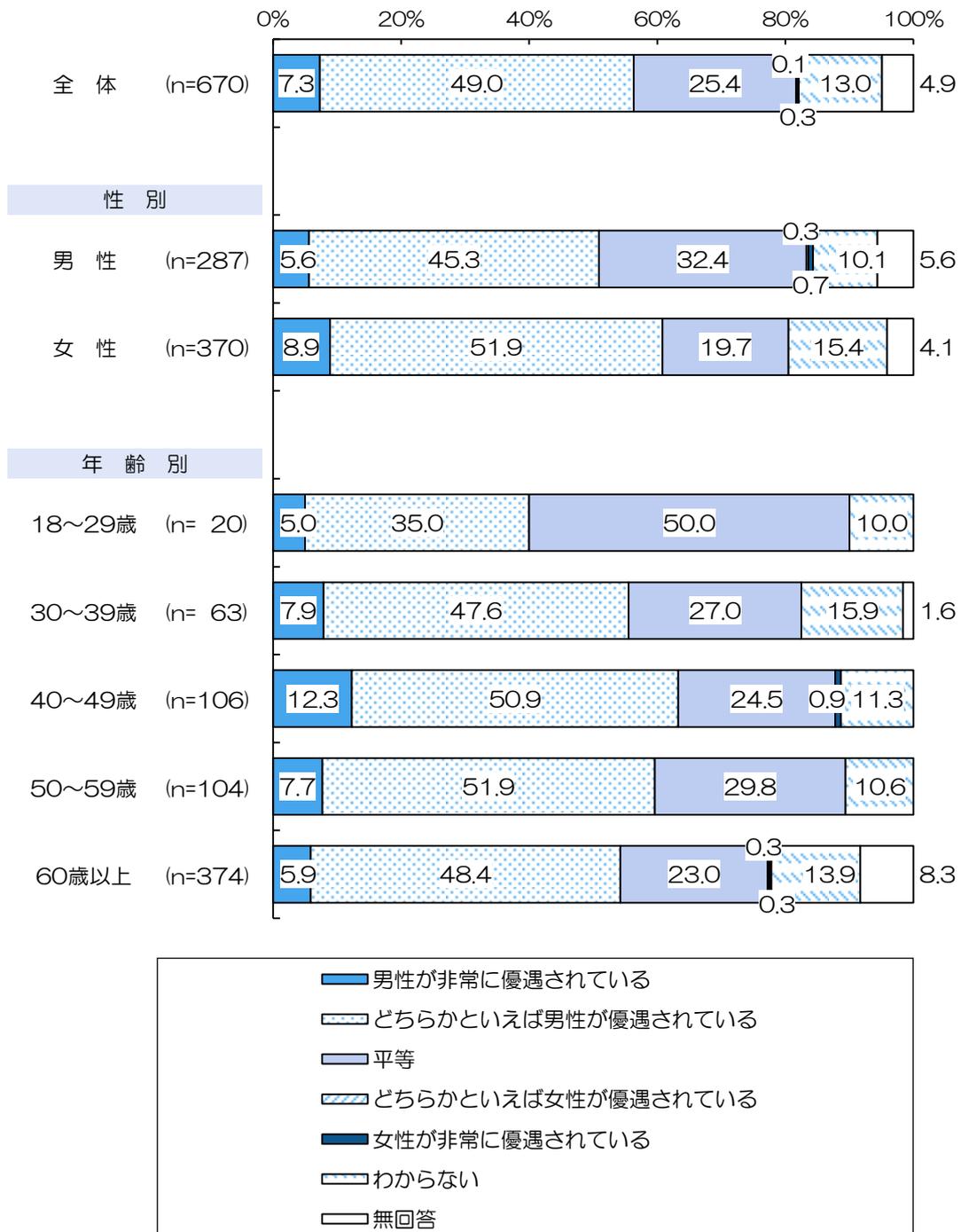


職場の平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が48.7%と最も多く、次いで「平等」が19.6%、「男性が非常に優遇されている」が13.3%などとなっています。
年齢別にみると、“18~29歳”では「平等」が45.0%と最も多くなっています。

<4. 就職の平等感>

問14 あなたは、次のことについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

③就職



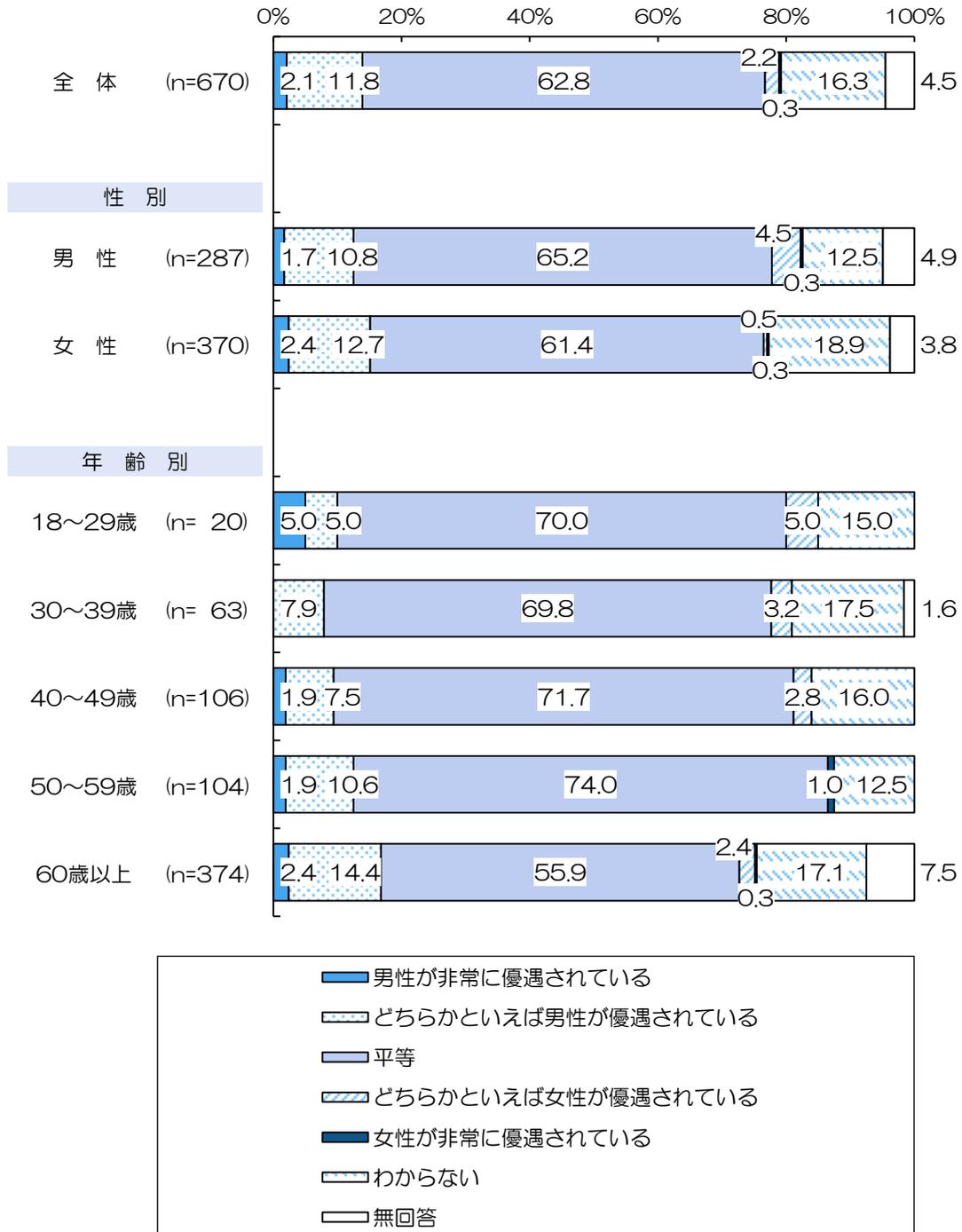
就職の平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が49.0%と最も多く、次いで「平等」が25.4%、「わからない」が13.0%などとなっています。

年齢別にみると、“18~29歳”では「平等」が50.0%と最も多くなっています。

<5. 学校教育の場の平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

④学校教育の場

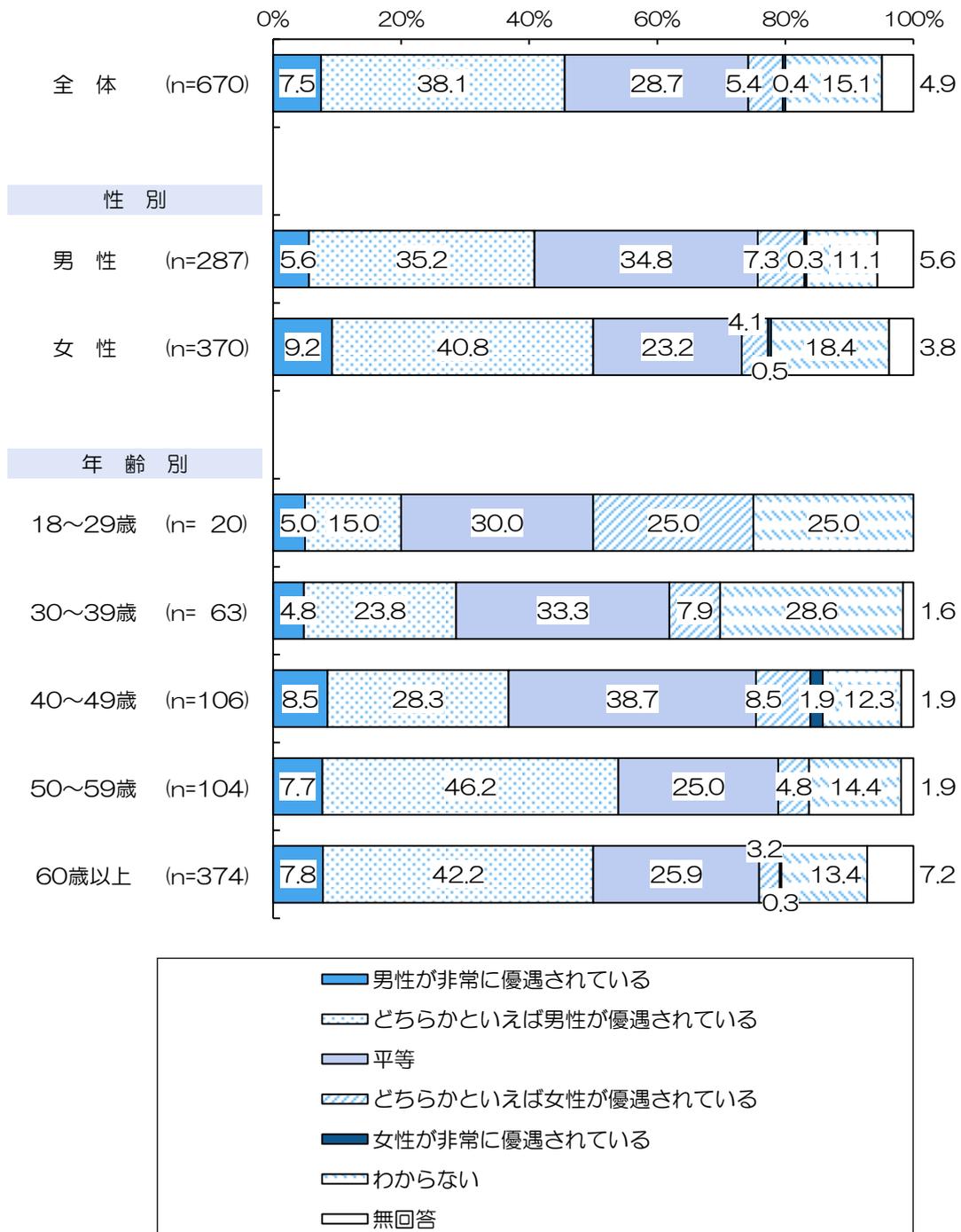


学校教育の場の平等感は、「平等」が62.8%と最も多く、次いで「わからない」が16.3%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が11.8%などとなっています。

<6. 地域（自治会・PTA等）の平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
（それぞれ1つを選択）

⑤地域（自治会・PTA等）

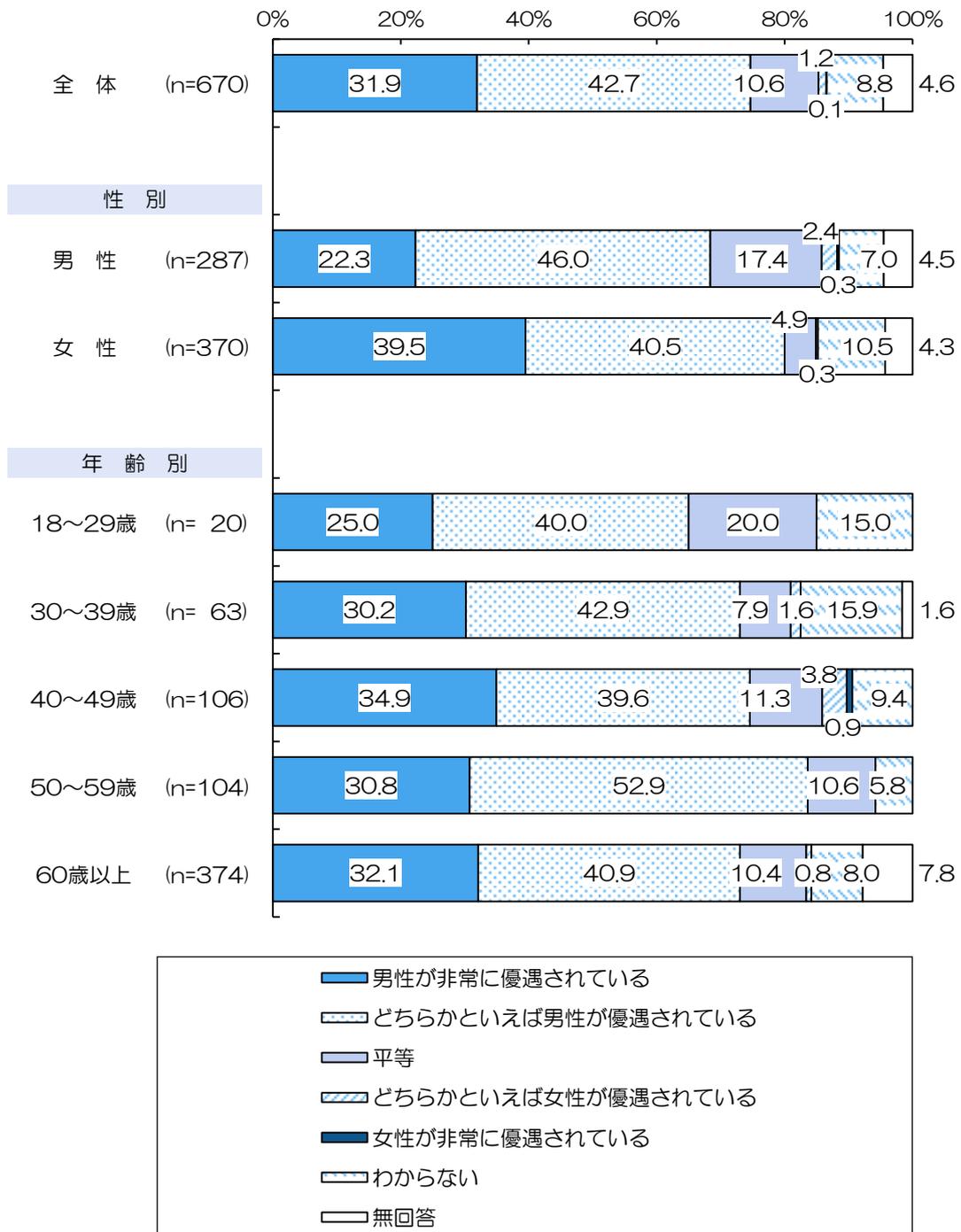


地域（自治会・PTA等）の平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が38.1%と最も多く、次いで「平等」が28.7%、「わからない」が15.1%などとなっています。

<7. 政治の場の平等感>

問14 あなたは、次のことについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

⑥政治の場

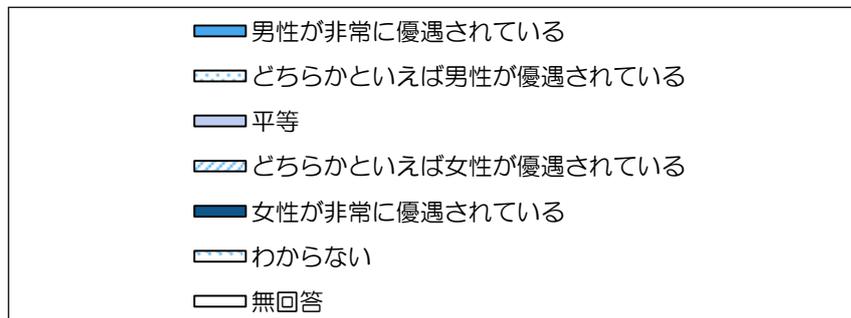
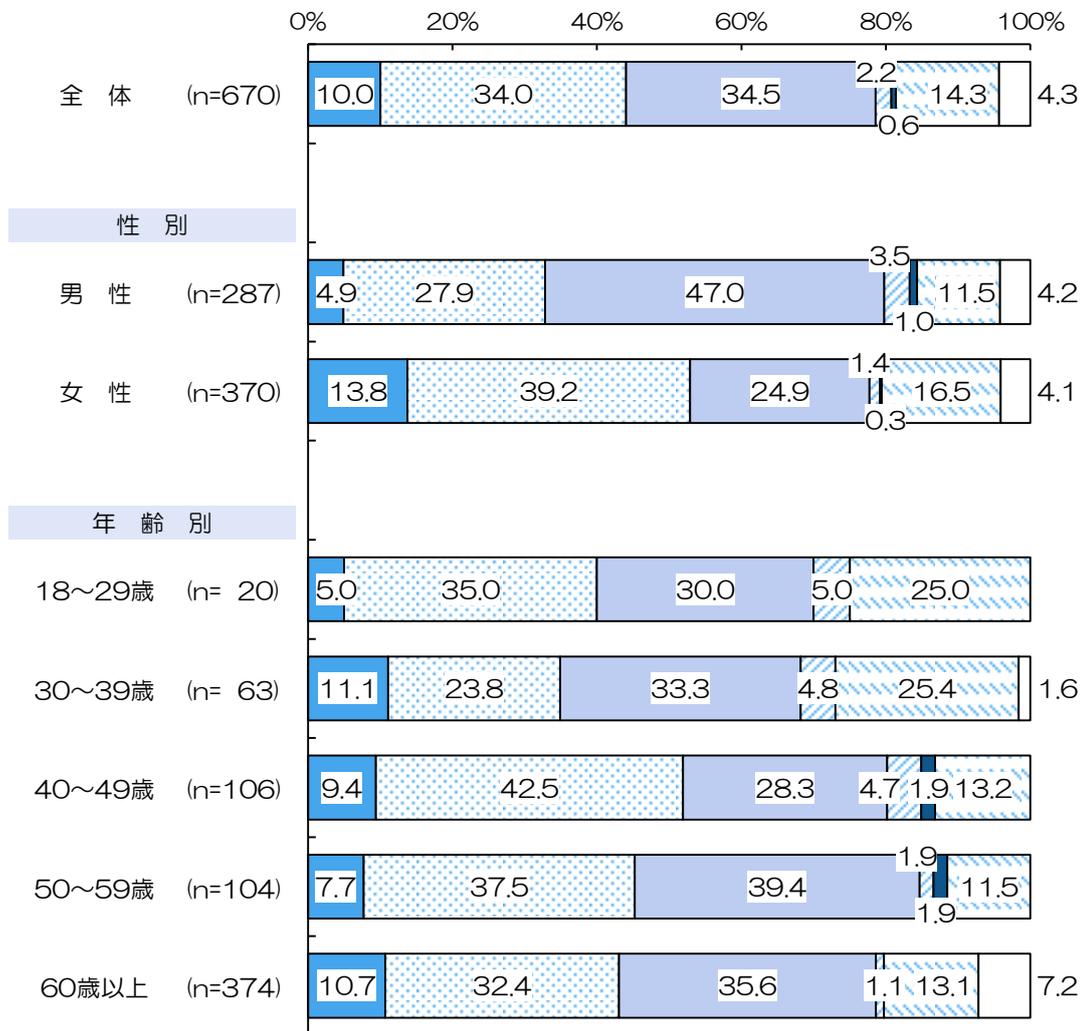


政治の場の平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が42.7%と最も多く、次いで「男性が非常に優遇されている」が31.9%、「平等」が10.6%などとなっています。

<8. 法律や制度の上の平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

⑦法律や制度の上



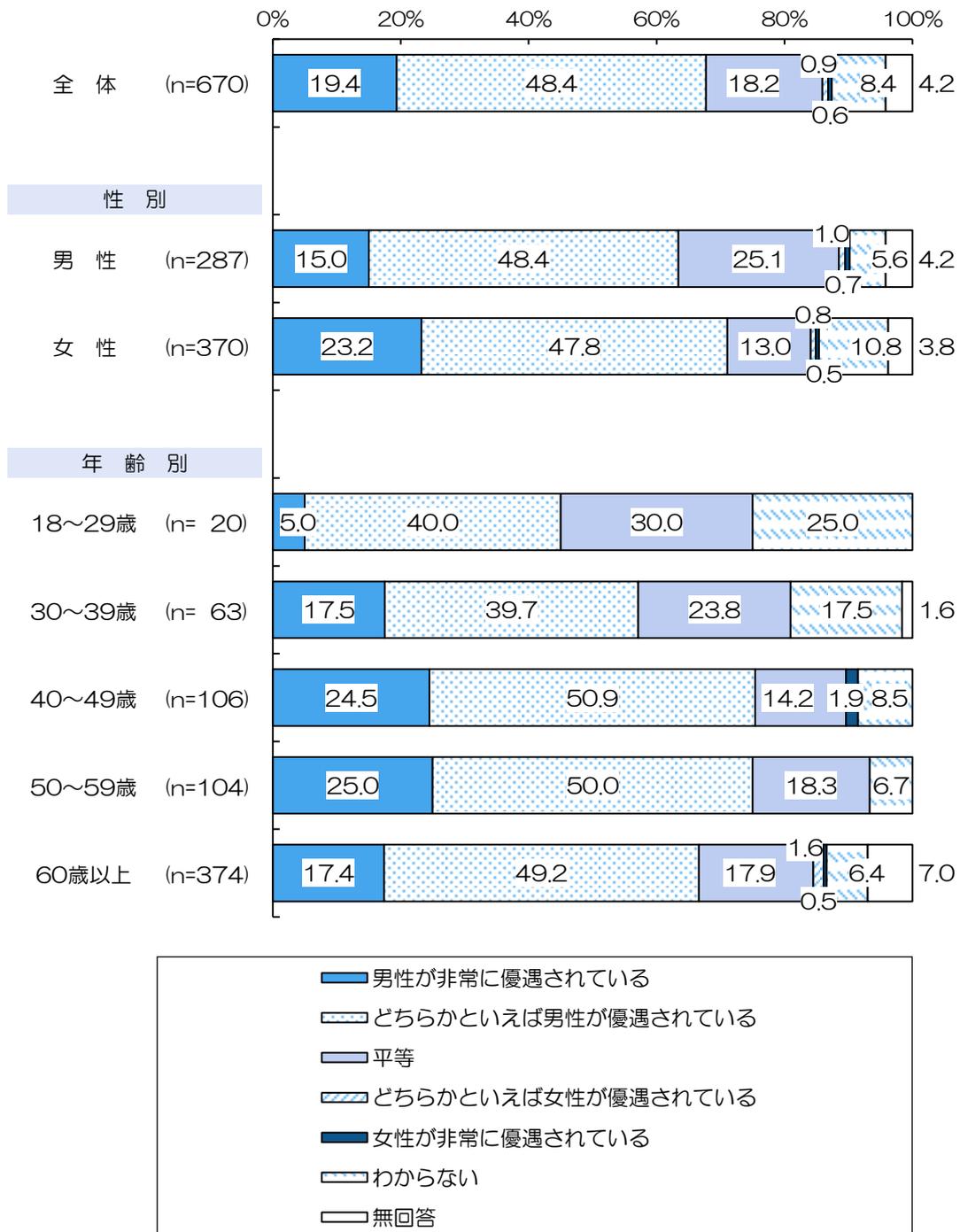
法律や制度の上の平等感は、「平等」が34.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」が34.0%、「わからない」が14.3%などとなっています。

性別にみると、“女性”では「どちらかといえば男性が優遇されている」が39.2%と最も多くなっています。

<9. 社会通念や慣習・しきたりの平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

⑧社会通念や慣習・しきたり

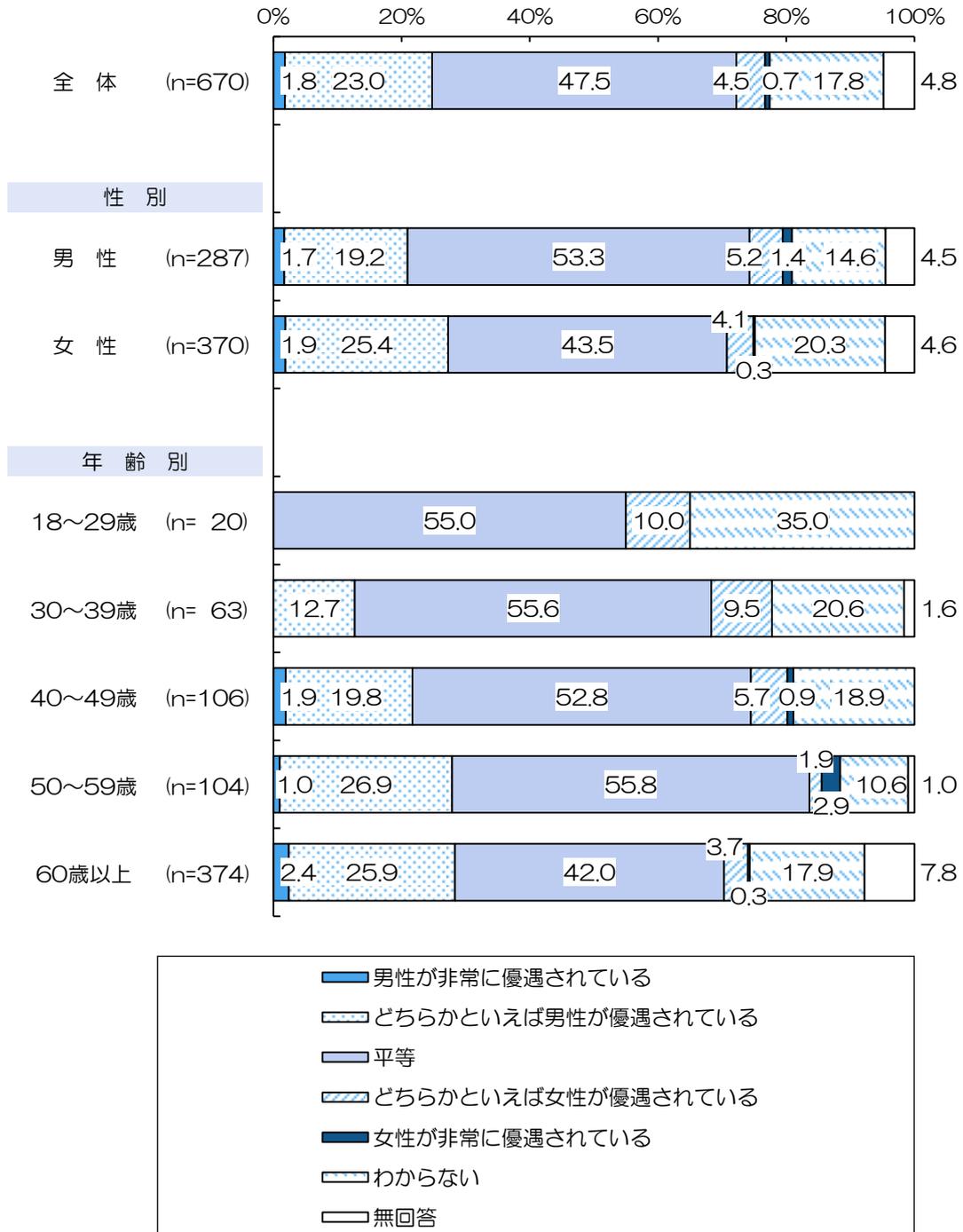


社会通念や慣習・しきたりの平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が48.4%と最も多く、次いで「男性が非常に優遇されている」が19.4%、「平等」が18.2%などとなっています。

<10. ドラマ・漫画・文化の平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

⑨ドラマ・漫画・文化

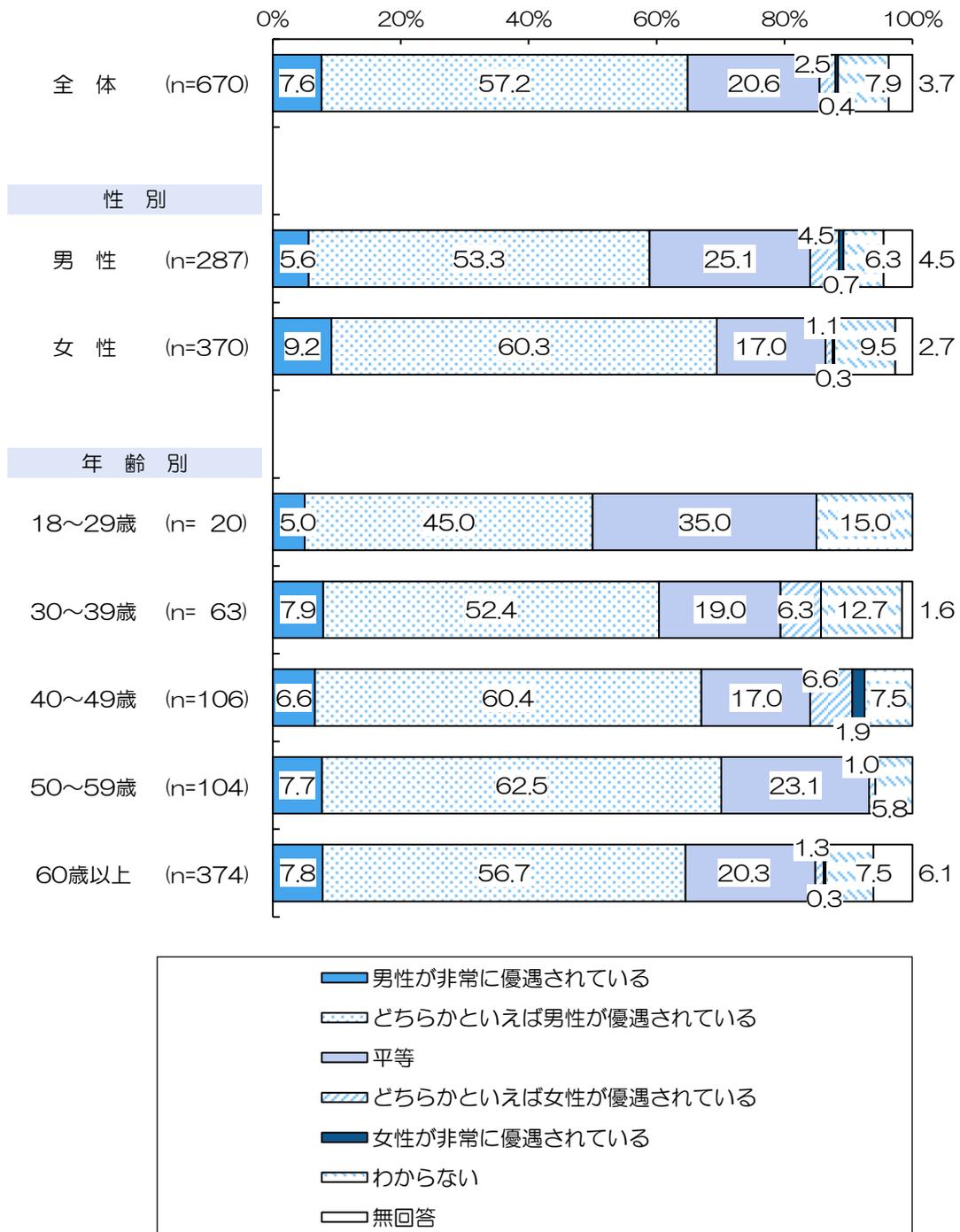


ドラマ・漫画・文化の平等感は、「平等」が47.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」が23.0%、「わからない」が17.8%などとなっています。

<11. 社会全体の平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

⑩社会全体

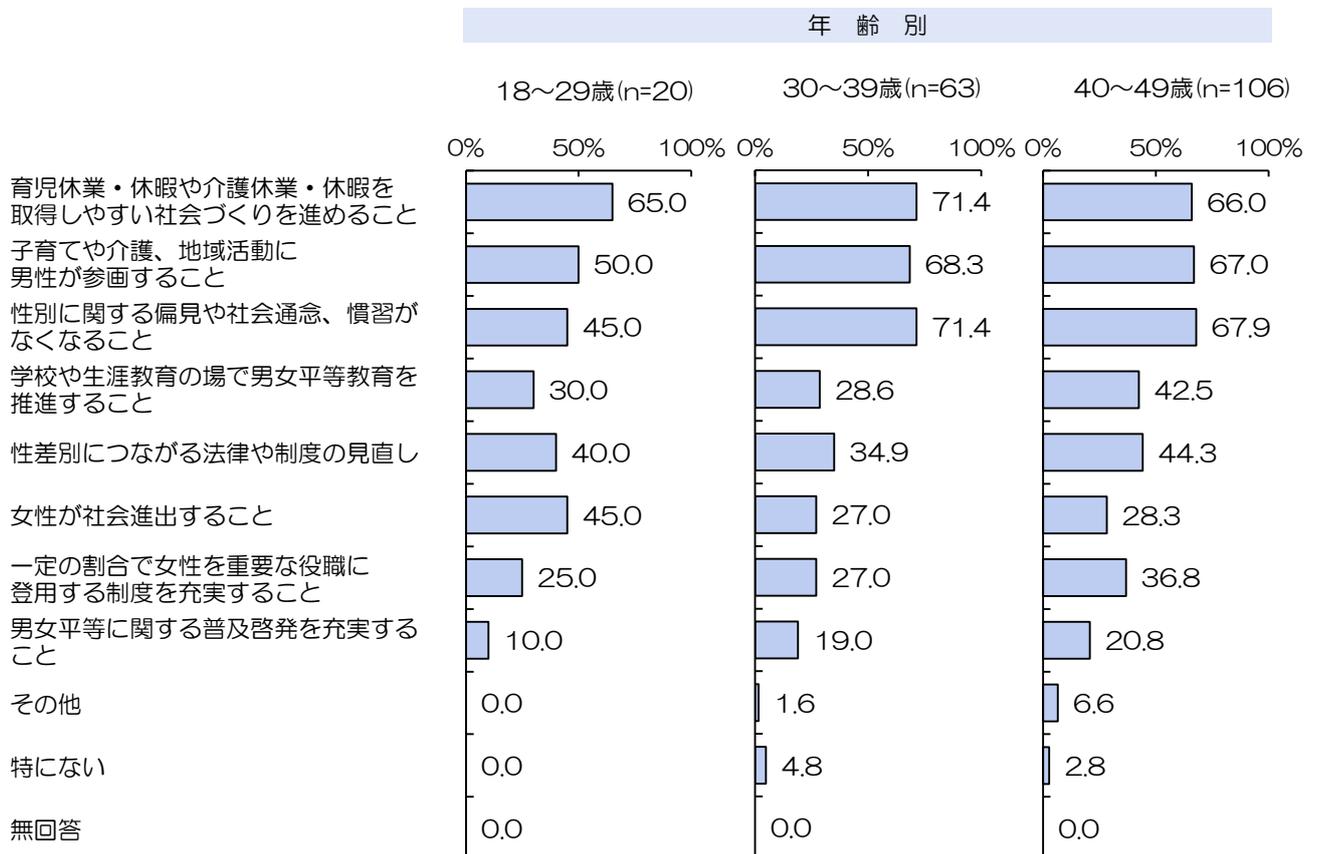
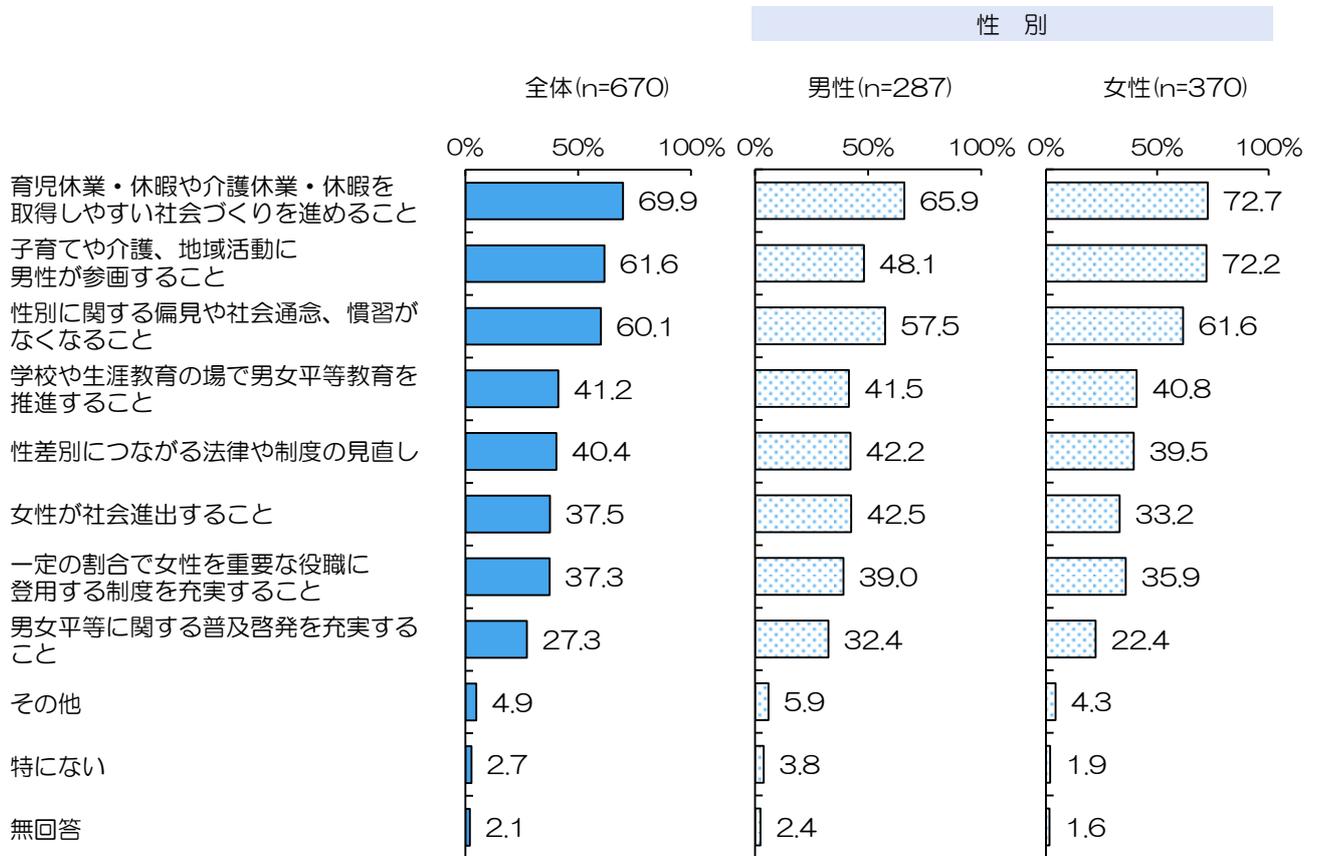


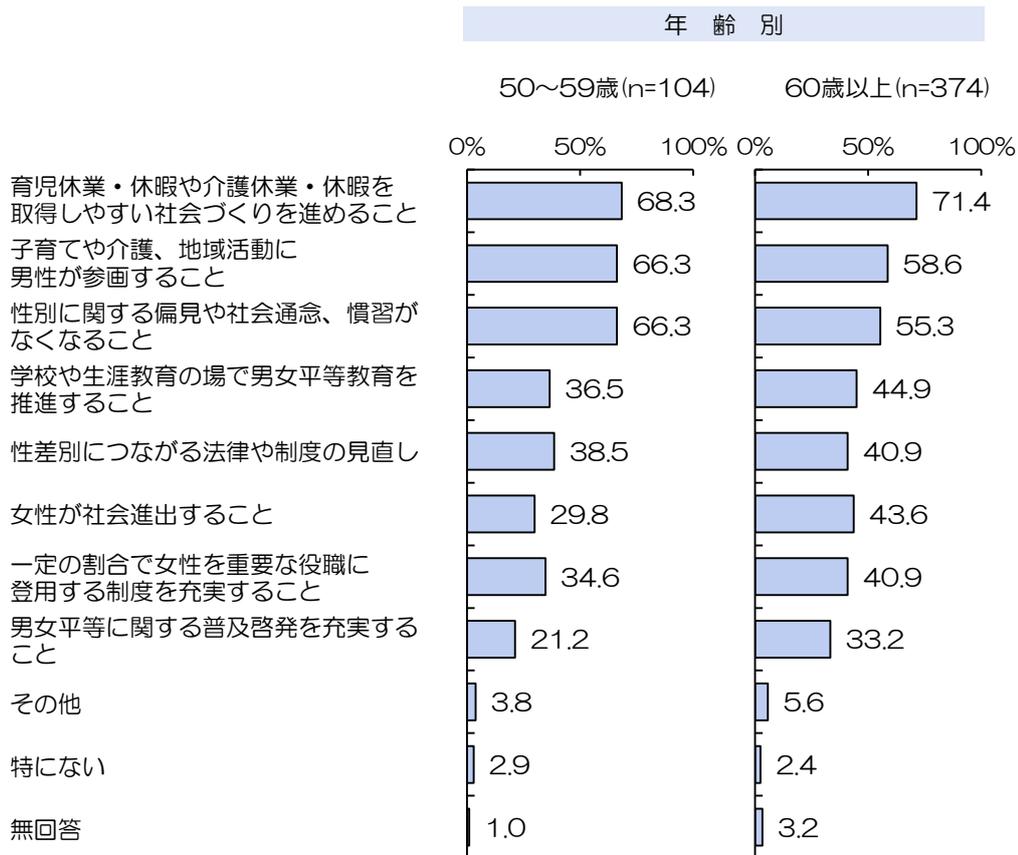
社会全体の平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が57.2%と最も多く、次いで「平等」が20.6%、「わからない」が7.9%などとなっています。

〈12. 男女平等社会実現のために大切なこと〉

問15 男女平等社会を実現するために大切だと思うことはどのようなことですか。

(あてはまるもの全て選択可)

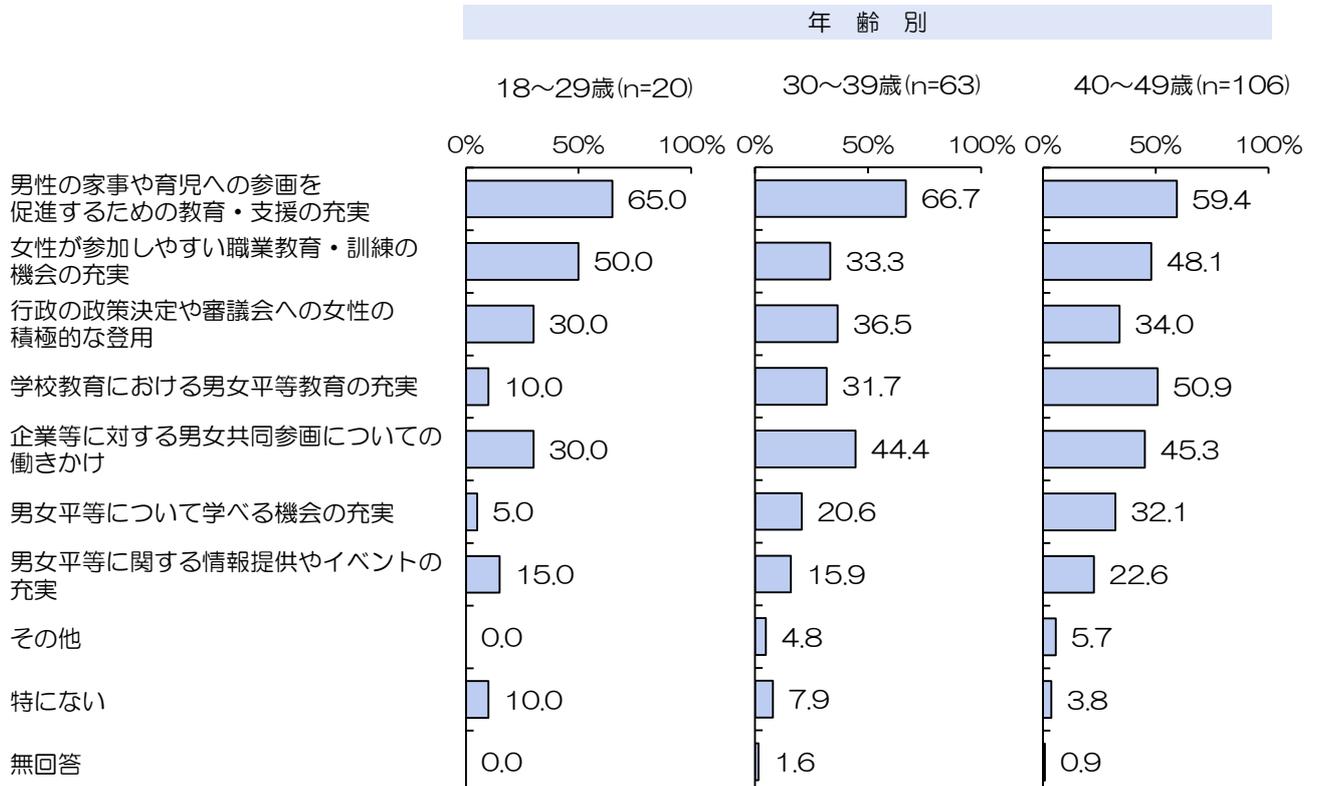
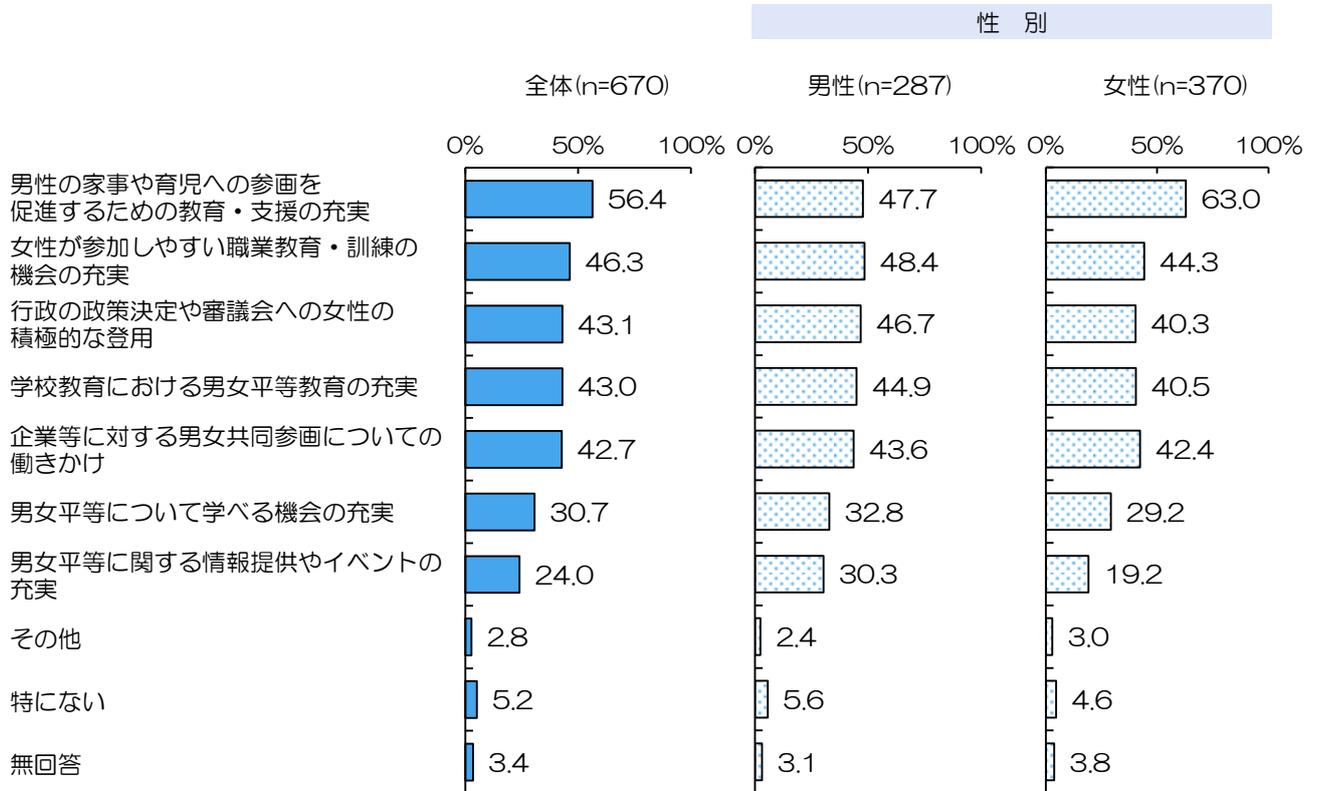


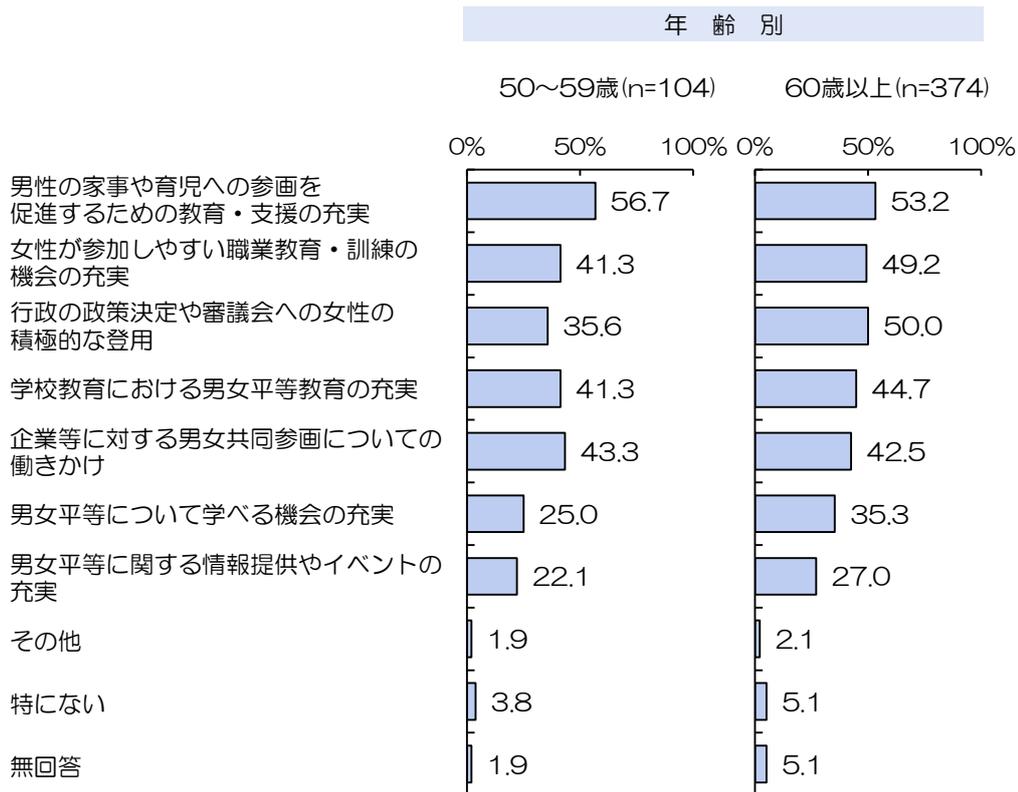


男女平等社会実現のために大切なことは、「育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得しやすい社会づくりを進めること」が69.9%と最も多く、次いで「子育てや介護、地域活動に男性が参画すること」が61.6%、「性別に関する偏見や社会通念、慣習がなくなること」が60.1%などとなっています。

<13. 男女平等社会実現のために行政が力を入れるべきこと>

問16 男女平等社会の実現を図るために、今後、行政はどのようなことに力を入れるとよいと思いますか。(あてはまるもの全て選択可)





男女平等社会実現のために行政が力を入れるべきことは、「男性の家事や育児への参画を促進するための教育・支援の充実」が56.4%と最も多く、次いで「女性が参加しやすい職業教育・訓練の機会の充実」が46.3%、「行政の政策決定や審議会への女性の積極的な登用」が43.1%などとなっています。

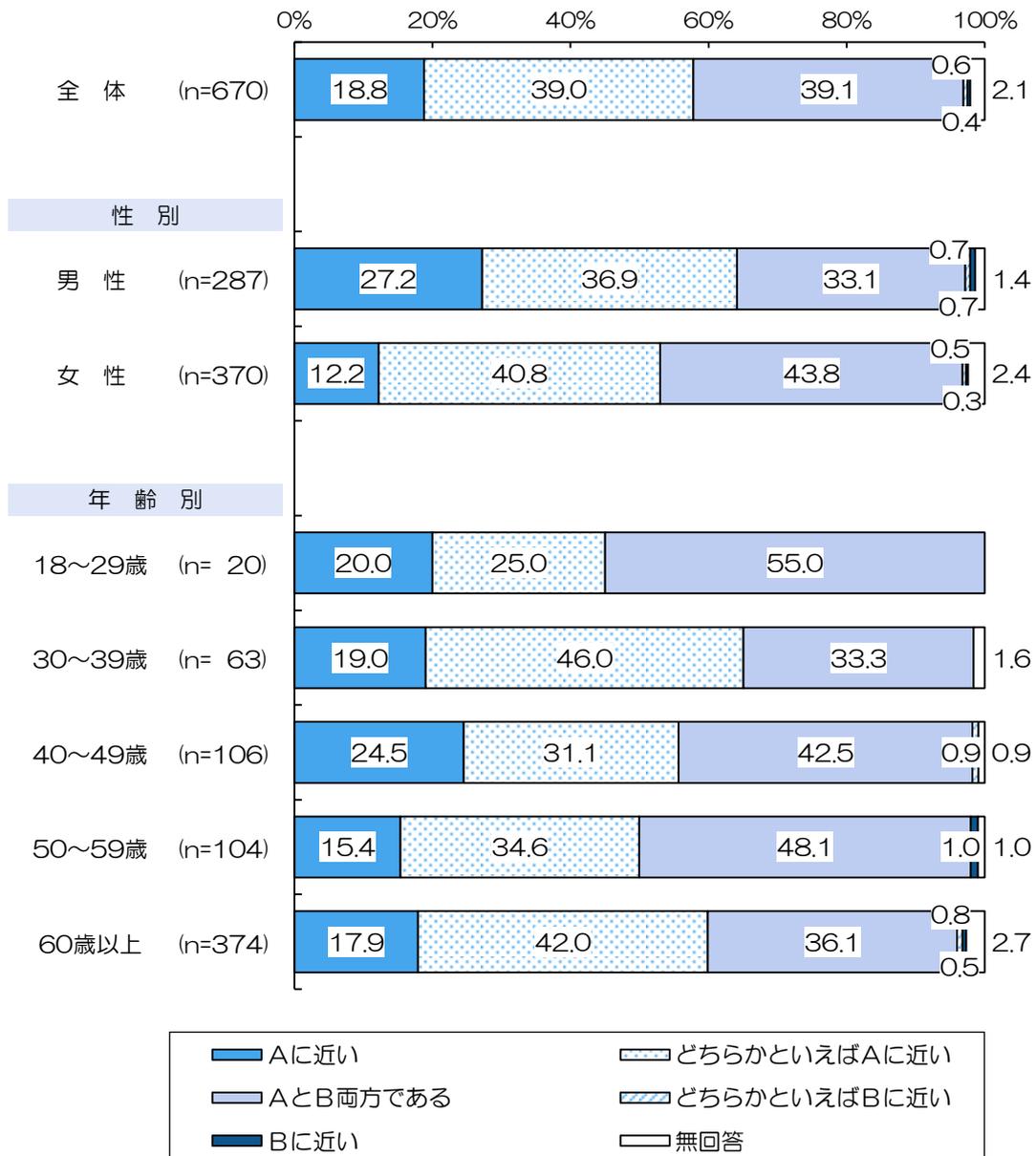
Ⅳ 家庭生活における役割分担について

＜1. 家計についての考え方＞

問17 以下のA、Bのような考え方について、あなたの意見はどちらに近いですか。

(それぞれ1つを選択)

- ①家計 A：家計を支える（生活費を稼ぐ）のは男性の役割である
B：家計を支える（生活費を稼ぐ）のは女性の役割である



家計についての考え方は、「AとB両方である」が39.1%と最も多く、次いで「どちらかといえばAに近い」が39.0%、「Aに近い」が18.8%などとなっています。

性別にみると、「男性」では「どちらかといえばAに近い」が36.9%と最も多くなっています。

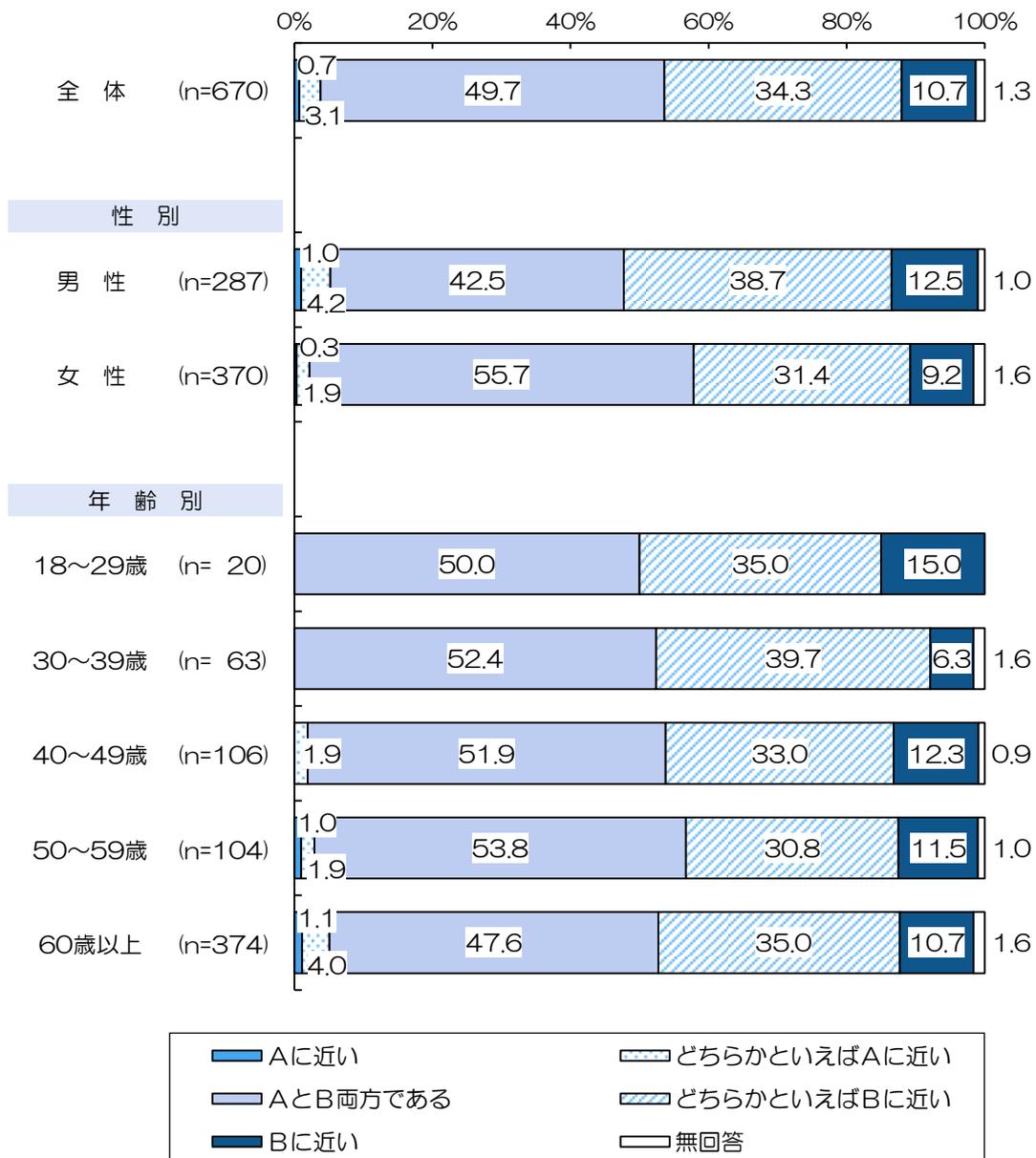
〈2. 家事についての考え方〉

問17 以下のA、Bのような考え方について、あなたの意見はどちらに近いですか。

(それぞれ1つを選択)

②家事 A：家事をするのは男性の役割である

B：家事をするのは女性の役割である



家事についての考え方は、「AとB両方である」が49.7%と最も多く、次いで「どちらかといえばBに近い」が34.3%、「Bに近い」が10.7%などとなっています。

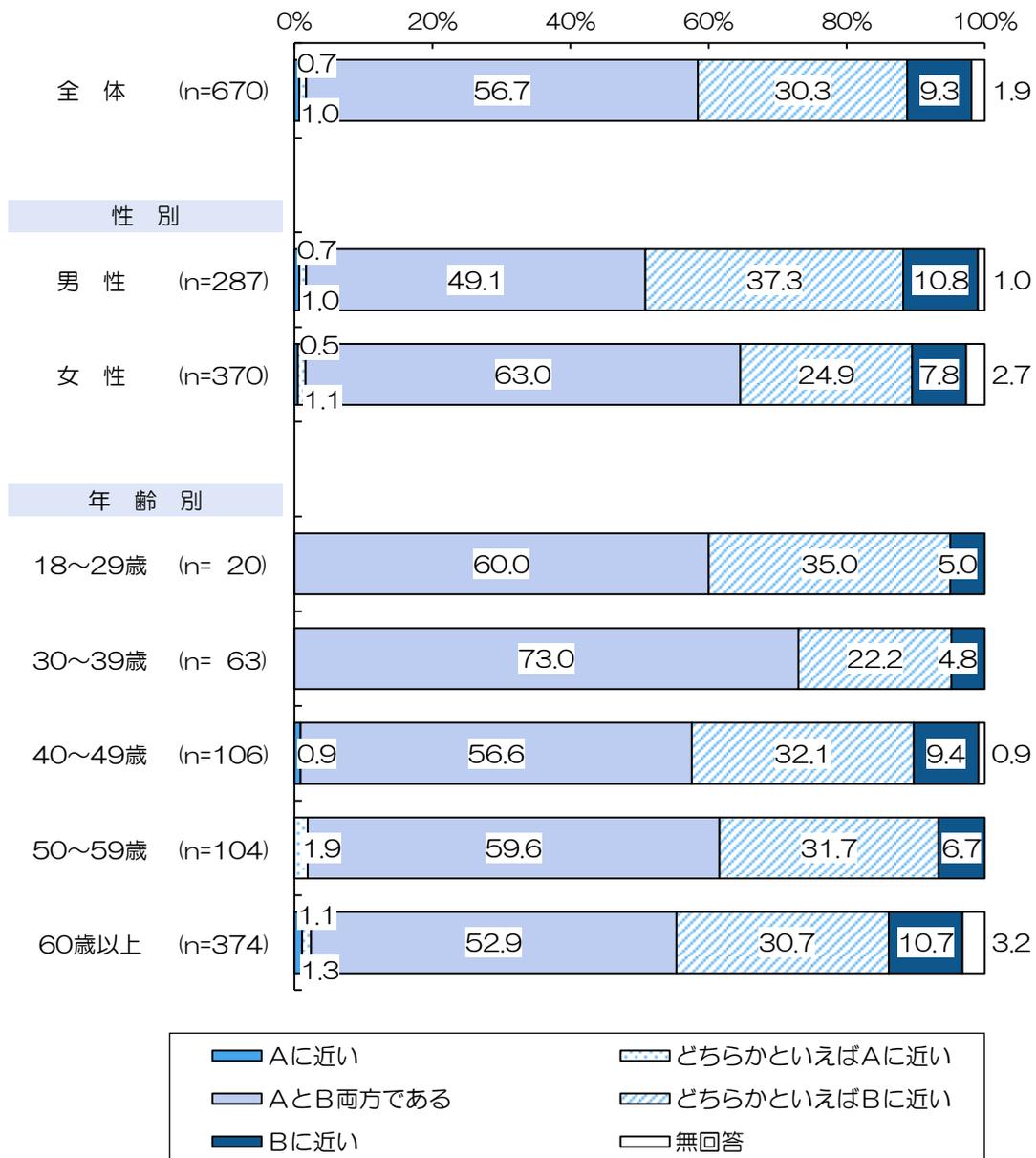
＜3. 育児についての考え方＞

問17 以下のA、Bのような考え方について、あなたの意見はどちらに近いですか。

(それぞれ1つを選択)

③育児 A：育児をするのは男性の役割である

B：育児をするのは女性の役割である



育児についての考え方は、「AとB両方である」が56.7%と最も多く、次いで「どちらかといえばBに近い」が30.3%、「Bに近い」が9.3%などとなっています。

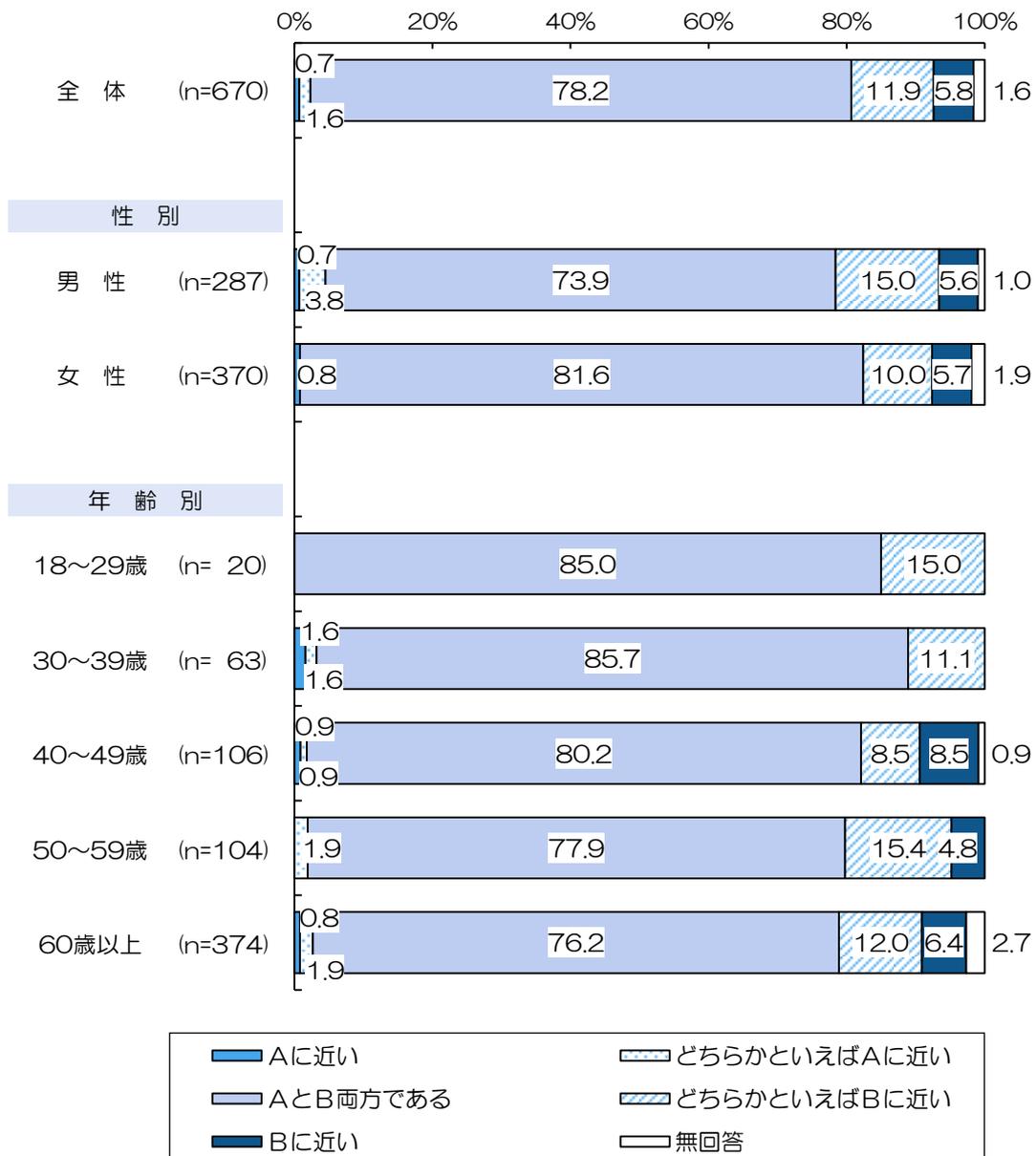
＜4. 介護についての考え方＞

問17 以下のA、Bのような考え方について、あなたの意見はどちらに近いですか。

(それぞれ1つを選択)

④介護 A：介護をするのは男性の役割である

B：介護をするのは女性の役割である

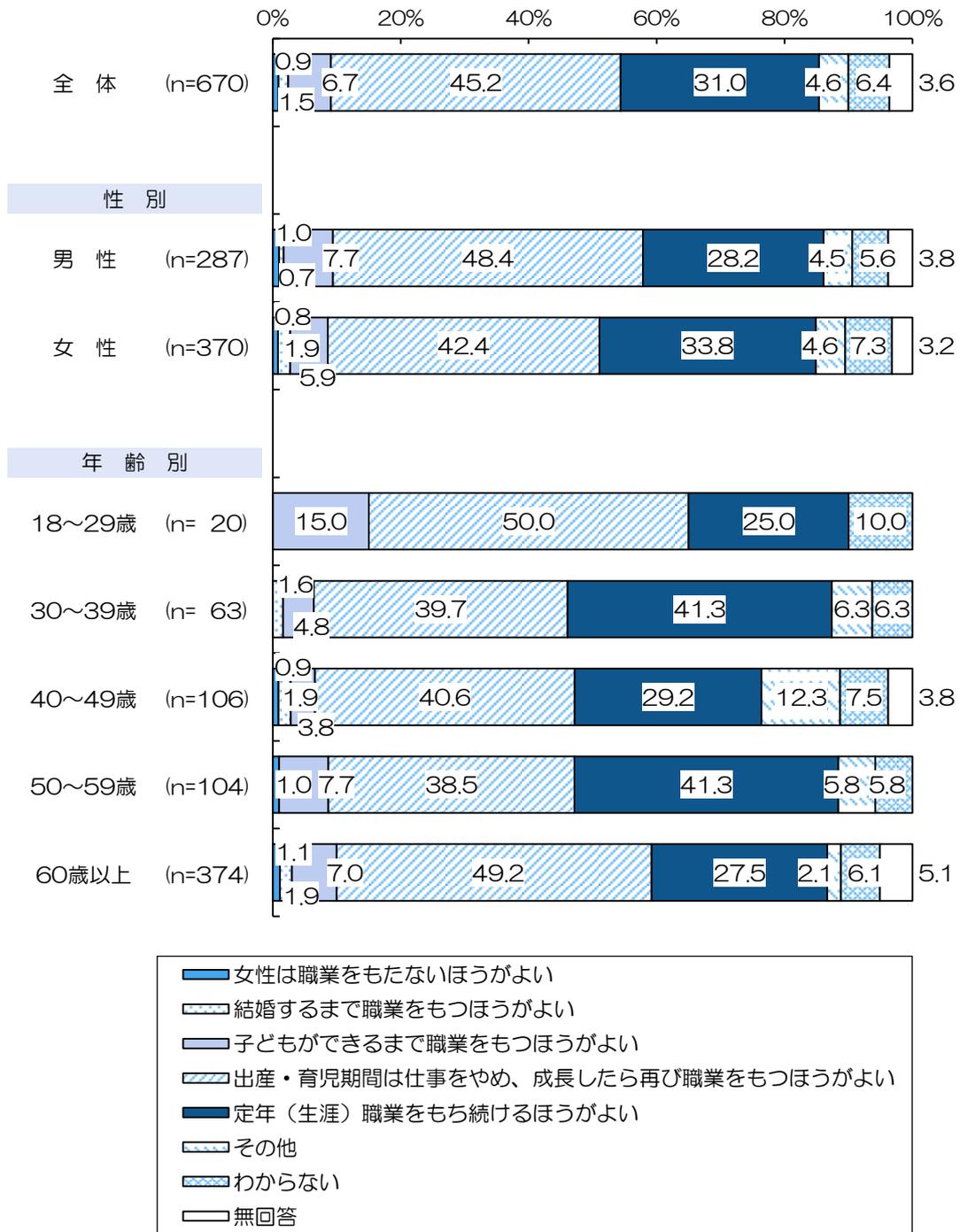


介護についての考え方は、「AとB両方である」が78.2%と最も多く、次いで「どちらかといえばBに近い」が11.9%、「Bに近い」が5.8%などとなっています。

V 職業や労働について

＜1. 「女性と職業」についての考え方＞

問18 あなたは、「女性と職業」についてどのようにお考えですか。（1つを選択）

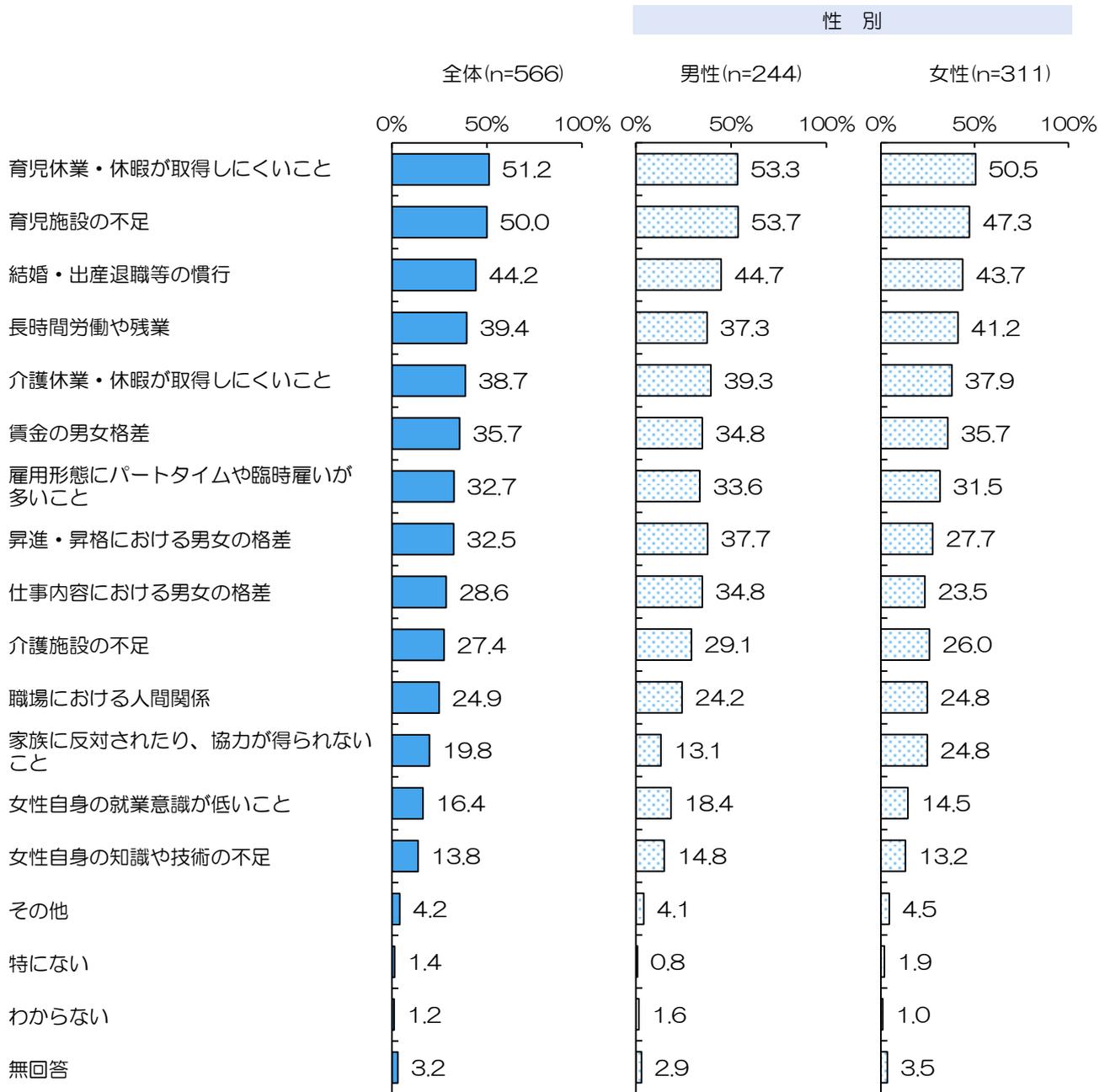


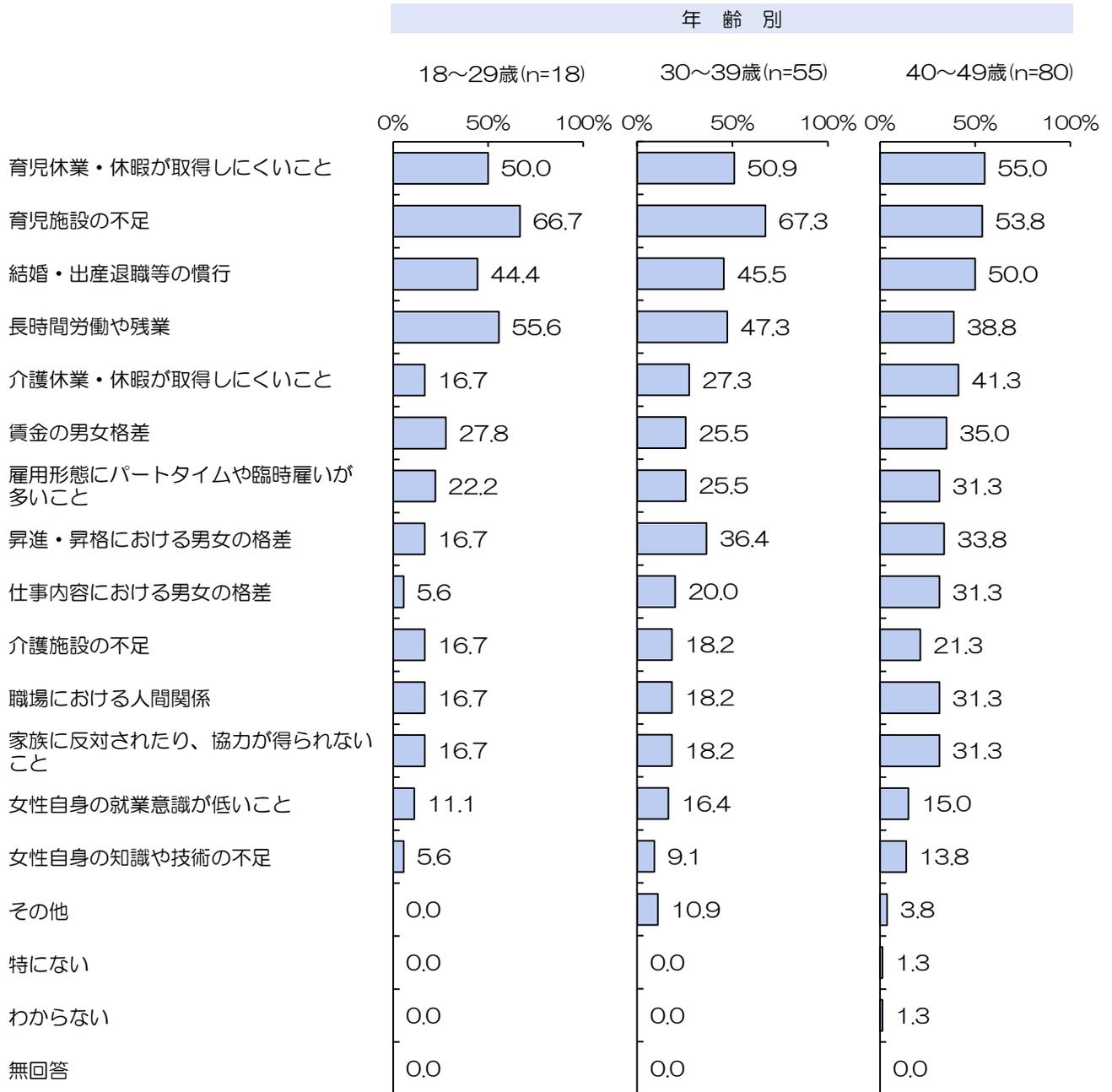
「女性と職業」についての考え方は、「出産・育児期間は仕事をやめ、成長したら再び職業をもつほうがよい」が45.2%と最も多く、次いで「定年（生涯）職業をもち続けるほうがよい」が31.0%、「子どもができるまで職業をもつほうがよい」が6.7%などとなっています。

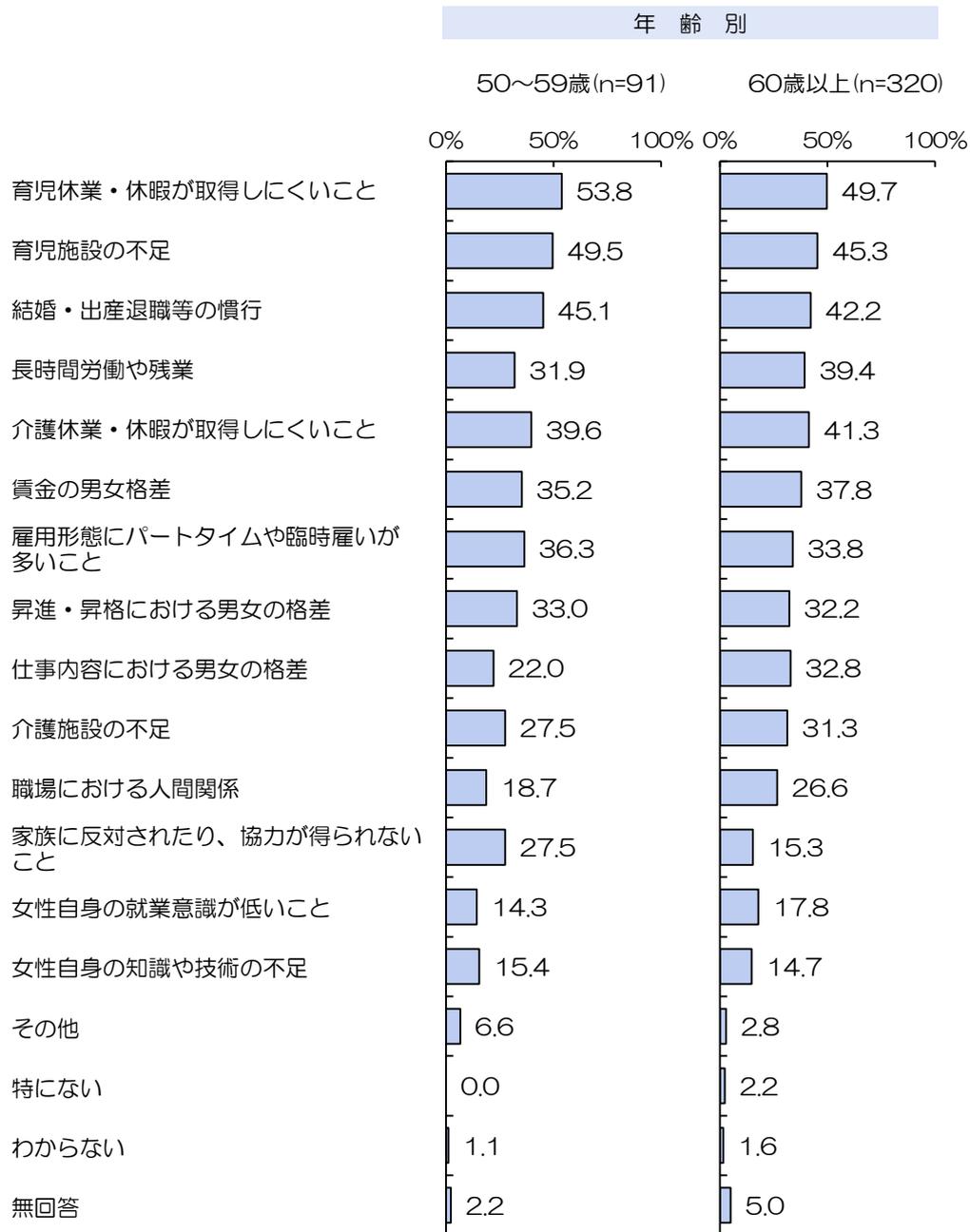
〈2. 女性が働く上での障害〉

〈問18で「2. ～5.」とお答えの方〉

問19 女性が働く上での障害は何だと思えますか。(あてはまるもの全て選択可)





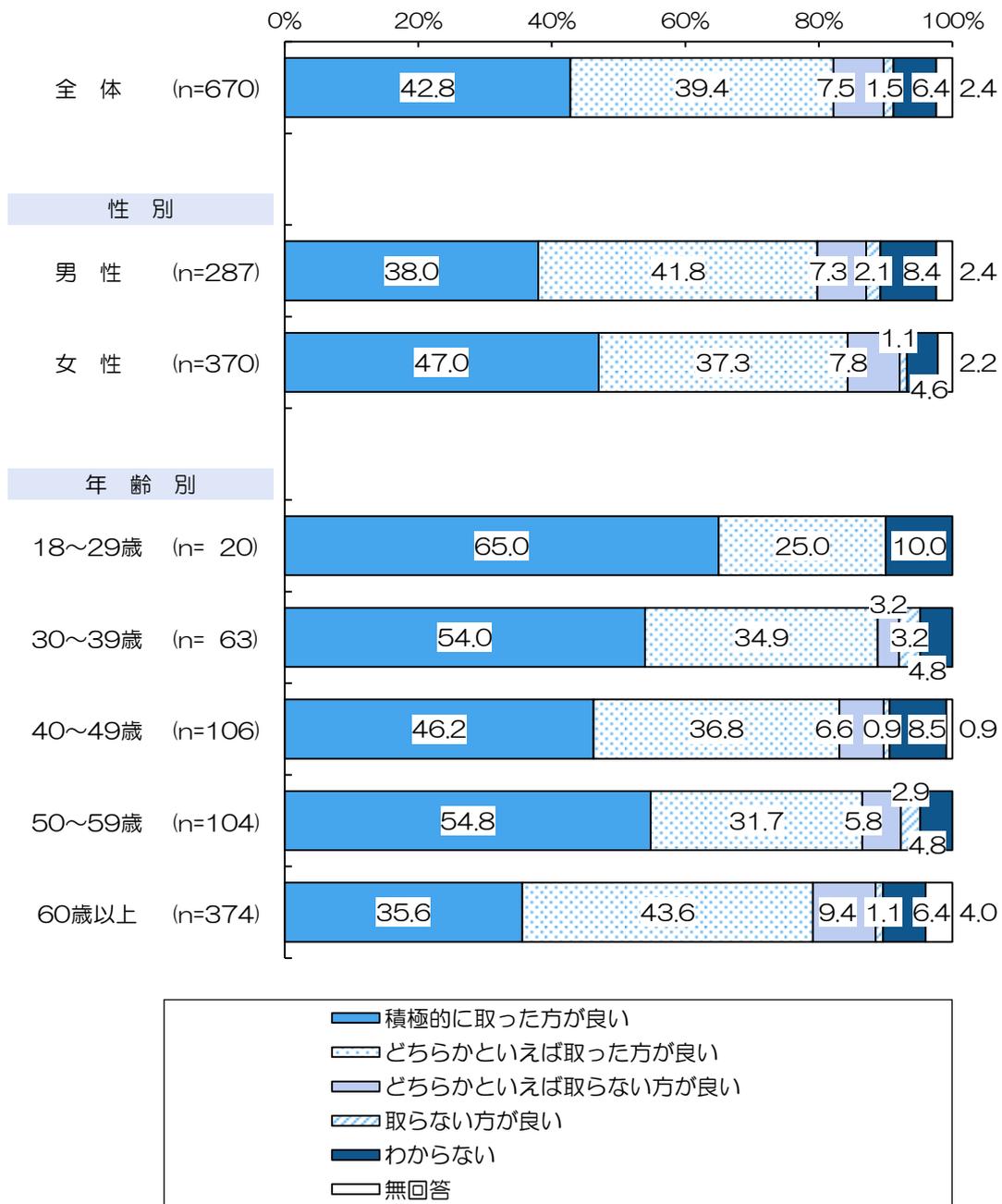


女性が働く上での障害は、「育児休業・休暇が取得しにくいこと」が51.2%と最も多く、次いで「育児施設の不足」が50.0%、「結婚・出産退職等の慣行」が44.2%などとなっています。

<3. 育児休業・休暇についての考え方>

問20 育児や介護を行うために、育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得できる制度があります。この制度を活用して男性が育児休業・休暇や介護休業・休暇を取ることに、あなたはどのようにお考えになりますか。（それぞれ1つを選択）

①育児休業・休暇



育児休業・休暇についての考え方は、「積極的に取った方が良い」が42.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば取った方が良い」が39.4%、「どちらかといえば取らない方が良い」が7.5%などとなっています。

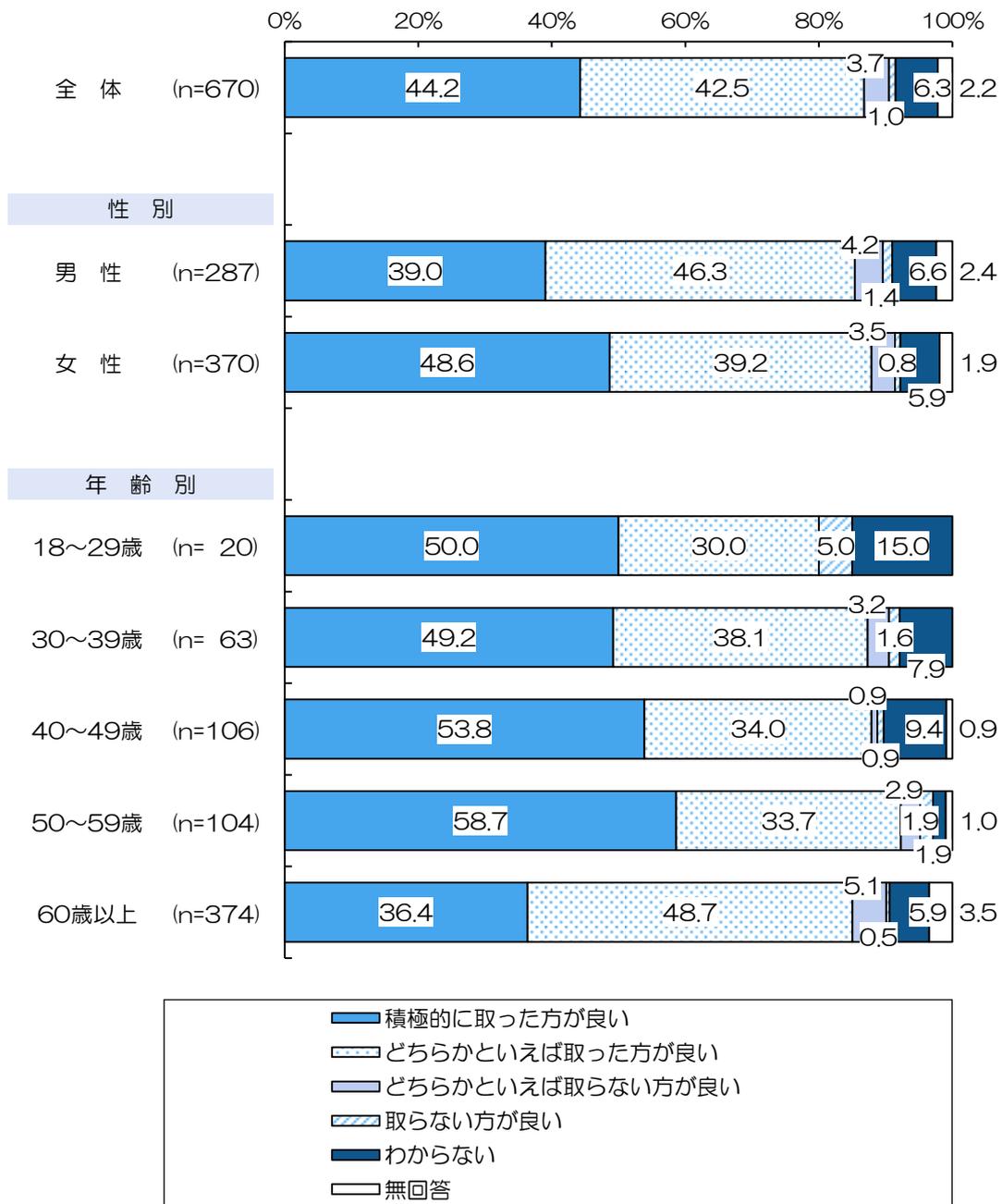
性別にみると、“男性”では「どちらかといえば取った方が良い」が41.8%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“60歳以上”では「どちらかといえば取った方が良い」が43.6%と最も多くなっています。

<4. 介護休業・休暇についての考え方>

問20 育児や介護を行うために、育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得できる制度があります。この制度を活用して男性が育児休業・休暇や介護休業・休暇を取ることに、あなたはどのようにお考えになりますか。（それぞれ1つを選択）

②介護休業・休暇

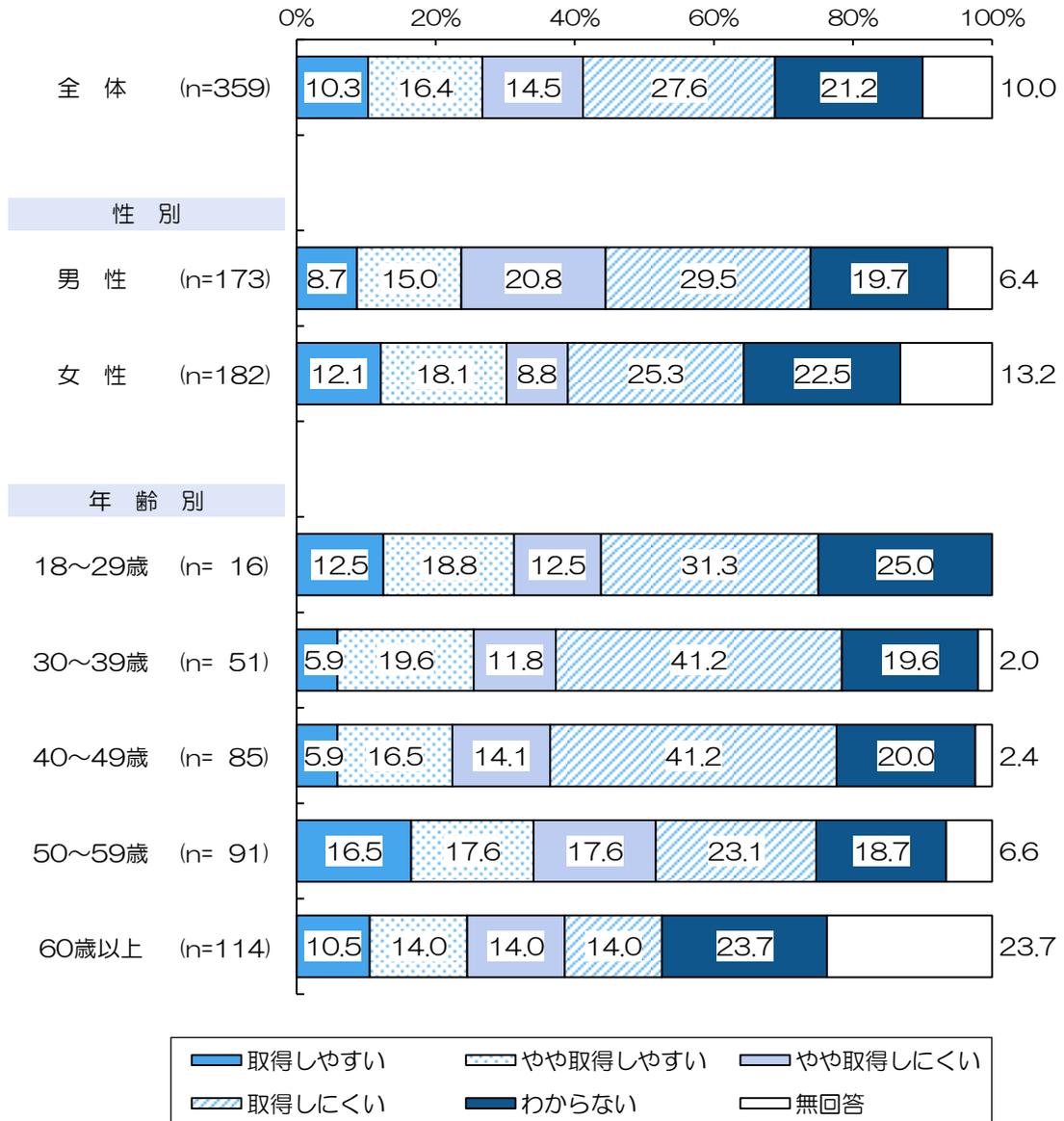


介護休業・休暇についての考え方は、「積極的に取った方が良い」が44.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば取った方が良い」が42.5%、「わからない」が6.3%などとなっています。
性別にみると、「男性」では「どちらかといえば取った方が良い」が46.3%と最も多くなっています。
年齢別にみると、「60歳以上」では「どちらかといえば取った方が良い」が48.7%と最も多くなっています。

<5. 育児休業・休暇を男性が取得する環境>

問21 現在お勤めの方だけに伺います。あなたの職場では、男性の育児休業・休暇や介護休業・休暇が取得しやすい環境（又は雰囲気）にありますか。（それぞれ1つを選択）

①育児休業・休暇

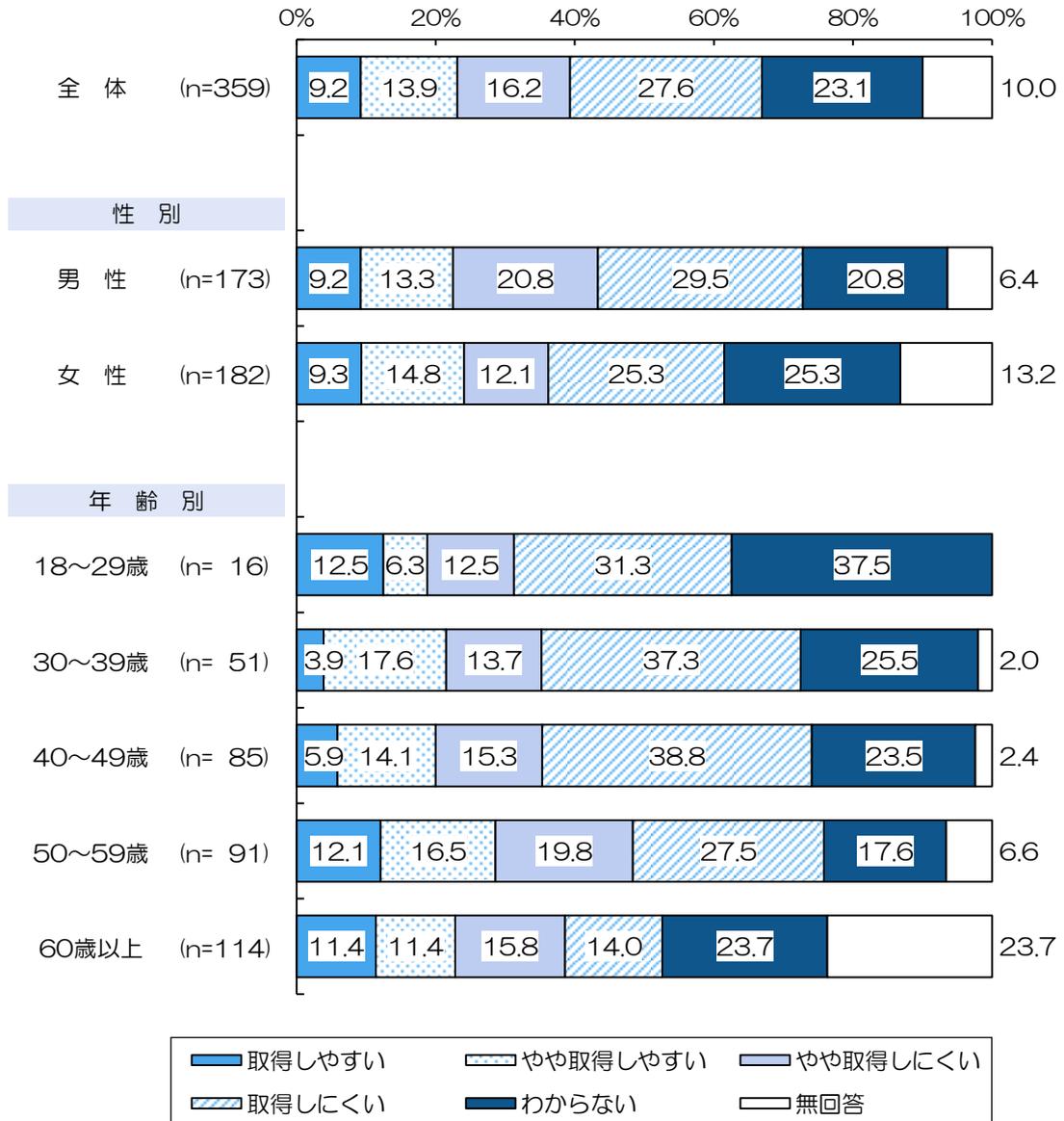


育児休業・休暇を男性が取得する環境は、「取得しにくい」が27.6%と最も多く、次いで「わからない」が21.2%、「やや取得しやすい」が16.4%などとなっています。

<6. 介護休業・休暇を男性が取得する環境>

問21 現在お勤めの方だけに伺います。あなたの職場では、男性の育児休業・休暇や介護休業・休暇が取得しやすい環境（又は雰囲気）にありますか。（それぞれ1つを選択）

②介護休業・休暇



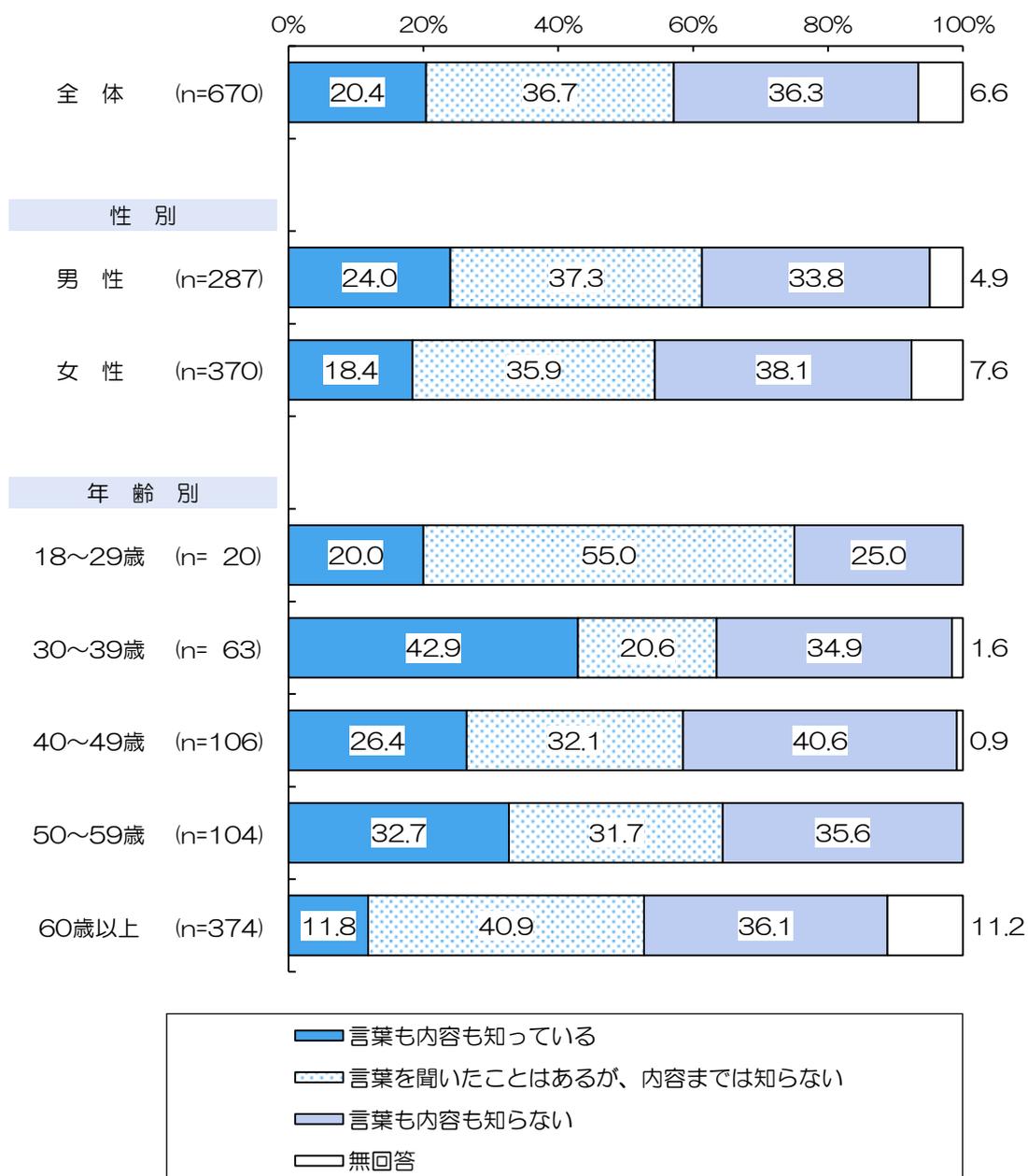
介護休業・休暇を男性が取得する環境は、「取得しにくい」が27.6%と最も多く、次いで「わからない」が23.1%、「やや取得しにくい」が16.2%などとなっています。

Ⅵ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

＜1. 『ワーク・ライフ・バランス』の認知＞

問22 あなたはワーク・ライフ・バランスという言葉をご存じですか。

（1つを選択）



『ワーク・ライフ・バランス』の認知は、「言葉も内容も知っている」が20.4%、「言葉を聞いたことはあるが、内容までは知らない」が36.7%、「言葉も内容も知らない」が36.3%となっています。

性別にみると、「女性」では「言葉も内容も知らない」が38.1%と最も多くなっています。

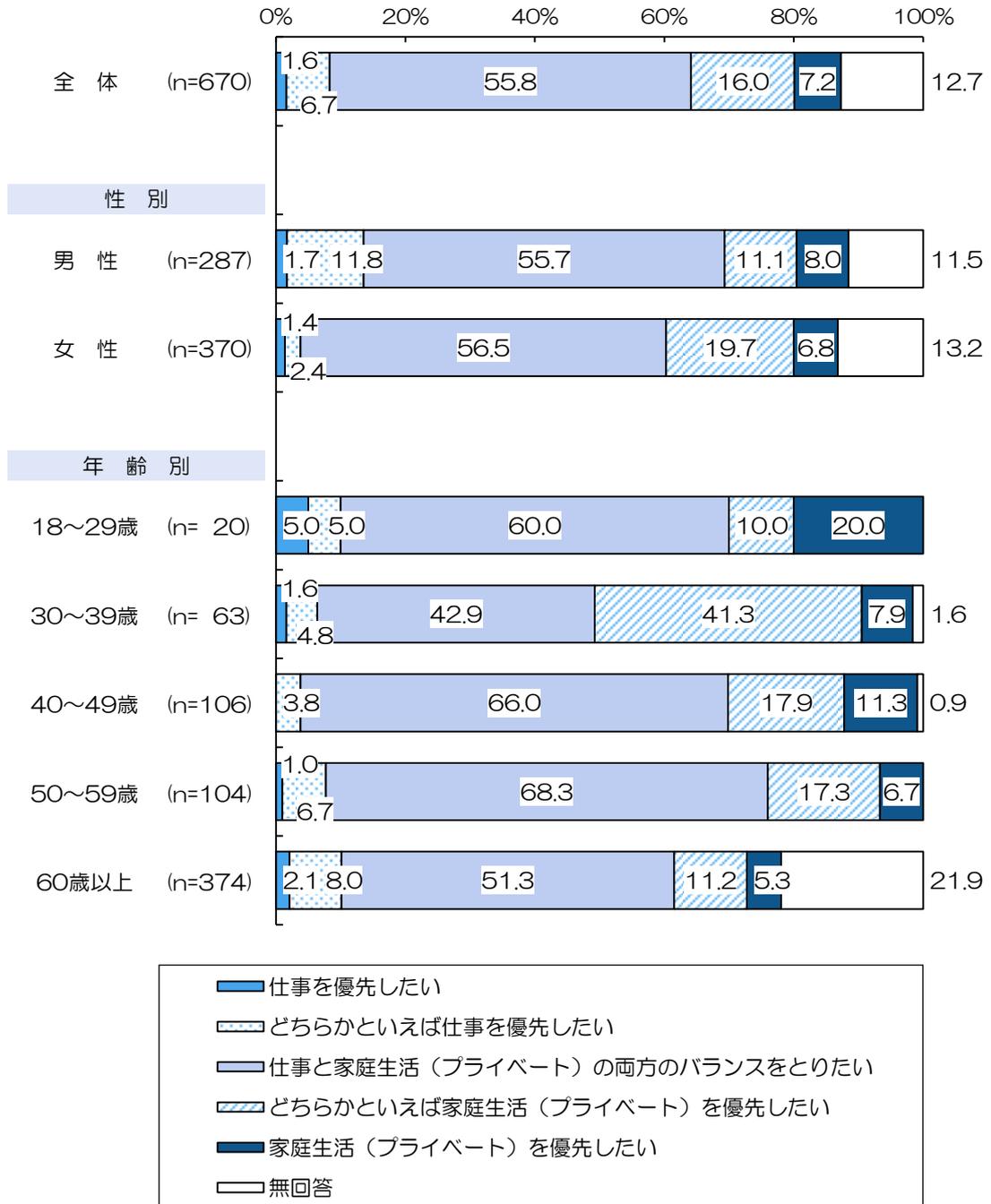
年齢別にみると、「30~39歳」では「言葉も内容も知っている」が42.9%と最も多くなっています。

＜2. 理想の仕事と家庭生活（プライベート）＞

問23 あなたの仕事と家庭生活（プライベート）について、理想と現実をお答えください。

（それぞれ1つを選択）

①理想



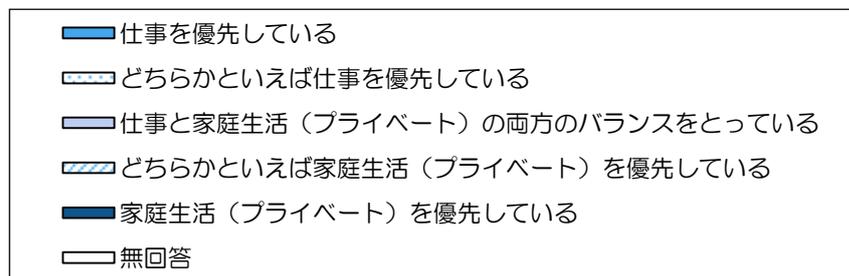
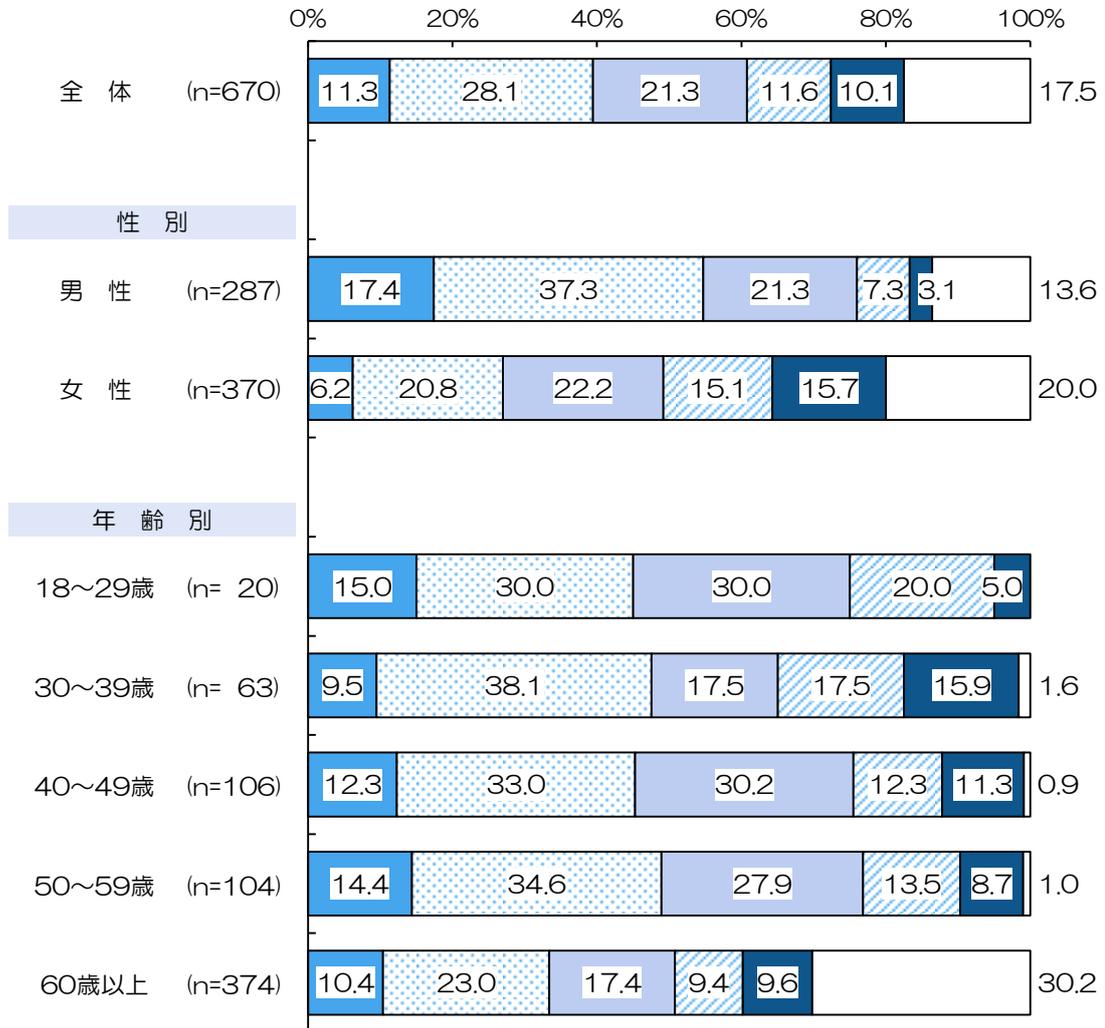
理想の仕事と家庭生活（プライベート）は、「仕事と家庭生活（プライベート）の両方のバランスをとりたい」が55.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば家庭生活（プライベート）を優先したい」が16.0%、「家庭生活（プライベート）を優先したい」が7.2%などとなっています。

＜3. 現実の仕事と家庭生活（プライベート）＞

問23 あなたの仕事と家庭生活（プライベート）について、理想と現実をお答えください。

（それぞれ1つを選択）

②現実



現実の仕事と家庭生活（プライベート）は、「どちらかといえば仕事を優先している」が28.1%と最も多く、次いで「仕事と家庭生活（プライベート）の両方のバランスをとっている」が21.3%、「どちらかといえば家庭生活（プライベート）を優先している」が11.6%などとなっています。

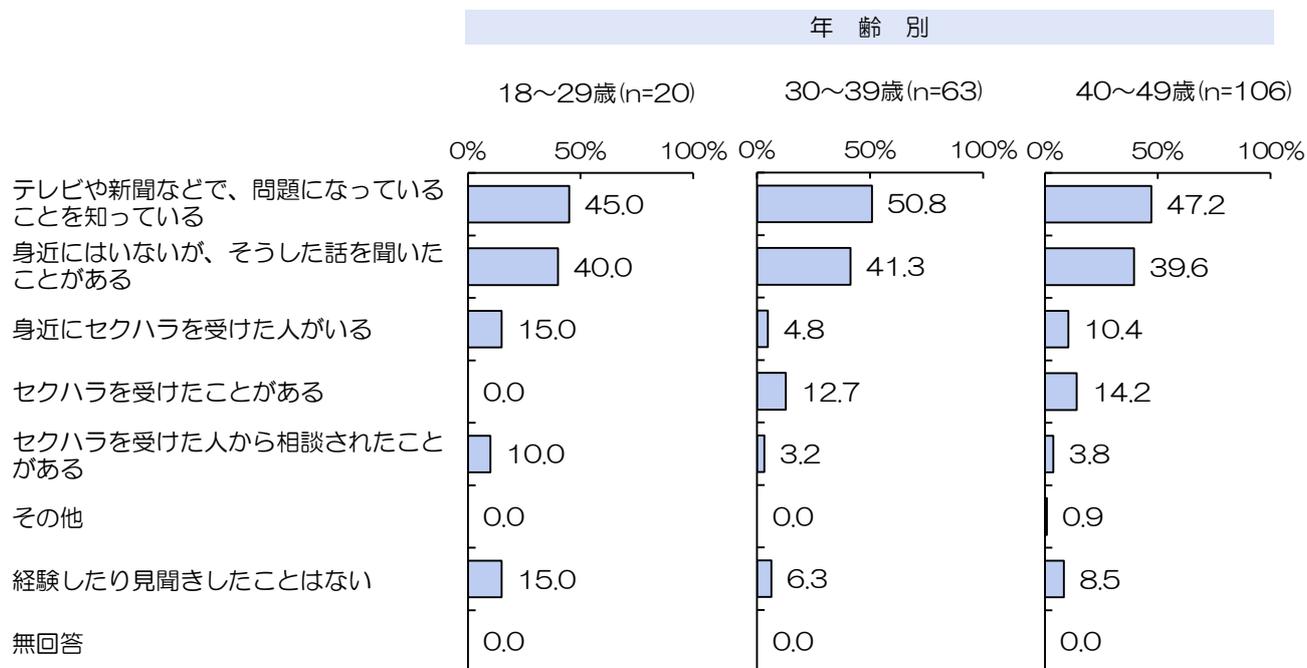
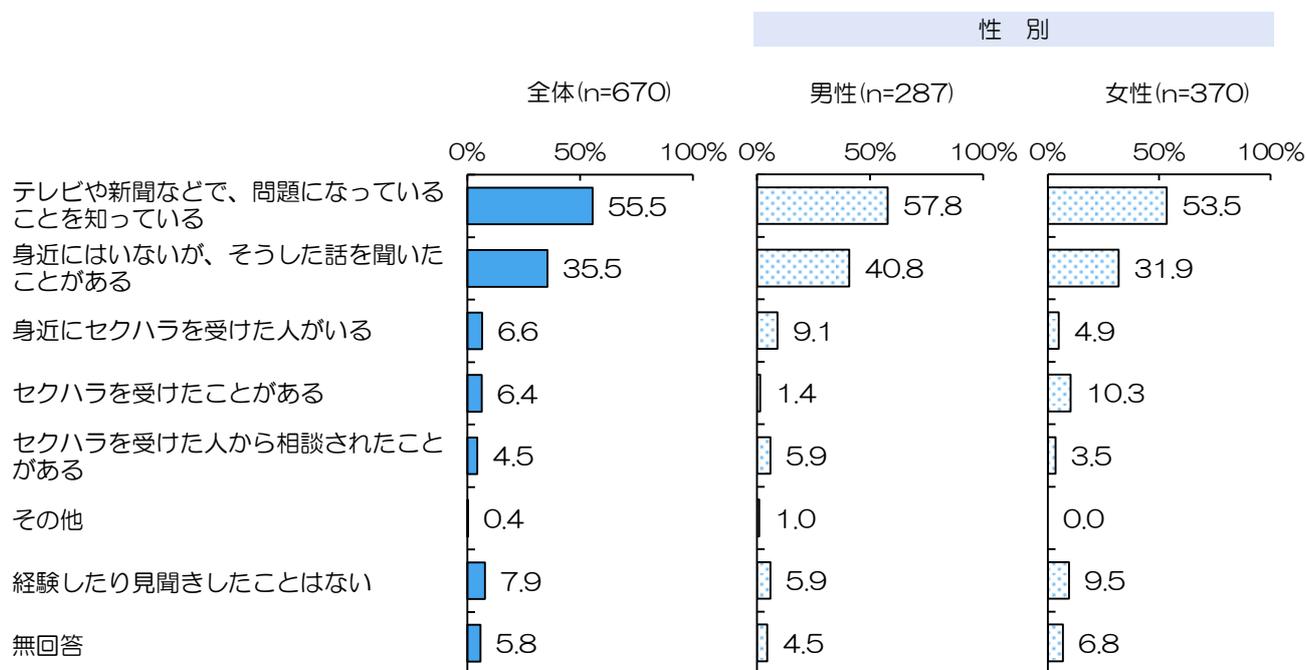
性別にみると、「女性」では「仕事と家庭生活（プライベート）の両方のバランスをとっている」が22.2%と最も多くなっています。

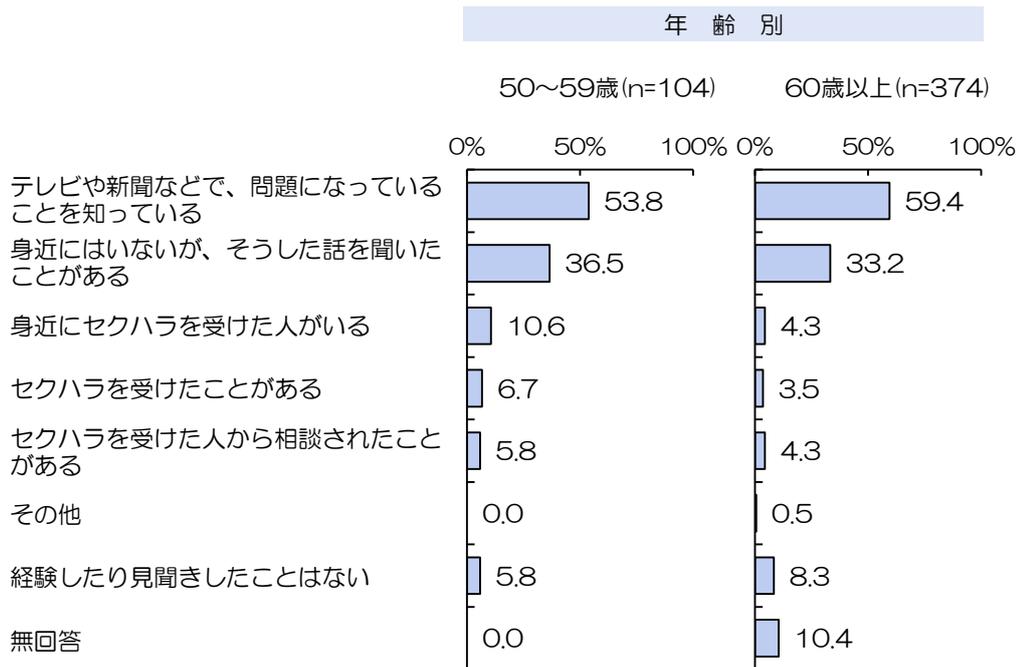
Ⅶ セクシュアル・ハラスメントについて

〈1. セクハラ経験の有無〉

問24 あなたは、これまでに、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ・性的嫌がらせ）について経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。

（あてはまるもの全て選択可）



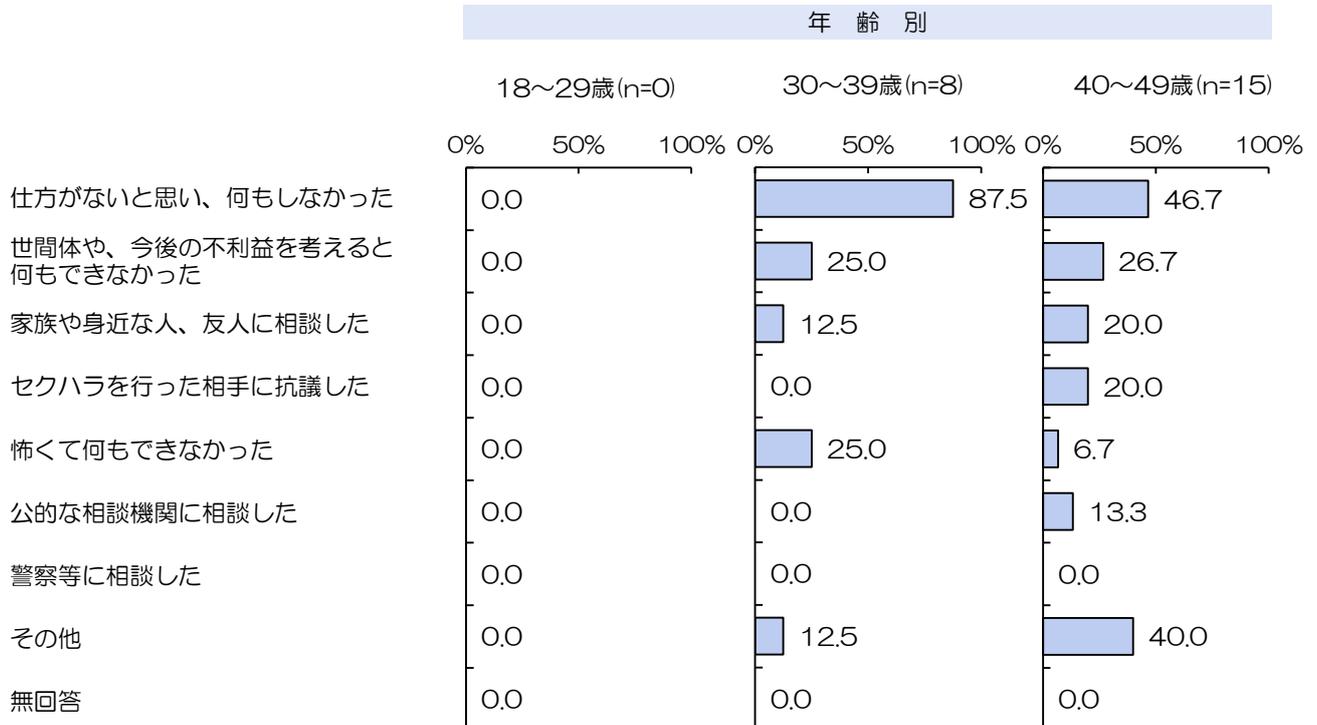
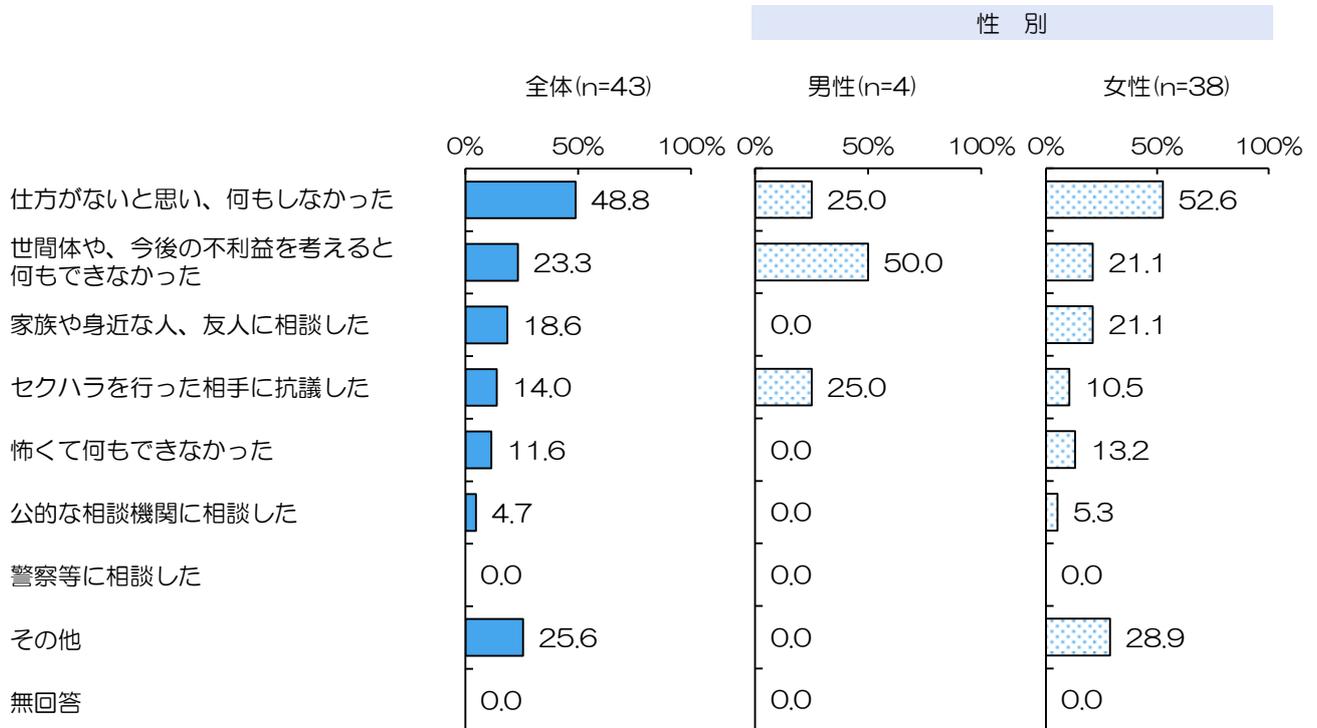


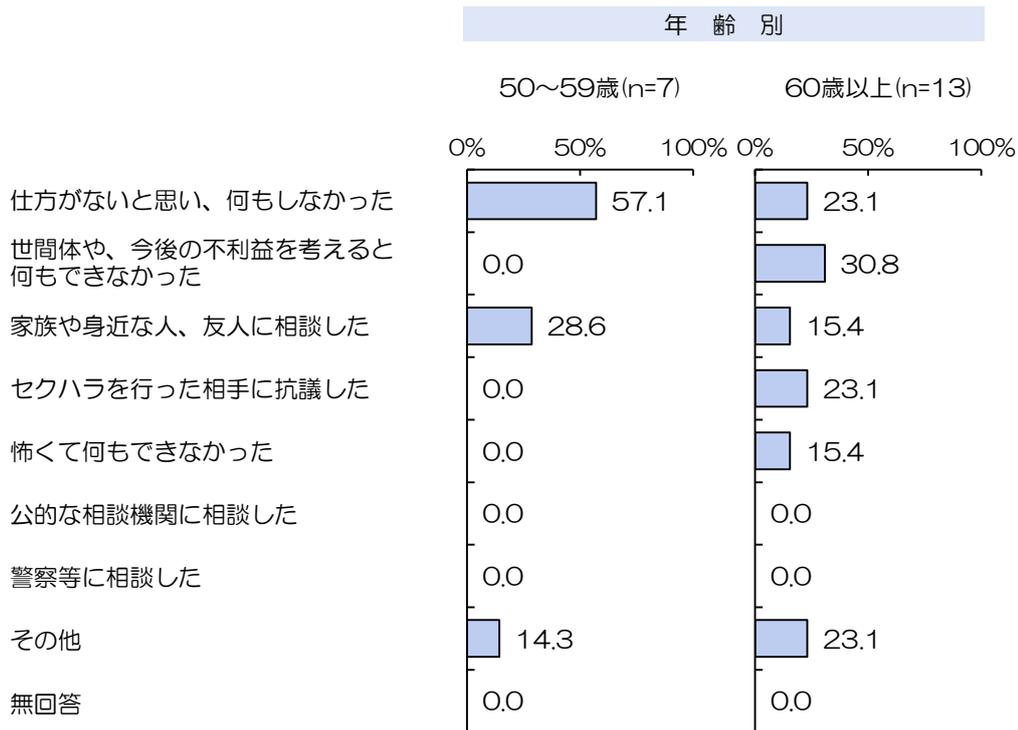
セクハラ経験の有無は、「テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている」が55.5%と最も多く、次いで「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」が35.5%、「身近にセクハラを受けた人がいる」が6.6%などとなっています。また、「経験したり見聞きしたことはない」が7.9%となっています。

〈2. セクハラへの対応〉

〈問24で「1. セクハラを受けたことがある」と答えた方〉

問25 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。(あてはまるもの全て選択可)





セクハラへの対応は、「仕方がないと思い、何もしなかった」が48.8%と最も多く、次いで「世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった」が23.3%、「家族や身近な人、友人に相談した」が18.6%などとなっています。

性別にみると、“男性”では「世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった」が50.0%と最も多くなっています。

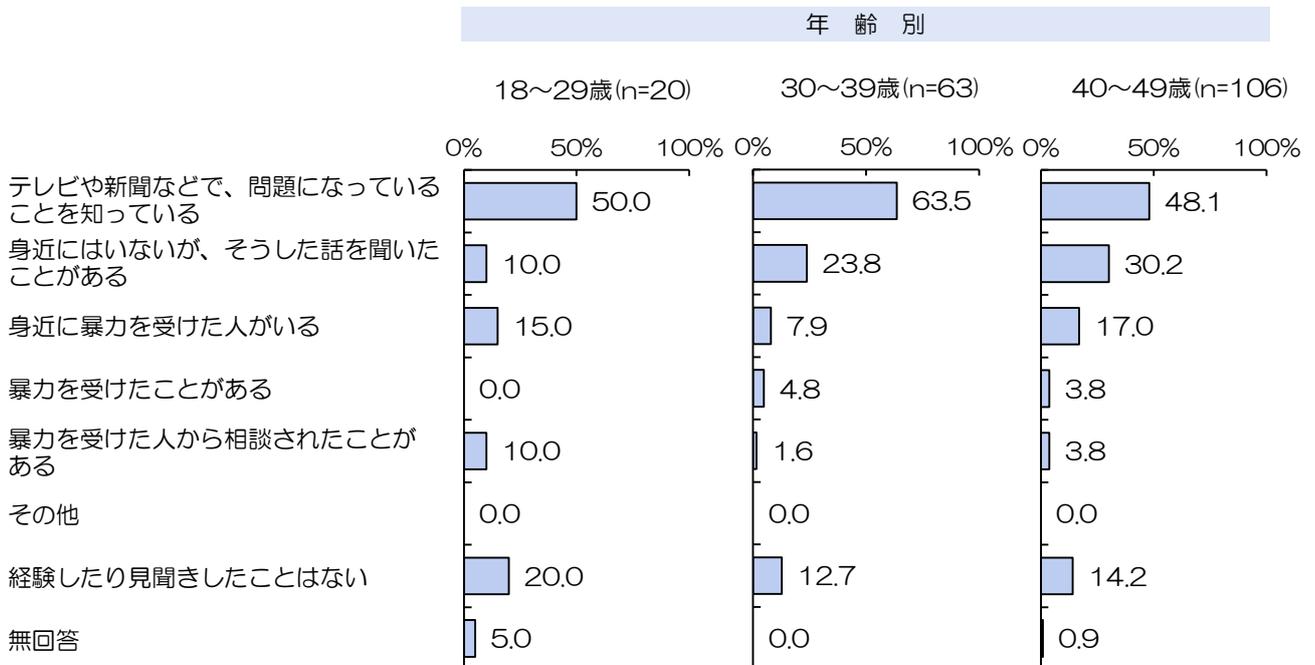
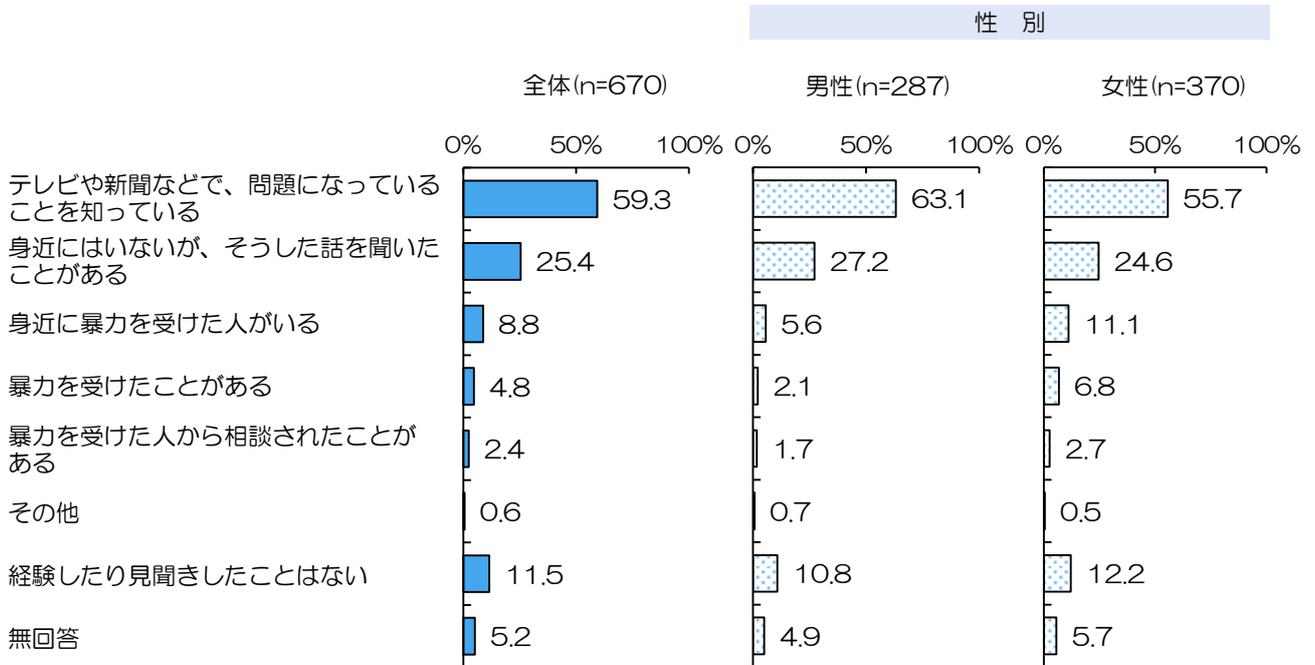
年齢別にみると、“60歳以上”では「世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった」が30.8%と最も多くなっています。

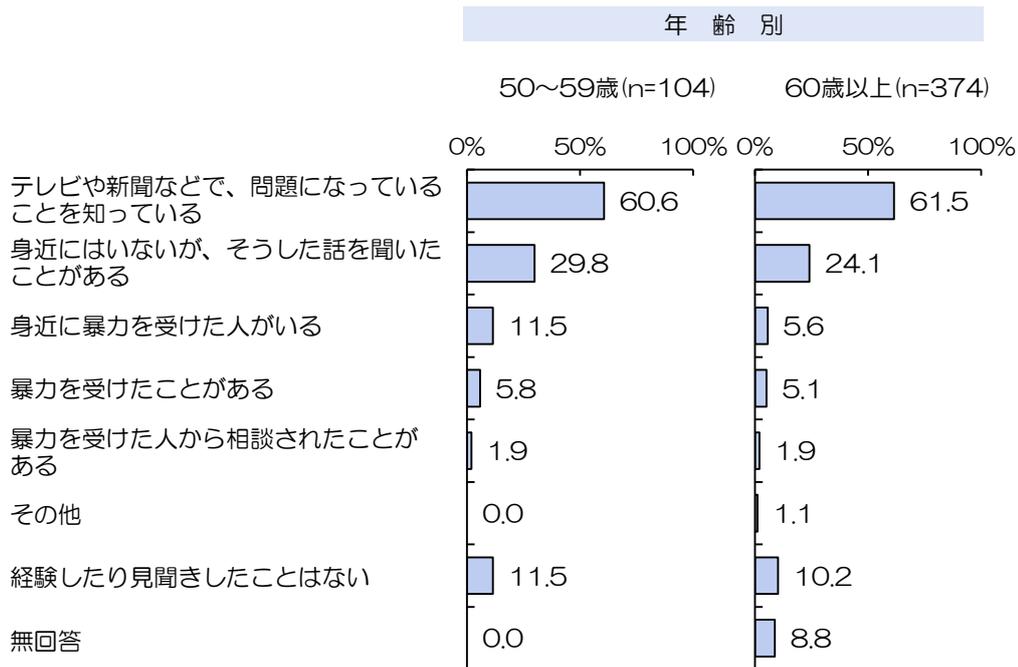
Ⅷ ドメスティック・バイオレンス (DV) について

＜1. DV経験の有無＞

問26 これまでに、夫・妻や恋人など親しい間柄にある男女間の暴力（ドメスティック・バイオレンス）について、経験したり見聞きしたりしたことがありますか。

（あてはまるもの全て選択可）





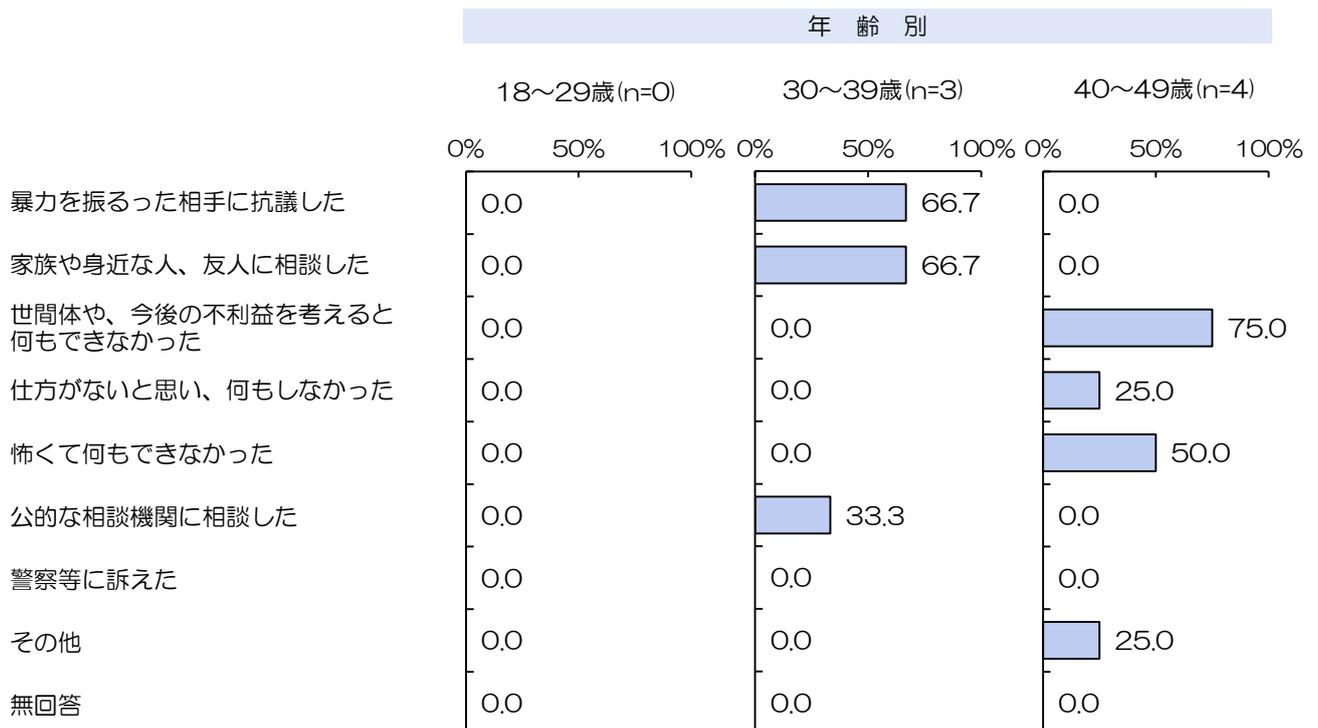
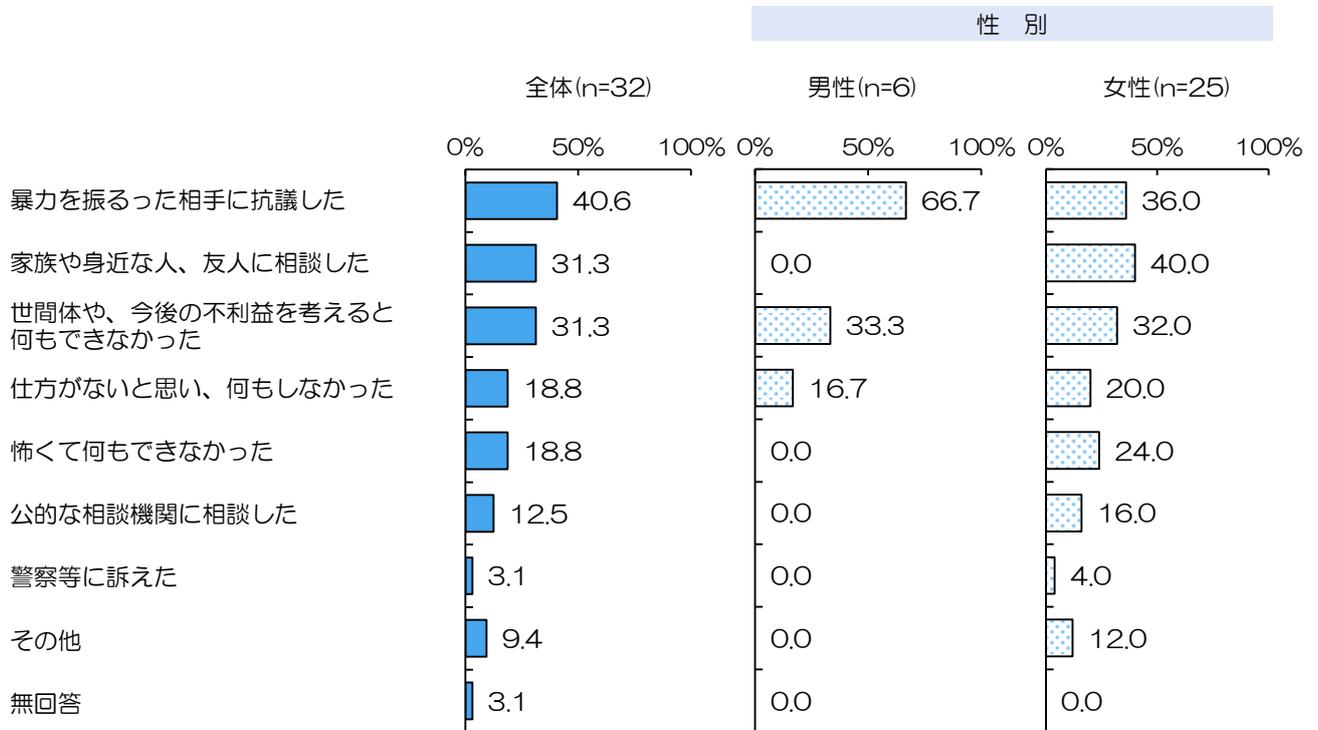
DV経験の有無は、「テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている」が59.3%と最も多く、次いで「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」が25.4%、「身近に暴力を受けた人がいる」が8.8%などとなっています。また、「経験したり見聞きしたことはない」が11.5%となっています。

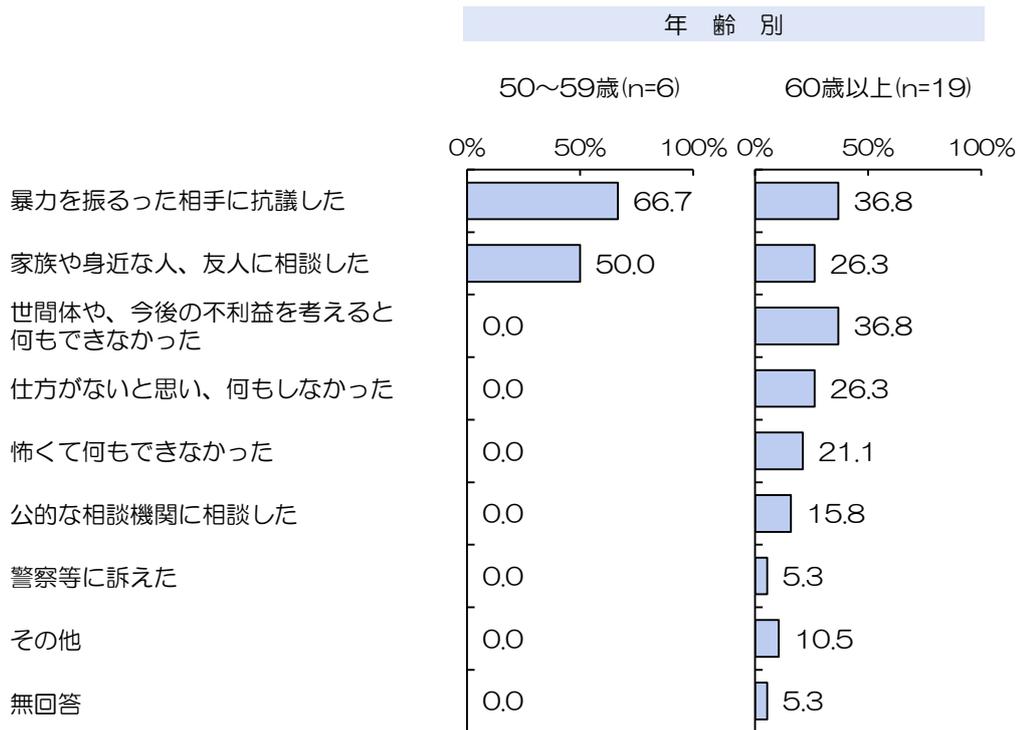
〈2. DVへの対応〉

〈問26で「1. 暴力を受けたことがある」と答えた方〉

問27 夫・妻や恋人から暴力を受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。

(あてはまるもの全て選択可)





DVへの対応は、「暴力を振るった相手に抗議した」が40.6%と最も多く、次いで「家族や身近な人、友人に相談した」と「世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった」が31.3%、「仕方がないと思い、何もしなかった」と「怖くて何もできなかった」が18.8%などとなっています。

性別にみると、“女性”では「家族や身近な人、友人に相談した」が40.0%と最も多くなっています。

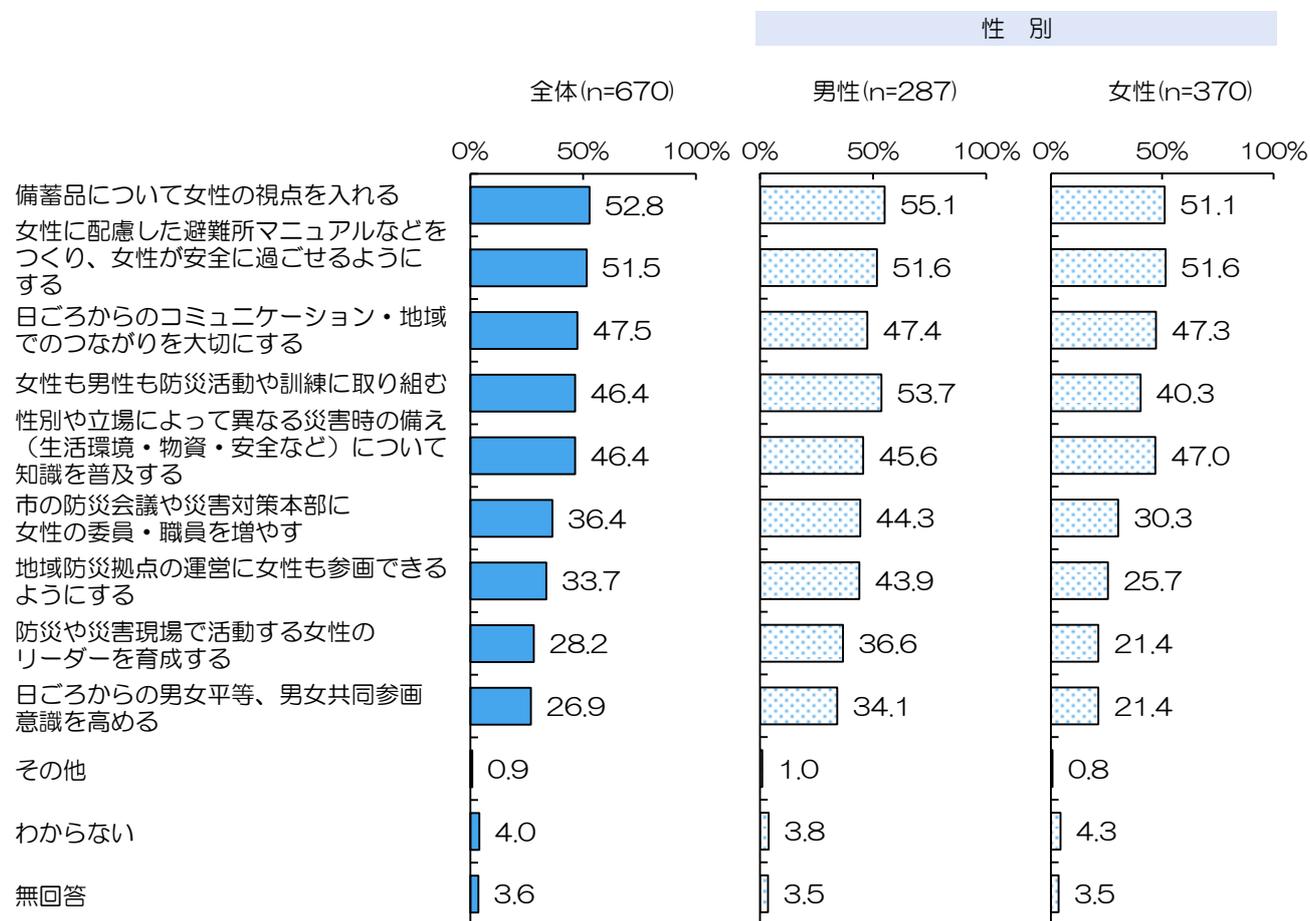
年齢別にみると、“40～49歳”では「世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった」が75.0%と最も多くなっています。

Ⅹ 防災・復興について

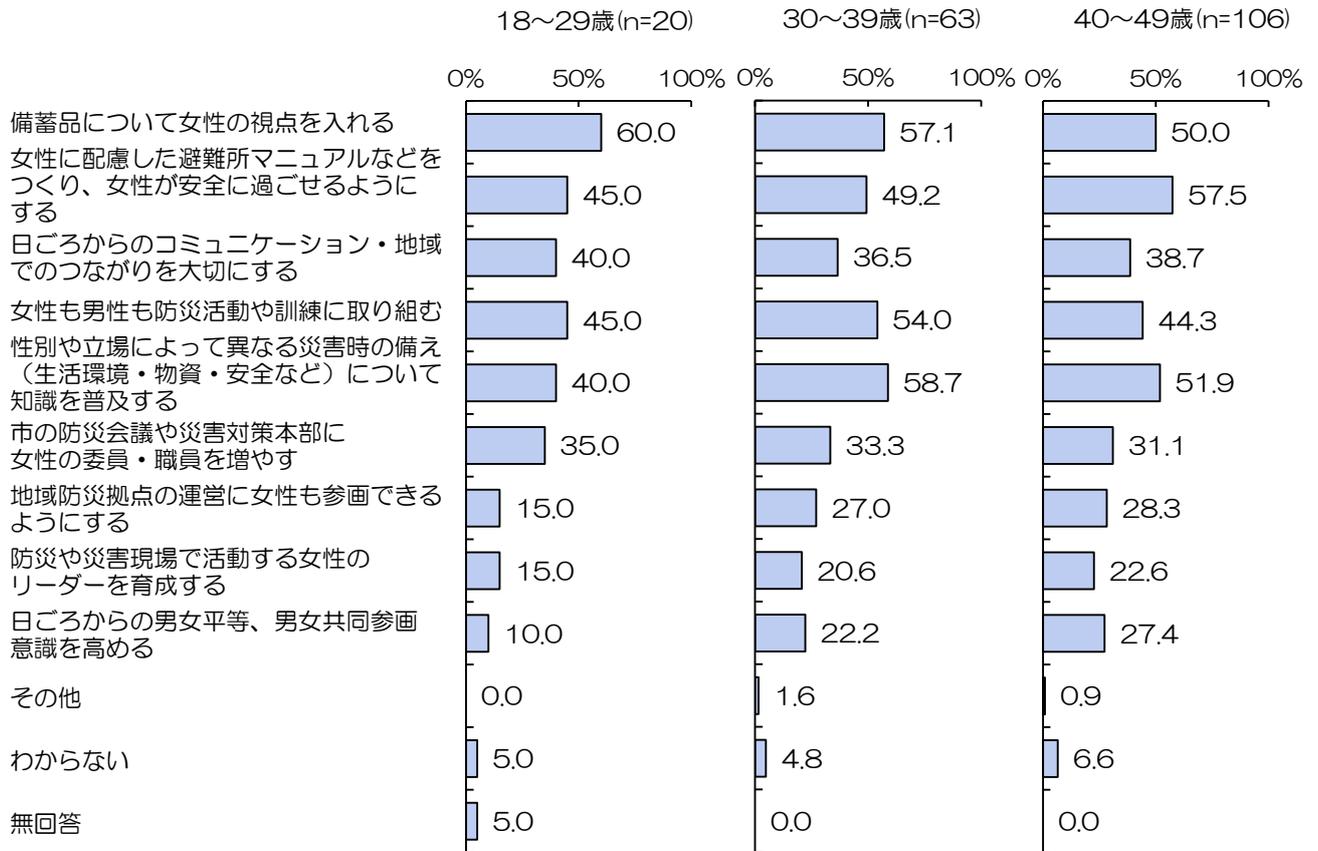
＜1. 災害対応への女性参画のために必要な施策＞

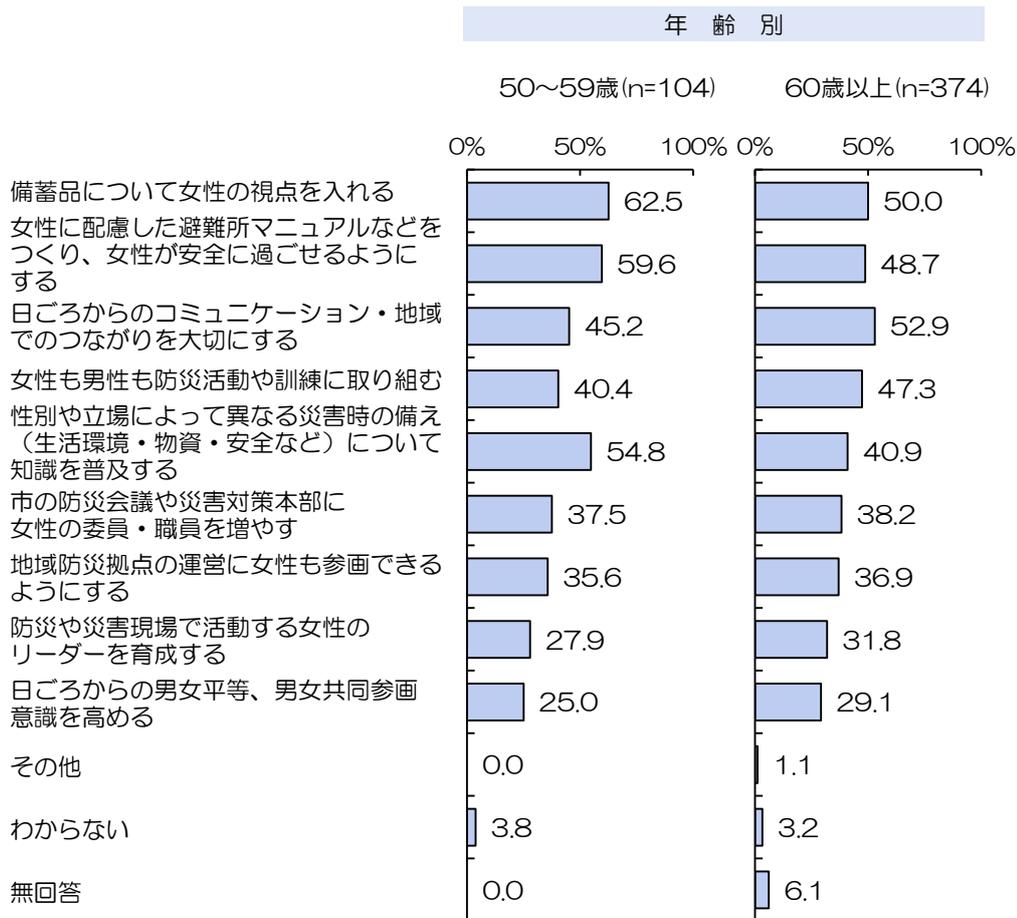
問28 防災や震災対応に女性が参画するために、どのような施策が必要だと思いますか。

(あてはまるもの全て選択可)



年 齢 別





災害対応への女性参画のために必要な施策は、「備蓄品について女性の視点を入れる」が52.8%と最も多く、次いで「女性に配慮した避難所マニュアルなどをつくり、女性が安全に過ごせるようにする」が51.5%、「日ごろからのコミュニケーション・地域でのつながりを大切にする」が47.5%などとなっています。

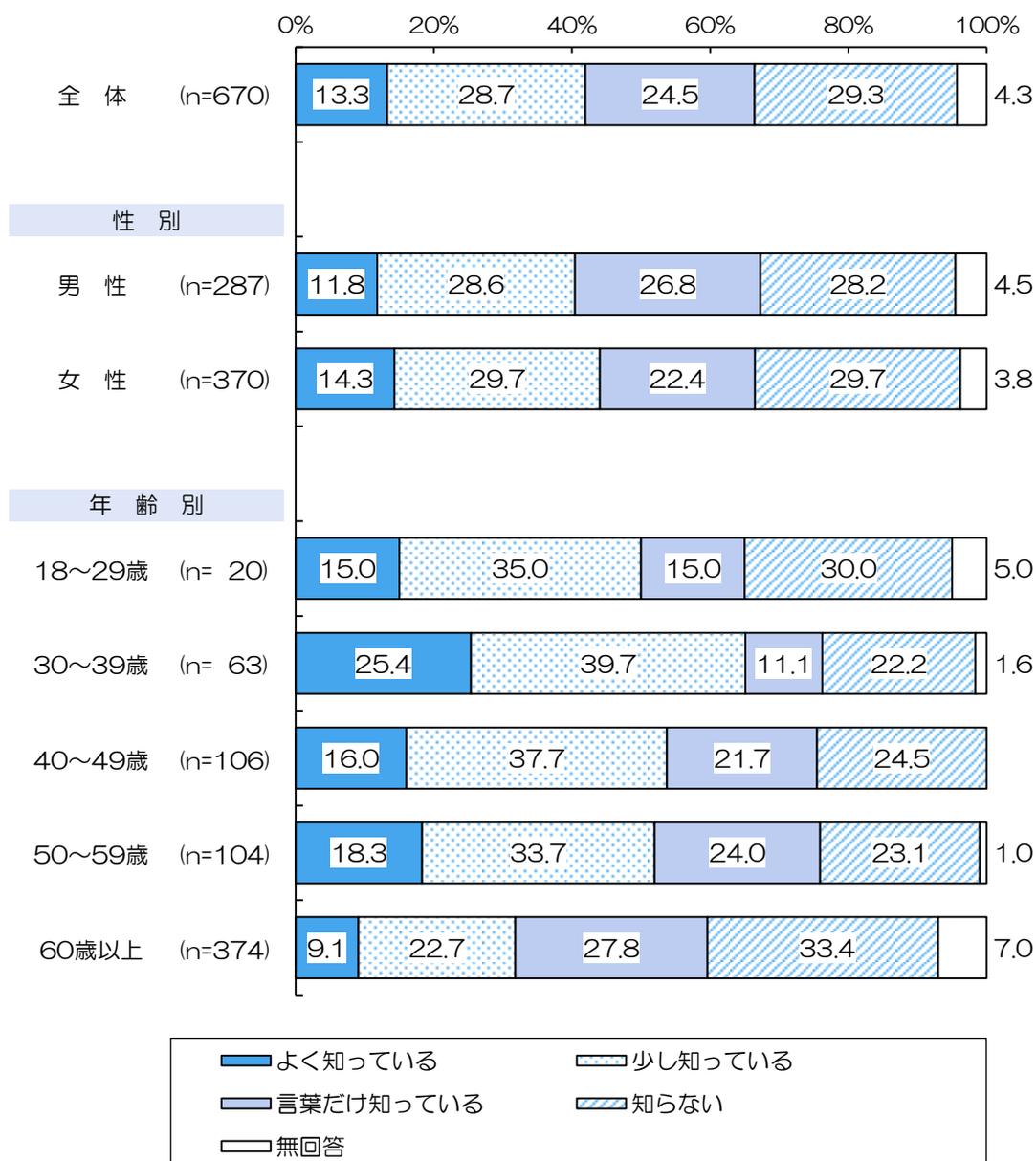
年齢別にみると、“30～39歳”では「性別や立場によって異なる災害時の備え（生活環境・物資・安全など）について知識を普及する」が58.7%と最も多くなっています。また、“40～49歳”では「女性に配慮した避難所マニュアルなどをつくり、女性が安全に過ごせるようにする」が57.5%と最も多くなっています。また、“60歳以上”では「日ごろからのコミュニケーション・地域でのつながりを大切にする」が52.9%と最も多くなっています。

X 性的マイノリティについて

<1. 『性的マイノリティ（LGBT）』の認知>

問29 あなたは性的マイノリティ（またはLGBT）という言葉を知っていますか。

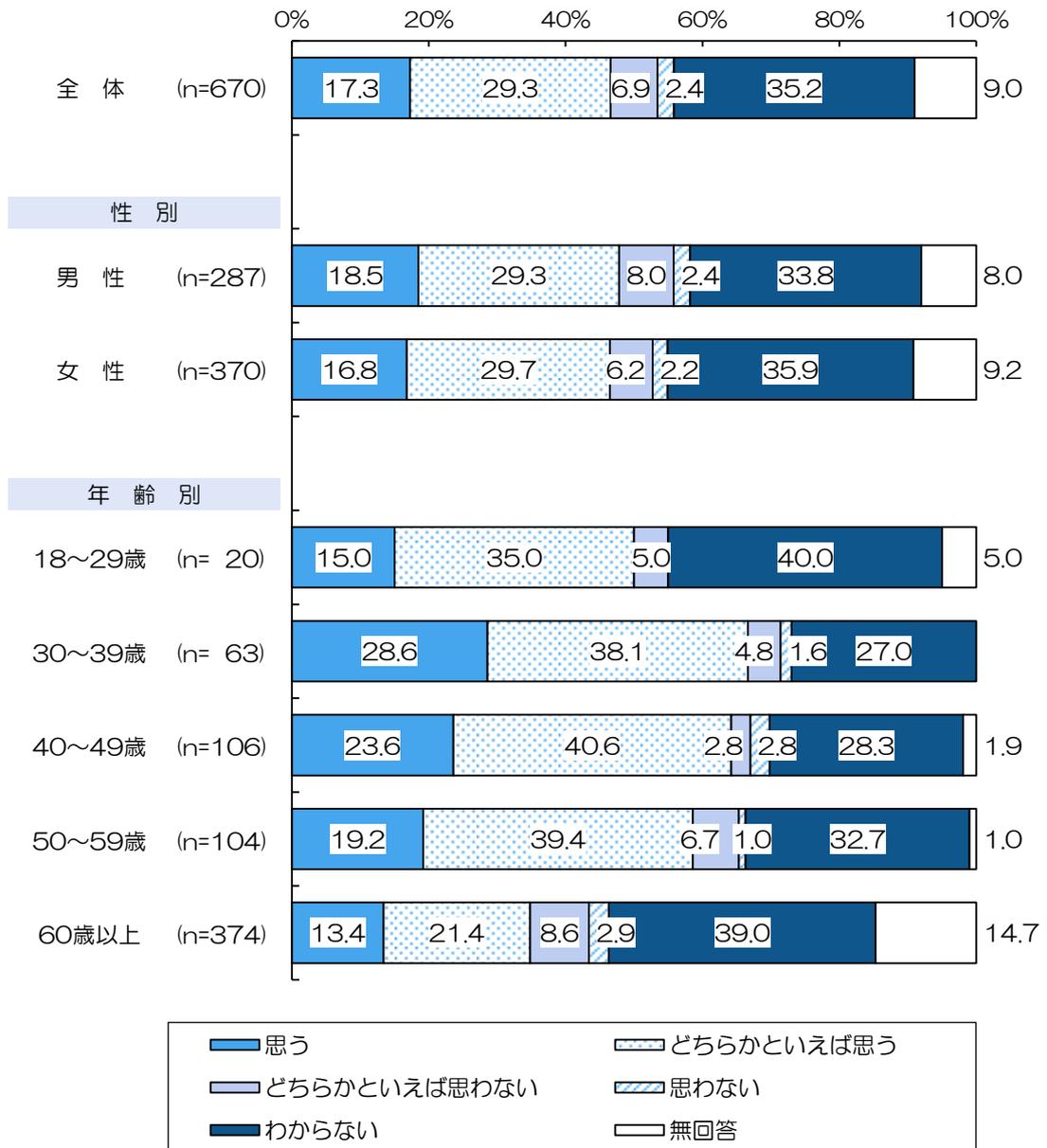
（1つを選択）



『性的マイノリティ（LGBT）』の認知は、「よく知っている」が13.3%、「少し知っている」が28.7%、「言葉だけ知っている」が24.5%、「知らない」が29.3%となっています。

〈2. 性的マイノリティにとって生活しづらい社会か〉

問30 現在、性的マイノリティ（またはLGBT）の方々にとって、偏見や差別などにより生活しづらい社会だと思いますか。（1つを選択）

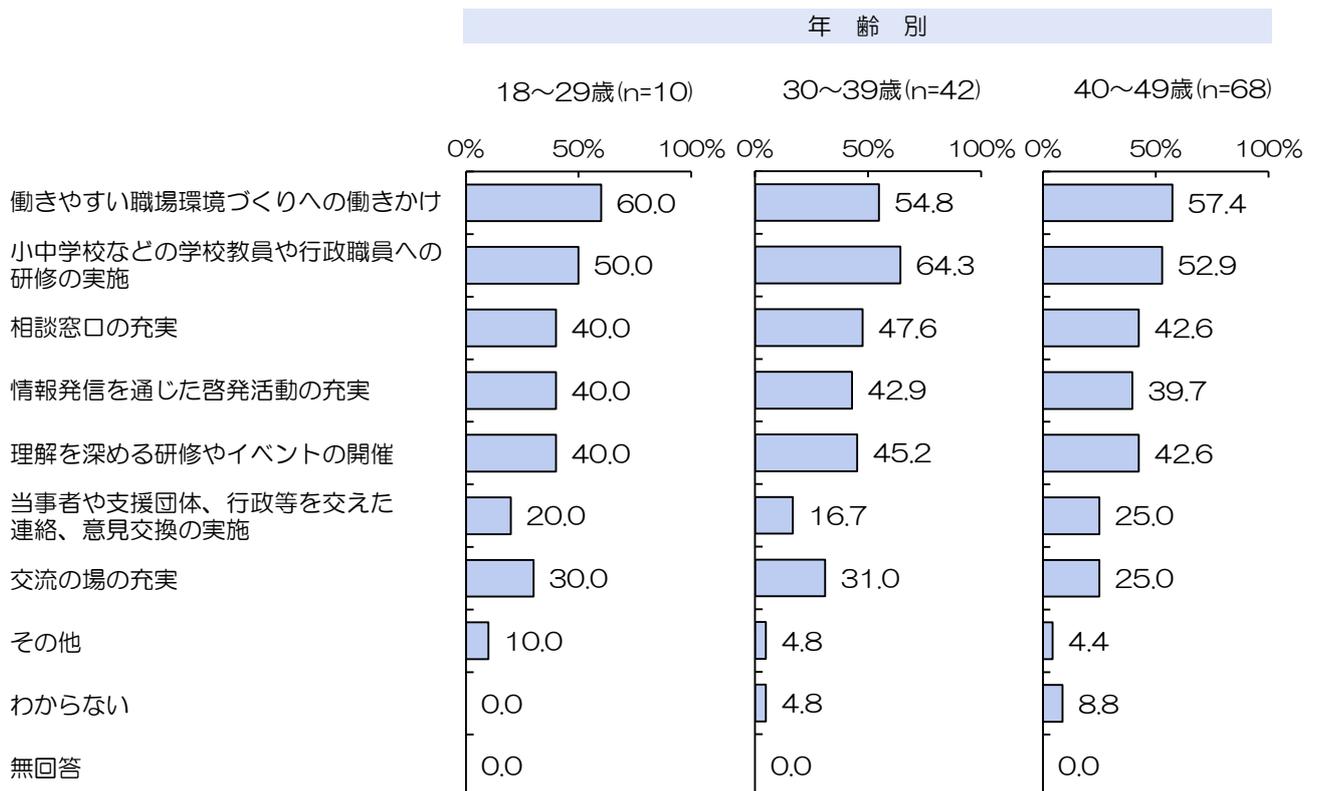
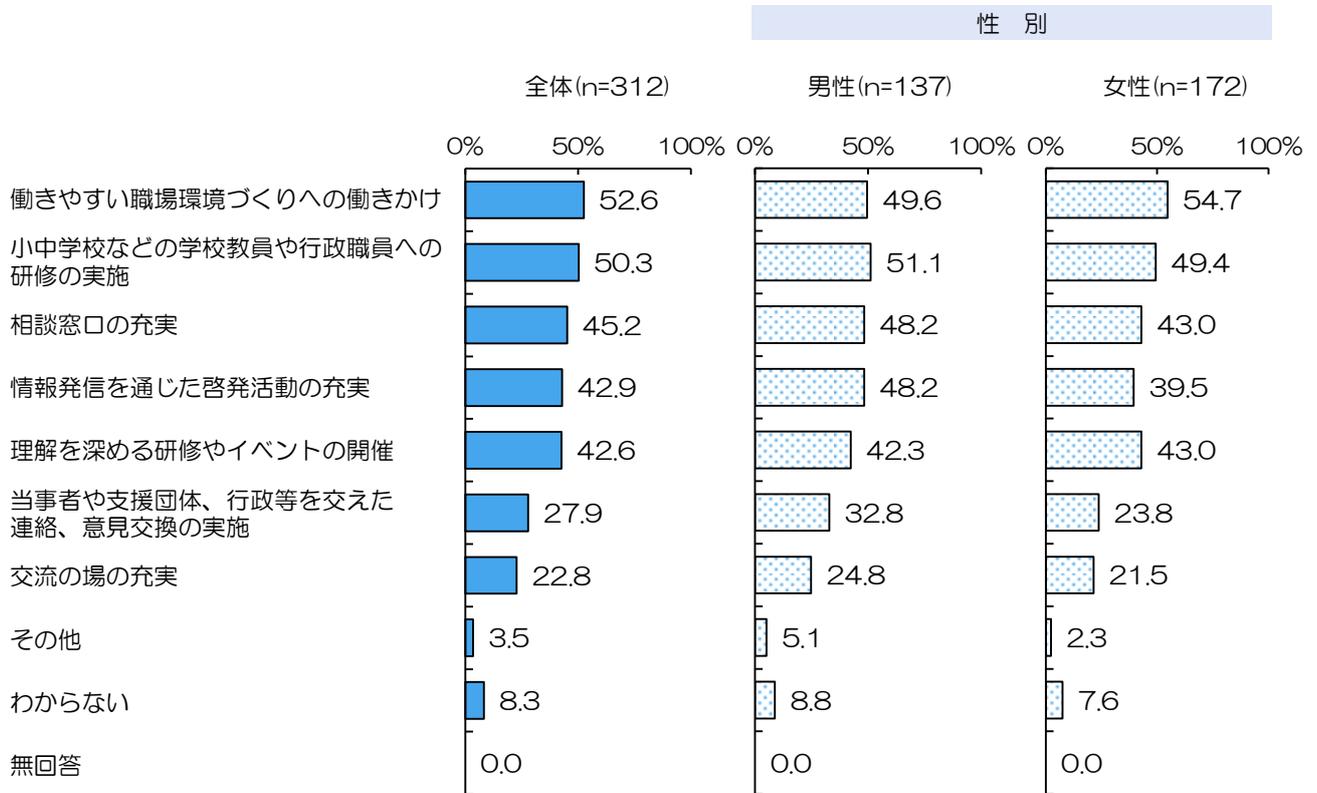


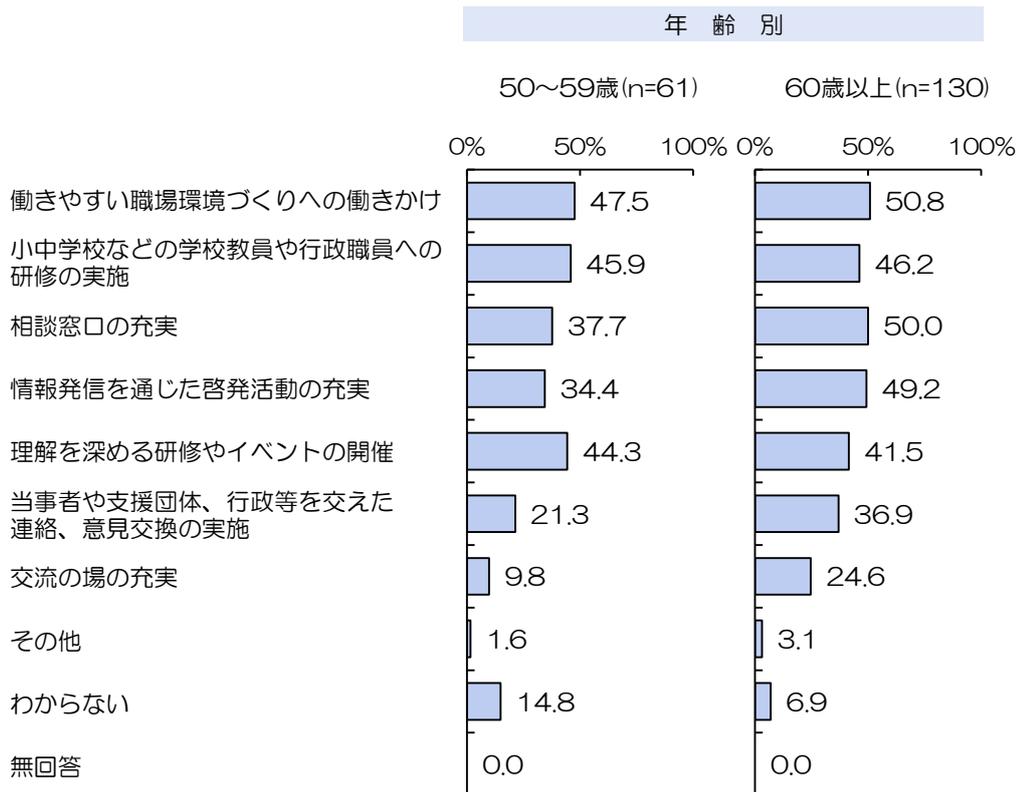
性的マイノリティにとって生活しづらい社会かは、「わからない」が35.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば思う」が29.3%、「思う」が17.3%などとなっています。

〈3. 性的マイノリティが生活しやすくなるために必要な施策〉

〈問30で「1. 思う」「2. どちらかといえば思う」と答えた方〉

問31 性的マイノリティの方々が生活しやすくなるためにどのような施策が必要だと思いますか。(あてはまるもの全て選択可)





性的マイノリティが生活しやすくなるために必要な施策は、「働きやすい職場環境づくりへの働きかけ」が52.6%と最も多く、次いで「小中学校などの学校教員や行政職員への研修の実施」が50.3%、「相談窓口の充実」が45.2%などとなっています。

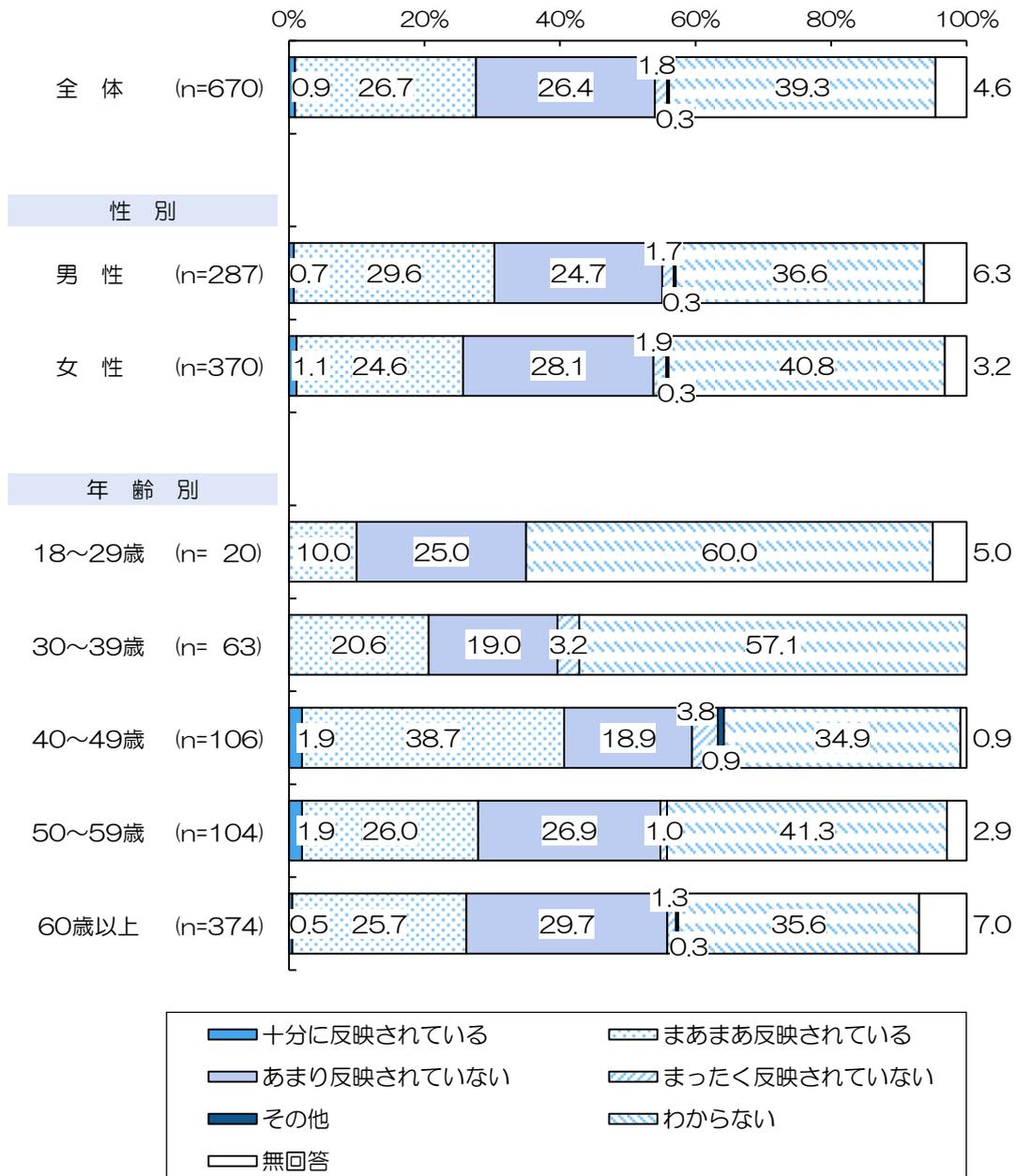
性別にみると、「男性」では「小中学校などの学校教員や行政職員への研修の実施」が51.1%と最も多くなっています。

年齢別にみると、「30～39歳」では「小中学校などの学校教員や行政職員への研修の実施」が64.3%と最も多くなっています。

XI その他について

＜1. 市政への女性の意見の反映＞

問32 あなたは市政に女性の意見が反映されていると思いますか。（1つを選択）



市政への女性の意見の反映は、「わからない」が39.3%と最も多く、次いで「まあまあ反映されている」が26.7%、「あまり反映されていない」が26.4%などとなっています。

年齢別にみると、「40~49歳」では「まあまあ反映されている」が38.7%と最も多くなっています。

3. 調査票

男女共同参画・多文化共生に関する市民意識調査票

*** ご協力をお願い ***

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、皆様に男女平等や男女共同参画社会の実現及び多文化共生に関するお考えやご意見をお聞きし、今後の計画の策定・推進の参考とするため、意識調査を実施することになりました。

なお、調査にあたりましては、市内在住の18歳以上の方々1,500人を無作為に選ばせていただき調査票をお送りしています。この調査の結果は、計画推進の目的のみに使用するものであり、他の目的に使用することや内容についてご迷惑をおかけすることは決してありません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和2年6月 湖西市長 影山 剛士

*** 記入にあたってのお願い ***

- 1 この調査は、宛名のご本人が、ご自身のお考えをお答えください。
- 2 宛名のご本人がご病気などで、自分で答えるのが難しい場合は、ご家族またはお世話をなさっている方が記入のお手伝いをしていただいても構いません。
- 3 回答は、令和2年6月1日現在の状況をご記入ください。
- 4 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- 5 「その他」を選択した場合は、()内に具体的な内容も記入してください。
- 6 ご記入後は7月8日(水)までに同封の封筒でご投函ください。(切手不要)

問合せ先：湖西市市民安全全部市民課

〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地

(TEL) 053-576-1213 (FAX) 053-576-4880

I あなたのことについてお伺いします

問1 あなたの性別をお答えください。(1つを選択)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。(1つを選択)

※6月1日現在の年齢をお選びください。

- | | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 18~24歳 | 2. 25~29歳 | 3. 30~34歳 | 4. 35~39歳 |
| 5. 40~44歳 | 6. 45~49歳 | 7. 50~54歳 | 8. 55~59歳 |
| 9. 60~64歳 | 10. 65~69歳 | 11. 70~74歳 | 12. 75歳以上 |

問3 あなたの家族構成(同居している家族)は次のどれにあてはまりますか。(1つを選択)

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦のみの世帯 | 3. 親と子の二世帯 |
| 4. 親・子・孫の三世帯 | 5. 母子世帯 | 6. 父子世帯 |
| 7. その他() | | |

問4 あなたの職業は次のどれにあてはまりますか。(兼業の方は主なものをお選びください。)

(1つを選択)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 会社員、公務員・その他勤め人 | 2. パート・アルバイト・派遣社員 |
| 3. 自営業(農林漁業、商工業等) | 4. 専業主婦(専業主夫も含む) |
| 5. 学生 | 6. 無職 |
| 7. その他() | |

問5 あなたは結婚していますか。(1つを選択)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 結婚している(事実婚を含む) | 2. 結婚していない |
| 3. 結婚していたが、離婚・死別した | |

→ 問5で「1. 結婚している(事実婚を含む)」とお答えの方に伺います。

問6 現在、共働きをしていますか。(1つを選択)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 共働き(共にフルタイム) | 2. 共働き(いずれかがパート・アルバイト) |
| 3. 共働き(共にパート・アルバイト) | 4. 共働きでない |
| 5. どちらも働いていない | |

問7 あなたは高校生以下のお子さんがいらっしゃいますか。(1つを選択)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問8 あなたを含めたご家族の中に介護・介助が必要な方がいらっしゃいますか。(1つを選択)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

II 以下の言葉・考え方についてお伺いします

問9 『男女共同参画』という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。(1つを選択)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

問10 『多文化共生』という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。(1つを選択)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

問11 『リプロダクティブ・ヘルス/ライツ』という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。

(1つを選択)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

問12 選択的夫婦別氏制度という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。(1つを選択)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

Ⅲ 社会における男女平等についてお伺いします

• 性別役割分担意識とは

「男は仕事、女は家庭・育児」、「男はたくましく積極的、女はやさしく控えめ」、「男が代表、女は補助」というように性別によって固定的に役割を分担する考え方のこと。

• 参画とは

物事を決める場に、ただ席にいて「参加」するだけでなく、決定にいたるまでの相談や議論に主体的に加わっていくこと。

問13 『男は仕事、女は家庭』というような男女の役割を固定的に考えること（性別役割分担意識）について、あなたはどのようにお考えですか。（1つを選択）

1. 同感する 2. どちらともいえない 3. わからない 4. 同感しない

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。

（それぞれ1つを選択）

	男性が非常に優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が非常に優遇されている	わからない
① 家庭生活	1	2	3	4	5	6
② 職場	1	2	3	4	5	6
③ 就職	1	2	3	4	5	6
④ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
⑤ 地域（自治会・PTA等）	1	2	3	4	5	6
⑥ 政治の場	1	2	3	4	5	6
⑦ 法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会通念や慣習・しきたり	1	2	3	4	5	6
⑨ ドラマ・漫画・文化	1	2	3	4	5	6
⑩ 社会全体	1	2	3	4	5	6

問15 男女平等社会を実現するために大切だと思うことはどのようなことですか。

（あてはまるもの全て選択可）

1. 性差別につながる法律や制度の見直し
2. 性別に関する偏見や社会通念、慣習がなくなること
3. 女性が社会進出すること
4. 一定の割合で女性を重要な役職に登用する制度を充実すること
5. 育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得しやすい社会づくりを進めること
6. 子育てや介護、地域活動に男性が参画すること
7. 学校や生涯教育の場で男女平等教育を推進すること
8. 男女平等に関する普及啓発を充実すること
9. その他（具体的に：_____）
10. 特になし

問16 男女平等社会の実現を図るために、今後、行政はどのようなことに力を入れるとよいと思いますか。(あてはまるもの全て選択可)

1. 学校教育における男女平等教育の充実
2. 男女平等について学べる機会の充実
3. 男女平等に関する情報提供やイベントの充実
4. 女性が参加しやすい職業教育・訓練の機会の充実
5. 企業等に対する男女共同参画についての働きかけ
6. 行政の政策決定や審議会への女性の積極的な登用
7. 男性の家事や育児への参画を促進するための教育・支援の充実
8. その他(具体的に: _____)
9. 特になし

IV 家庭生活における役割分担についてお伺いします

問17 以下のA、Bのような考え方について、あなたの意見はどちらに近いですか。
(それぞれ1つを選択)

① 家計

A: 家計を支える(生活費を稼ぐ)のは男性の役割である

B: 家計を支える(生活費を稼ぐ)のは女性の役割である

1. Aに近い
2. どちらかといえばAに近い
3. AとB両方である
4. どちらかといえばBに近い
5. Bに近い

② 家事

A: 家事をするのは男性の役割である

B: 家事をするのは女性の役割である

1. Aに近い
2. どちらかといえばAに近い
3. AとB両方である
4. どちらかといえばBに近い
5. Bに近い

③ 育児

A: 育児をするのは男性の役割である

B: 育児をするのは女性の役割である

1. Aに近い
2. どちらかといえばAに近い
3. AとB両方である
4. どちらかといえばBに近い
5. Bに近い

④ 介護

A: 介護をするのは男性の役割である

B: 介護をするのは女性の役割である

1. Aに近い
2. どちらかといえばAに近い
3. AとB両方である
4. どちらかといえばBに近い
5. Bに近い

V 職業や労働についてお伺いします

問18 あなたは、「女性と職業」についてどのようにお考えですか。(1つを選択)

1. 女性は職業をもたないほうがよい
2. 結婚するまで職業をもつほうがよい
3. 子どもができるまで職業をもつほうがよい
4. 出産・育児期間は仕事をやめ、成長したら再び職業をもつほうがよい
5. 定年(生涯)職業をもち続けるほうがよい
6. その他(具体的に: _____)
7. わからない

▶(問18で「2.～5.」とお答えの方に伺います。)

問19 女性が働く上での障害は何だと思えますか。(あてはまるもの全て選択可)

1. 結婚・出産退職等の慣行
2. 賃金の男女格差
3. 昇進・昇格における男女の格差
4. 仕事内容における男女の格差
5. 長時間労働や残業
6. 雇用形態にパートタイムや臨時雇いが多いこと
7. 育児休業・休暇が取得しにくいこと
8. 育児施設の不足
9. 介護休業・休暇が取得しにくいこと
10. 介護施設の不足
11. 職場における人間関係
12. 家族に反対されたり、協力が得られないこと
13. 女性自身の知識や技術の不足
14. 女性自身の就業意識が低いこと
15. その他(具体的に: _____)
16. 特にない
17. わからない

問20 育児や介護を行うために、育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得できる制度があります。この制度を活用して男性が育児休業・休暇や介護休業・休暇を取ることに、あなたはどのようにお考えになりますか。(それぞれ1つを選択)

	積極的に取った方がよい	どちらかといえば取った方がよい	どちらかといえば取らない方がよい	取らない方がよい	わからない
①育児休業・休暇	1	2	3	4	5
②介護休業・休暇	1	2	3	4	5

問21 現在お勤めの方だけに伺います。あなたの職場では、男性の育児休業・休暇や介護休業・休暇が取得しやすい環境（又は雰囲気）にありますか。（それぞれ1つを選択）

	取得しやすい	やや取得しやすい	やや取得しにくい	取得しにくい	わからない
①育児休業・休暇	1	2	3	4	5
②介護休業・休暇	1	2	3	4	5

VI ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）についてお伺いします

・ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは

やりがいのある仕事と充実した生活（子育てや家庭生活だけでなく、地域活動や趣味・学習などあらゆる活動が含まれる。）を両立させながら、個人の能力を最大限発揮できるように支援する考え方や施策のこと。

仕事優先から仕事と生活のバランスがとれた働き方や生き方への展開が求められるようになってきている。

問22 あなたはワーク・ライフ・バランスという言葉をどの程度ご存じですか。（1つを選択）

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉を聞いたことはあるが、内容までは知らない
3. 言葉も内容も知らない

問23 あなたの仕事と家庭生活（プライベート）について、理想と現実をお答えください。

（それぞれ1つを選択）

①理想

1. 仕事を優先したい
2. どちらかといえば仕事を優先したい
3. 仕事と家庭生活（プライベート）の両方のバランスをとりたい
4. どちらかといえば家庭生活（プライベート）を優先したい
5. 家庭生活（プライベート）を優先したい

②現実

1. 仕事を優先している
2. どちらかといえば仕事を優先している
3. 仕事と家庭生活（プライベート）の両方のバランスをとっている
4. どちらかといえば家庭生活（プライベート）を優先している
5. 家庭生活（プライベート）を優先している

Ⅶ セクシュアル・ハラスメントについてお伺いします

・セクシュアル・ハラスメントとは

職場・学校・地域活動等において、本人の意に反した攻撃的で屈辱的な性的言動や勧誘により、仕事などをしていくうえで、一定の不利益を受けたり、環境が悪化したりすること。

問24 あなたは、これまでに、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ・性的嫌がらせ）について経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。（あてはまるもの全て選択可）

1. セクハラを受けたことがある
2. 身近にセクハラを受けた人がいる
3. セクハラを受けた人から相談されたことがある
4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある
5. テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている
6. 経験したり見聞きしたことはない
7. その他（具体的に： _____）

→<問24で「1. セクハラを受けたことがある」と答えた方におたずねします。>

問25 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。（あてはまるもの全て選択可）

1. セクハラを行った相手に抗議した
2. 家族や身近な人、友人に相談した
3. 公的な相談機関に相談した
4. 警察等に相談した
5. 仕方がないと思い、何もしなかった
6. 怖くて何もできなかった
7. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった
8. その他（具体的に： _____）

次のページに続きます→

Ⅷ ドメスティック・バイオレンス（DV）についてお伺いします

☆立ち入った質問になりますが、この調査は無記名で行っておりますので、回答された方に御迷惑がかかることは一切ありません。調査へのご協力をお願いします。

・ドメスティック・バイオレンス（DV）とは

配偶者や恋人などのパートナーから、殴る、蹴る、物を投げつけるなどの身体的暴力、望まない性行為を強要するなどの性的暴力、ののしる、おどす、無視するなどの精神的暴力、生活費を渡さないなどの経済的暴力を受けること。

問26 これまでに、夫・妻や恋人など親しい間柄にある男女間の暴力（ドメスティック・バイオレンス）について、経験したり見聞きしたりしたことがありますか。（あてはまるもの全て選択可）

1. 暴力を受けたことがある

2. 身近に暴力を受けた人がいる

3. 暴力を受けた人から相談されたことがある

4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある

5. テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている

6. 経験したり見聞きしたことはない

7. その他（具体的に：_____）

→<問26で「1. 暴力を受けたことがある」と答えた方に伺います。>

問27 夫・妻や恋人から暴力を受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。

（あてはまるもの全て選択可）

1. 暴力を振るった相手に抗議した

2. 家族や身近な人、友人に相談した

3. 公的な相談機関に相談した

4. 警察等に訴えた

5. 仕方がないと思い、何もできなかった

6. 怖くて何もできなかった

7. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった

8. その他（具体的に：_____）

Ⅸ 防災・復興についてお伺いします

問28 防災や震災対応に女性が参画するために、どのような施策が必要だと思いますか。

（あてはまるもの全て選択可）

1. 市の防災会議や災害対策本部に女性の委員・職員を増やす

2. 地域防災拠点の運営に女性も参画できるようにする

3. 女性も男性も防災活動や訓練に取り組む

4. 備蓄品について女性の視点を入れる

5. 女性に配慮した避難所マニュアルなどをつくり、女性が安全に過ごせるようにする

6. 防災や災害現場で活動する女性のリーダーを育成する

7. 日ごろからのコミュニケーション・地域でのつながりを大切にする

8. 日ごろからの男女平等、男女共同参画意識を高める

9. 性別や立場によって異なる災害時の備え（生活環境・物資・安全など）について知識を普及する

10. その他（具体的に：_____）

11. わからない

X 性的マイノリティについてお伺いします

問29 あなたは性的マイノリティ（またはLGBT）という言葉を知っていますか。（1つを選択）

- | | |
|--------------|------------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

問30 現在、性的マイノリティ（またはLGBT）の方々にとって、偏見や差別などにより生活しづらい社会だと思いますか。（1つを選択）

- | |
|-----------------|
| 1. 思う |
| 2. どちらかといえば思う |
| 3. どちらかといえば思わない |
| 4. 思わない |
| 5. わからない |

→問30で「1. 思う」「2. どちらかといえば思う」と答えた方に伺います。→

問31 性的マイノリティの方が生活しやすくなるためにどのような施策が必要だと思いますか。

（あてはまるもの全て選択可）

- | |
|-------------------------------|
| 1. 情報発信を通じた啓発活動の充実 |
| 2. 相談窓口の充実 |
| 3. 小中学校などの学校教員や行政職員への研修の実施 |
| 4. 当事者や支援団体、行政等を交えた連絡、意見交換の実施 |
| 5. 働きやすい職場環境づくりへの働きかけ |
| 6. 交流の場の充実 |
| 7. 理解を深める研修やイベントの開催 |
| 8. その他（具体的に：_____） |
| 9. わからない |

XI その他についてお伺いします

問32 あなたは市政に女性の意見が反映されていると思いますか。（1つを選択）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 十分に反映されている | 2. まあまあ反映されている |
| 3. あまり反映されていない | 4. まったく反映されていない |
| 5. その他（_____） | 6. わからない |

男女共同参画についてご意見等ありましたらご自由にお書きください。
